RICOH

imagio

MP 9002/7502/6002シリーズ

使用説明書
〈コピー/ドキュメントボックス〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. 原稿の設定

2. 基本的なコピー機能

3. 便利なコピー機能

4. 連結コピー機能

5. ドキュメントボックス機能

6. コピー／ドキュメントボックス初期設定

1. 原稿の設定

コピーする原稿のサイズや方向を指定する方法を説明します。また、大量の原稿やサイズの異なる原稿をセットする方法も説明します。

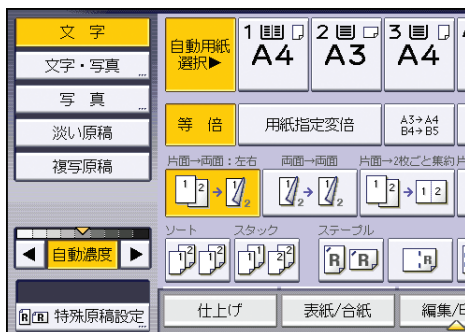
原稿のサイズを指定する

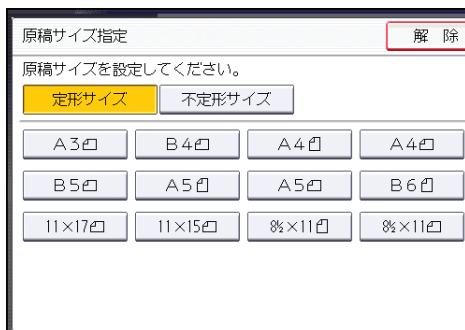
A4 や B4 などの原稿を原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）にセットすると、自動的にサイズが検知されます。そのため原稿サイズを指定する必要はありません。本機で自動検知できる原稿サイズについては、『用紙の仕様とセット方法』「自動的に検知される原稿サイズ」を参照してください。

自動検知されないサイズの原稿をセットするときは、原稿サイズを指定します。

定形サイズを指定する

読み取る原稿のサイズを定形サイズの中から選択します。

1. ［特殊原稿設定］を押します。

2. ［原稿サイズ指定］を押します。

3. 原稿のサイズを選択し、［OK］を押します。

4. ［OK］を押します。

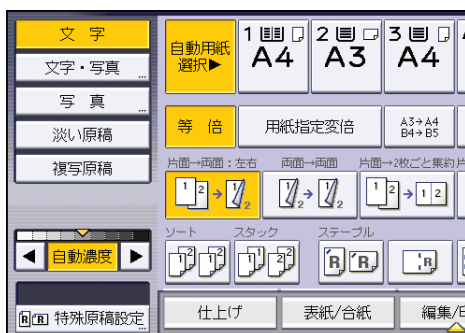
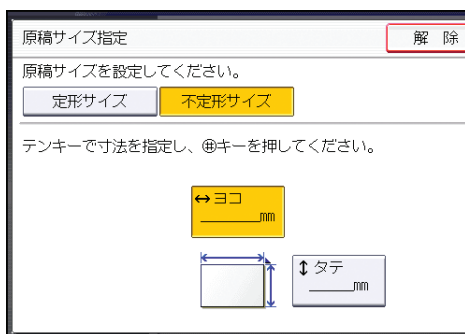
5. 原稿をセットし、[スタート]キーを押します。

不定形サイズを指定する

1

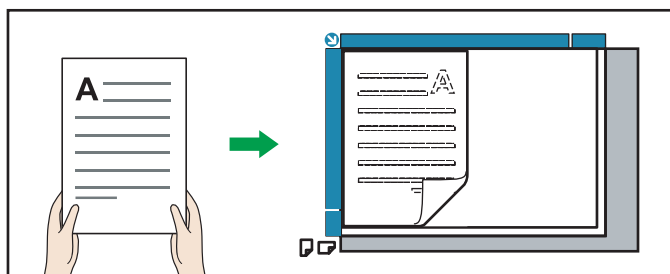
読み取る原稿のサイズを数値で指定します。

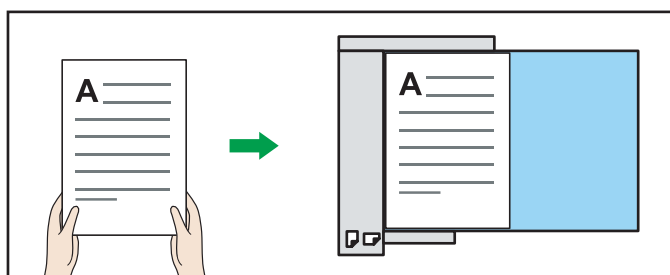
セットできる原稿のサイズは、タテ 128〜297mm、ヨコ 128〜1260mm です。ただし、コピーできる用紙のサイズは、タテ 100.0〜305.0mm、ヨコ 139.7〜600.0mm です。コピーできる用紙サイズはオプションによって異なります。

1. [特殊原稿設定]を押します。

2. [原稿サイズ指定]を押します。
3. [不定形サイズ]を押します。
4. 「ヨコ」のサイズをテンキーで入力し、[#]を押します。

5. 「タテ」のサイズをテンキーで入力し、[#]を押します。
6. [OK]を 2 回押します。
7. 原稿をセットし、[スタート]キーを押します。

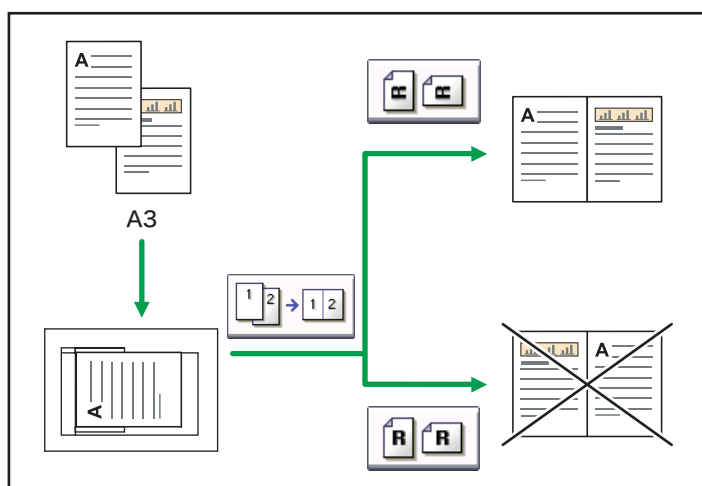
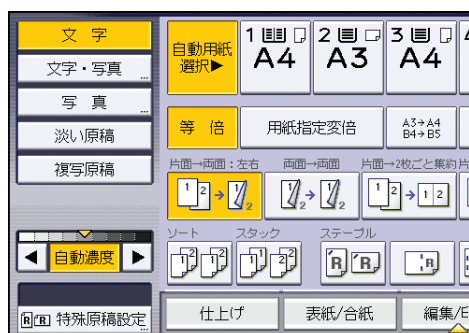
原稿のセット方向を指定する

原稿を持ったとき、文字が読める状態（読める方向）のまま、自動原稿送り装置（ADF）にセットします。原稿ガラスにセットするときは、裏返してセットします。

原稿ガラスにセットするとき

CKN002

自動原稿送り装置（ADF）にセットするとき

CKN001

ただし、A3や B4の原稿をコピーするときなど、原稿の状態により（読める方向）にセットできないときは、ステープルや集約などの機能を設定すると思いどおりの結果が得られません。このようなときは「原稿セット方向」を（読めない方向）に変更します。

1

1. [特殊原稿設定] を押します。

2. 原稿セット方向を選択し、[OK] を押します。

補足

- 自動用紙選択または用紙指定変倍と組み合わせることをお勧めします。

原稿の種類を選択する

原稿の状態や画質にあった原稿種類を選択します。

原稿種類には次の 5 種類があります。

文字

文字が主体の原稿に適した設定で読み取ります。

写真

写真や絵画原稿に適した設定で読み取ります。

- 印画紙写真：プリント（現像）された写真を原稿にするとき
- 印刷写真：雑誌などの印刷された写真を原稿にするとき
- 複写写真：カラーコピーを原稿にするとき

文字・写真

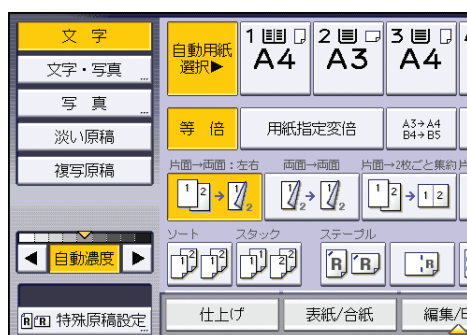
写真や絵画と文字が混じった原稿に適した設定で読み取ります。

複写原稿

繰り返しコピーした原稿に適した設定で読み取ります。文字の太りやつぶれを抑えてきれいにコピーします。

淡い原稿

鉛筆書きの原稿や複写伝票の控えなど、濃度の薄い原稿に適した設定で読み取ります。とぎれやすい細い線をきれいにコピーします。

1. 原稿の種類を選択します。

補足

- ［基本コピー設定］で、優先的に選択される原稿の種類を変更できます。詳しくは、P.171「基本コピー設定」を参照してください。
- ［基本コピー設定］の［原稿種類省略表示］で、コピー初期画面に原稿種類を表示するかしないかを設定できます。詳しくは、P.171「基本コピー設定」を参照してください。

1

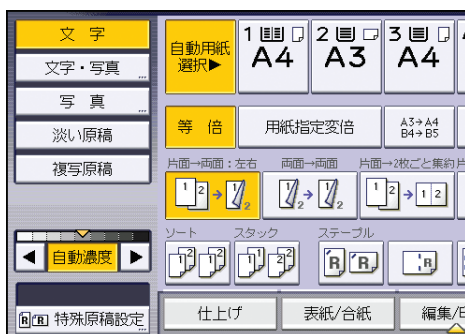
大量の原稿をセットする

自動原稿送り装置（ADF）の上限を超える枚数の原稿をまとめてコピーするときは、[大量原稿] を選択します。原稿を数回に分けてセットしても、1 セットの原稿としてコピーできます。

★重要

- トレーシングペーパー（第二原図用紙）などの特殊な原稿をセットするときは、1 枚ずつセットしてください。

自動原稿送り装置（ADF）にセットできる枚数の上限は 200 枚です。

1. [特殊原稿設定] を押します。

2. [大量原稿] を押し、[OK] を押します。
3. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。
4. 先にセットした原稿がすべて送られてから、次の原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

   原稿を複数回に分けてセットするときは、手順 4 を繰り返します。

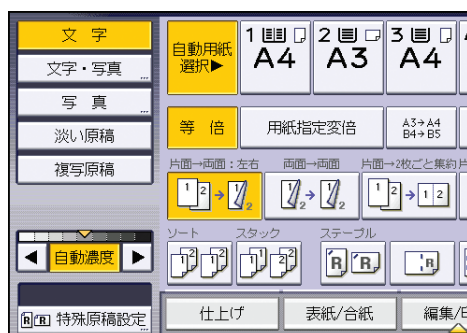
補足

- ソート、集約や片面→両面などの機能を設定しているときは、すべての原稿の読み取りが終わったら [#] キーを押します。
- 大量原稿機能の途中での片面原稿と両面原稿の変更はできません。
- [大量原稿] のかわりに [SADF] が表示されているときは、[周辺設定] の [大量原稿モード切り替え] で設定を変更します。詳しくは、P.196「周辺設定」を参照してください。

原稿を 1 枚ずつ送る

SADF を使用すると、自動原稿送り装置（ADF）に原稿を 1 枚ずつセットしたときでも、原稿をセットするたびに自動的に原稿が送られます。

1

1. [特殊原稿設定] を押します。

2. [SADF] を押し、[OK] を押します。

3. 原稿を 1 枚セットし、[スタート] キーを押します。

4. 画面に「追加する原稿をセットしてください。」というメッセージが表示されているときに次の原稿をセットします。

2 枚目からは [スタート] キーを押さなくても自動的に原稿が送られます。

補足

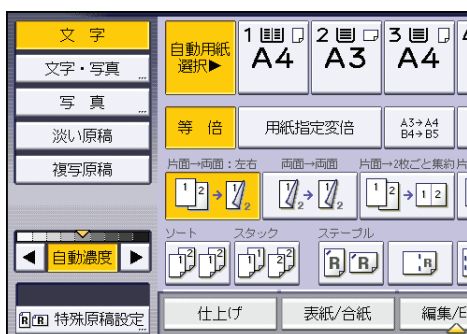
- ソート、集約や片面→両面などの機能を設定しているときは、すべての原稿の読み取りが終わったら [#] キーを押します。
- SADF 機能の途中での片面原稿と両面原稿の変更はできません。
- [SADF] のかわりに [大量原稿] が表示されているときは、[周辺設定] の [大量原稿モード切り替え] で設定を変更します。詳しくは、P.196「周辺設定」を参照してください。
- SADF が自動的にリセットされる時間を、[周辺設定] の [SADF オートリセット時間設定] で変更できます。詳しくは、P.196「周辺設定」を参照してください。

サイズの異なる原稿をセットする

サイズの異なる原稿を自動原稿送り装置（ADF）に一度にセットしてコピーします。

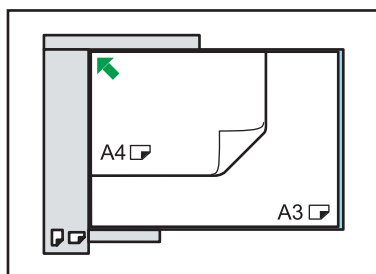
重要

- サイズ混載を設定しないで、異なるサイズの原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットしてコピーすると、用紙がつまることや、画像の一部がコピーされないことなどがあります。

1. ［特殊原稿設定］を押します。

2. ［サイズ混載］を押し、［OK］を押します。

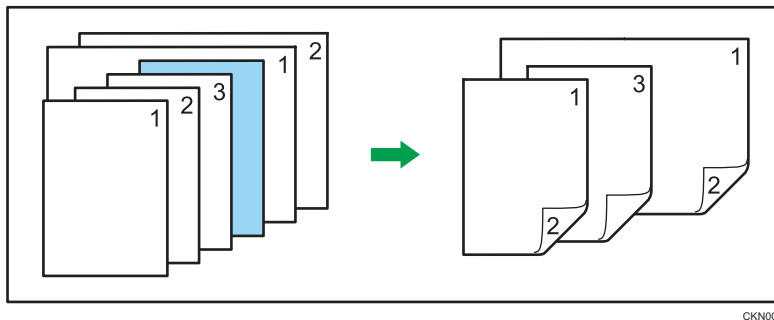
3. 原稿ガイドを大きい原稿サイズに合わせます。

4. 原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットします。

   原稿の左側と奥の 2 辺をそろえます。

5. ［スタート］キーを押します。

補足

- サイズが大きい原稿に合わせて原稿ガイドをセットしているため、サイズの小さい原稿はやや斜めにコピーされることがあります。
- 一度にセットできる原稿サイズは 2 種類までです。
- 印刷速度または読み取り速度は遅くなります。

- 片面→両面機能と組み合わせるときは、サイズごとの原稿枚数を偶数にしてください。奇数枚のときは白紙を挿入して調整してください。

- サイズ混載でセットできる原稿サイズと紙厚については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる原稿サイズと紙厚」を参照してください。

2. 基本的なコピー機能

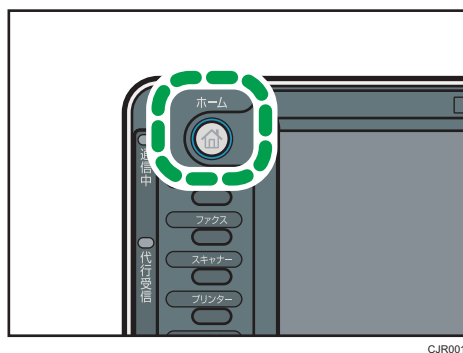
基本的なコピーの機能について説明します。

基本的なコピーのとりかた

原稿を原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）にセットしてコピーします。

原稿を原稿ガラスにセットするときは、先頭ページから順にセットします。自動原稿送り装置（ADF）にセットするときは、先頭ページを上にしてセットします。原稿を原稿ガラスにセットする方法は、『用紙の仕様とセット方法』「原稿ガラスにセットする」を参照してください。原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットする方法は、『用紙の仕様とセット方法』「自動原稿送り装置（ADF）にセットする」を参照してください。

普通紙以外の用紙にコピーするときは、使用する紙の厚さに応じて［用紙設定］で用紙の種類を設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［コピー］アイコンを押します。

2. コピーする枚数など前の設定が残っていないことを確認します。

前の設定が残っているときは［リセット］キーを押します。

3. 原稿をセットします。

4. 必要に応じて、用紙サイズ、原稿セット方向、その他の機能を設定します。

5. テンキーでコピーする枚数を入力します。

入力できるコピー枚数は 999 枚までです。

6. ［スタート］キーを押します。

原稿ガラスに原稿をセットしたときや、大量原稿モードなどの機能を選択して、自動原稿送り装置（ADF）にセットしたときは、すべての原稿の読み取り終了後に［#］キーを押します。画面に表示されるメッセージにしたがってください。

7. コピー終了後は［リセット］キーを押して、設定を解除します。

補足

- ユーザー認証が設定されているときはログイン画面が表示されます。本機にログインしてから操作してください。ログイン方法は、『本機のご利用にあたって』「ログイン画面が表示されたとき」を参照してください。また、ログインして操作したあとは、ほかの利用者が不正に使用できないよう必ずログアウトしてください。
- コピーを中止するときは、[ストップ] キーを押します。
- 設定したコピー機能をすべて取り消して、電源を入れた状態に戻すときは、[リセット] キーを押します。
- コピー初期画面に表示されるキーの説明については、『本機のご利用にあたって』「コピー機能の画面の見かた」を参照してください。
- カラー用 OHP 用紙は使用しないでください。
- [基本コピー設定] の [コピーセット枚数制限設定] で、セットできるコピー枚数の上限を設定できます。詳しくは、P.171「基本コピー設定」を参照してください。

組み合わせできる機能

コピー機能では、組み合わせできる機能とできない機能があります。組み合わせできない機能を選択したときは、選んだ順番によって有効になる機能が変わります。組み合わせできる機能については、P.17「機能組み合わせ一覧」を参照してください。

表で使用している記号の意味は、次のとおりです。

空欄：組み合わせ可

×：組み合わせ不可（先に設定した機能が優先）

●：組み合わせ不可（あとから設定した機能が優先）

機能組み合わせ一覧

機能組み合わせ一覧

表で使用している記号の意味は、次のとおりです。
空欄：組み合わせ可
×：組み合わせ不可（先に設定した機能が優先）
●：組み合わせ不可（あとから設定した機能が優先）

機能名	あとから設定する機能																																												
先に設定した機能	サイズ混載	定形原稿	不定形原稿	原稿方向（読めない向き）	自動濃度	手動濃度	自動用紙選択	手動用紙選択	手差しコピー	用紙指定変倍	変倍	すこし小さめ	原稿：見開き	原稿：両面	両面	集約	見開き→両面	見開き→両面（見開き）	ミニ本	週刊誌	片・両混在	指定ページ両面	ダブルコピー	リピート	とじしろ	白黒反転	原稿とじしろ	センタリング	センター／枠消去	内消去	外消去	印字*1	表紙	章区切り	合紙	反転排紙	3辺枠なし	ソート	回転ソート	スタック	ステープル	パンチ	Z折り	多機能折り*2	文書蓄積
サイズ混載		×	×																																										
定形原稿	×		●				×																																						
不定形原稿	×	●					×																																						
原稿方向（読めない向き）													×				×	×																											
自動濃度																																													
手動濃度																																													
自動用紙選択		●	●					●	●	●														●									●*8	●	●										
手動用紙選択							●		●																																				
手差しコピー							●	●		*13		×			*13	*13	*13	*13	×	×	*13	*13	×					×				×*11	×	×					×		×	×	×	×	×
用紙指定変倍							●		*13		●													●																					
変倍										●																																			
すこし小さめ									×																			×																	
原稿：見開き				×										●							●												×	×											
原稿：両面													●								●												×*3	×*3											
両面									*13							●	●	●	●	●	●	●													×										
集約									*13						●		●	●	●	●	●		×	×											×										
見開き→両面				×					*13						●	●		●	●	●	●												×	×	×										
見開き→両面（見開き）				×					*13						●	●	●		●	●	●												×	×	×										×
ミニ本									×						●	●	●	●		●	●	●	×	×									×	×	×						×	×	×		×
週刊誌									×						●	●	●	●	●		●	●	×	×										×	×						×*10	×	×		
片・両混在									*13				●	●	●	●	●	●	●	●													×*7	×	×										
指定ページ両面									*13						●				●	●														×	×										
ダブルコピー									×							×			×	×				●									×	×	×										×
リピート							×			×						×			×	×			●										×	×	×										×
とじしろ																																													
白黒反転																																													
原稿とじしろ																																													
センタリング									×			×																																	
センター／枠消去																																													
内消去																																													
外消去																																													
印字*1									×*11																										×*12										
表紙							×*8		×				×	×*3			×	×	×		×*7		×	×											●				×					×*9	
章区切り							×		×				×	×*3			×	×	×	×	×	×	×	×											●				×					×*9	
合紙							×								×	×	×	×	×	×	×	×	×	×								×*12	●	●				×	×		×			×	
反転排紙																																									×	×	×		
3辺枠なし																																													
ソート																																			×				●	●					
回転ソート									×																								×	×	×			●		●	●	×	×	×	
スタック																																						●	●		●			×	
ステープル									×										×	×*10															×	×			●	●		×*4	×*5	×	
パンチ									×										×	×																×			×		×*4		×*6	×	
Z折り									×										×	×																×			×		×*5	×*6		●	
多機能折り*2									×																								×*9	×*9	×				×	×	×	×	●		
文書蓄積									×									×	×				×	×																					

*1 印字は、機密管理ナンバリング、スタンプ印字、ユーザースタンプ印字、日付印字、ページ印字、文字印字の総称です。
*2 多機能折りは、二つ折り、外三つ折り、内三つ折り、四つ折り、観音折りの総称です。
*3「両面→片面」のときは、おもて表紙、うら表紙、章区切りとの組み合わせ不可。
*4「ステープル上２ヵ所」と「パンチ左２ヵ所」、または「ステープル斜め」「ステープル下１ヵ所」と「パンチ上２ヵ所」の組み合わせ不可。
*5「ステープル上２ヵ所」とＺ折りの「右折り」は組み合わせ不可。「ステープル左２ヵ所」「ステープル下１ヵ所」「ステープル斜め」とＺ折りの「下折り」は組み合わせ不可。「ステープル中とじ」とＺ折りは組み合わせ不可。
*6「パンチ左２ヵ所」とＺ折りの「下折り」は組み合わせ不可。「パンチ上２ヵ所」とＺ折りの「右折り」は組み合わせ不可。
*7「両面→片面」のときは、おもて表紙、うら表紙との組み合わせ不可。
*8 自動用紙選択とうら表紙の組み合わせ不可。
*9 おもて表紙、うら表紙、章区切りにコピーするときは、多機能折りの印字面の「外側」との組み合わせ不可。
*10 中とじ以外のステープルと週刊誌の組み合わせ不可。
*11 スタンプ印字、ユーザースタンプ印字、日付印字、ページ印字、文字印字と手差しコピーの組み合わせ不可。
*12 機密管理ナンバリングと合紙の組み合わせ不可。
*13 手差しトレイの用紙サイズを設定しているときは、組み合わせできます。

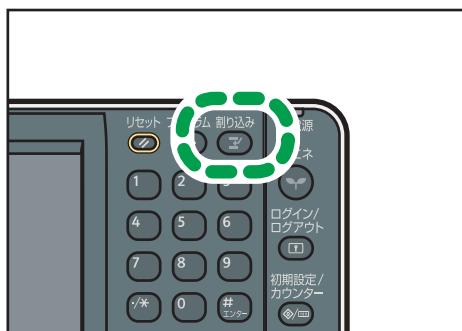
CNQ001

割り込みコピー

コピー中に割り込んで別の原稿をコピーします。

重要

- ファクス原稿の読み取り中は割り込みコピーはできません。
- ほかのコピージョブでステープルを使用しているときはステープルの割り込みコピーはできません。

2

1. [割り込み] キーを押します。

2. コピーが中断したときは、コピー中の原稿を取り除きます。
3. 割り込みコピーする原稿をセットします。
4. [スタート] キーを押します。

   割り込みコピーがスタートします。
5. コピー終了後、割り込みコピーの原稿と排出されたコピーを取り除きます。
6. もう一度 [割り込み] キーを押します。
7. コピーが中断していたときは、割り込む前に残っていた原稿をセットし直し、[スタート] キーを押します。

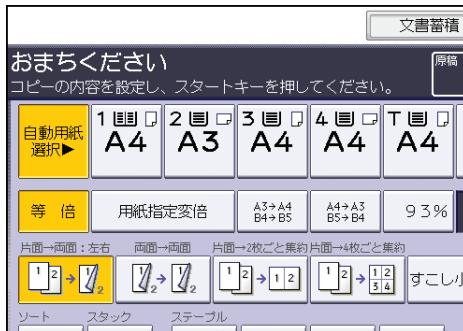
   「原稿を○枚戻してください。」の表示どおりに、読み終わった原稿を戻してからセットします。

補足

- 割り込む前の設定はそのまま残っているので、割り込みコピー終了後は [スタート] キーを押すだけでコピーを再開します。

オートスタート

あらかじめ原稿を読み取り、コピーできる状態になったときに自動的にコピーが始まります。

1. 「コピーの内容を設定し、スタートキーを押してください。」と「原稿の読み取りのみ開始できます。」が交互に表示されている間にコピー内容を設定します。

2. 原稿をセットします。

3. ［スタート］キーを押します。

原稿が読み取られます。

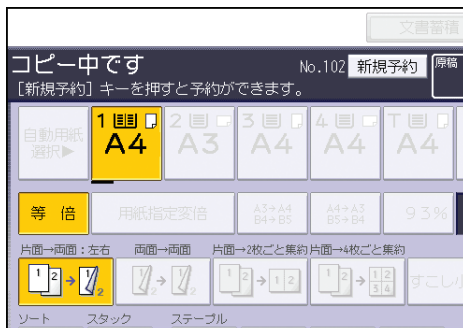
原稿を読み終わると、［スタート］キーが点滅します。

コピーできる状態になったときに自動的にコピーが始まります。

予約コピー

コピー実行中に次のジョブを予約します。コピー機能とドキュメントボックス機能で、それぞれ8件までジョブを予約できます。

コピー終了後、自動的に予約したコピーが始まります。

1. 「コピー中です」が表示されている間に［新規予約］を押します。

2. 「予約できます」と表示されているのを確認し、予約するコピーの内容を設定します。

3. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

セットした原稿が読み取られます。

予約コピーが終了すると予約受け付け確認の画面が表示されます。

4. [確認] を押します。

コピー終了後、自動的に予約したコピーが始まります。

補足

- コピーの予約中に、[印刷中画面へ] を押すと先に設定されたコピーの画面へ、また [予約画面へ] を押すと、あとから予約したコピーの画面に移ります。
- 予約画面にはジョブNo.で登録されています。
- 予約したジョブを削除したり、内容を確認したりできます。詳しくは、『便利な機能』「ジョブを管理する」を参照してください。

用紙サイズを指定しないでコピーする

セットされた原稿のサイズを読み取り、自動的に倍率に合った用紙を選択します。

自動用紙選択できる原稿サイズ、方向は次のとおりです。(等倍のとき)

原稿セット先	原稿サイズ、方向
原稿ガラス	A3、B4、A4、B5、A5
自動原稿送り装置(ADF)	A3、B4、A4、B5、A5、B6、11×17、8 1/2×11

2

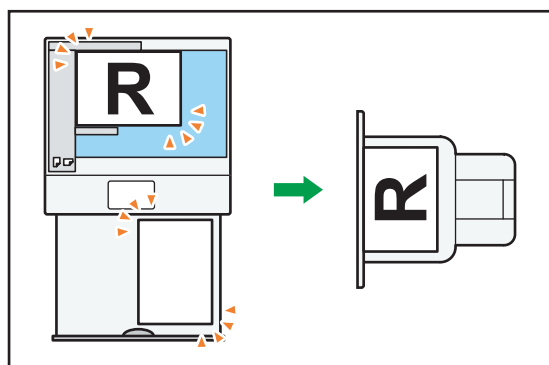
1. [自動用紙選択]が選択されていることを確認します。

2. 原稿をセットし、[スタート]キーを押します。

補足

- [用紙設定]の「用紙種類」を[表示しない]または[再生紙]に設定し、「自動用紙選択の対象」を[対象]に設定した給紙トレイだけが自動用紙選択の対象です。カギマーク()の付いているトレイは自動的に選択されません。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

回転コピー

セットした原稿と給紙トレイにセットされている用紙の方向が異なるときでも、用紙の方向に合わせて自動的に画像を90度回転してコピーします。この動作を回転コピーと呼びます。回転コピーは、[自動用紙選択]または[用紙指定変倍]を選択しているときに有効な機能です。詳しくは、P.21「用紙サイズを指定しないでコピーする」またはP.36「用紙指定変倍」を参照してください。

補足

- ［基本コピー設定］の［リミットレス給紙］は、工場出荷時に［回転可能で動作］に設定されています。［回転不可で動作］または［しない］に変更すると、回転コピーはできません。詳しくは、P.171「基本コピー設定」を参照してください。
- ステープルやパンチなどの仕上げ機能の設定、種類によっては回転コピーしないことがあります。

用紙サイズを指定してコピーする

サイズが読み取りにくい原稿をコピーするときは、用紙サイズを選択してください。コピーする用紙を、給紙トレイ、手差しトレイ、または大量給紙トレイから選択します。

1. 使用する用紙がセットされているトレイを選択します。

2. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

手差しトレイからコピーする

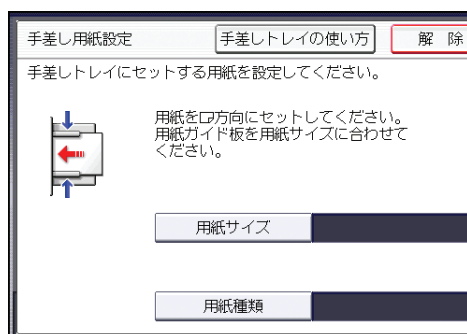
給紙トレイにセットできないサイズの用紙以外に、はがき、OHP フィルム、ラベル紙（ハクリ紙）などにコピーできます。

手差しトレイに用紙をセットする方法は、『用紙の仕様とセット方法』「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。

手差しトレイの「用紙種類」に表示されない種類の用紙や、厚さが 82〜103g/m^2（70〜89kg）の用紙にコピーするときは、［用紙設定］で用紙の種類をあらかじめ設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

75〜81g/m^2（64〜70kg）の用紙にコピーするときは、［普通紙設定］で設定を変更してください。詳しくは、『用紙の仕様とセット方法』「普通紙設定」を参照してください。

手差しトレイの使いかた

「手差し用紙設定」画面で［手差しトレイの使い方］を押すと、原稿や用紙のセット方向についての説明が表示されます。

1. コピーする面を上にして、手差しトレイに用紙をセットします。

自動的に［手差し］が選択されます。

2. ［#］キーを押します。

3. ［用紙サイズ］を押します。

4. 用紙のサイズを設定し、［OK］を押します。

5. ［用紙種類］を押します。

6. 必要に応じて用紙の種類を設定し、［OK］を 2 回押します。

7. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

8. コピー終了後は［リセット］キーを押して、設定を解除します。

補足

- 手差しトレイが自動的に選択されないときは、［手差し］を押してください。

- ラベル紙（ハクリ紙）など普通上質紙以外の用紙を使用するときは、［周辺設定］の［手差し使用時印刷排紙面設定］を必ず［おもて面排紙］に設定してください。［うら面排紙］に設定していると紙づまりします。詳しくは、P.196「周辺設定」を参照してください。
- 原稿ガラスに原稿をセットして裏面排紙するときは、［周辺設定］の［原稿ガラス使用時印刷排紙面設定］と［手差し使用時印刷排紙面設定］の両方の設定を［うら面排紙］に設定してください。詳しくは、P.196「周辺設定」を参照してください。

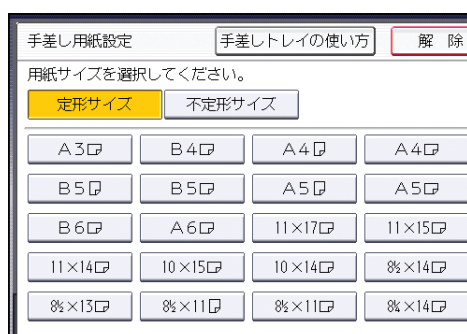
手差しトレイから定形サイズの用紙にコピーする

1. コピーする面を上にして、手差しトレイに用紙をセットします。

自動的に［手差し］が選択されます。

2. ［#］キーを押します。

3. ［用紙サイズ］を押します。

4. 用紙のサイズを選択します。

5. ［OK］を 2 回押します。

6. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

- 手差しトレイにセットできる用紙サイズについては、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

手差しトレイから不定形サイズの用紙にコピーする

手差しコピーできる用紙サイズはタテ 100.0〜305.0mm、ヨコ 139.7〜600.0mm です。ただし使用している機器のオプション構成や排紙先の設定によって、手差しコピーできる用紙サイズは異なります。

- シフトトレイ、フィニッシャー SR4060 または SR4070 に出力するとき：タテ 100.0〜305.0mm、ヨコ 139.7〜487.6mm

- フィニッシャー R4080 の上トレイに出力するとき：タテ 100.0～305.0mm、ヨコ 139.7～458.0mm
- フィニッシャー R4080 のシフトトレイに出力するとき：タテ 139.0～305.0mm、ヨコ 139.7～458.0mm

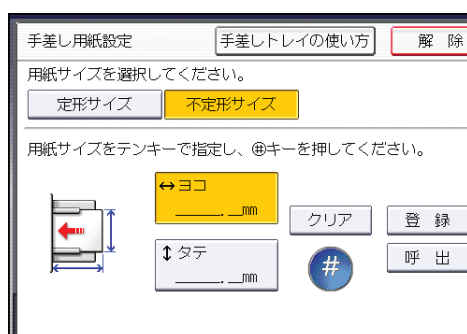
1. コピーする面を上にして、手差しトレイに用紙をセットします。

自動的に［手差し］が選択されます。

2. ［#］キーを押します。

3. ［用紙サイズ］を押します。

4. ［不定形サイズ］を押します。

5. 「ヨコ」の寸法をテンキーで入力し、［#］を押します。

6. 「タテ」の寸法をテンキーで入力し、［#］を押します。

7. ［OK］を 2 回押します。

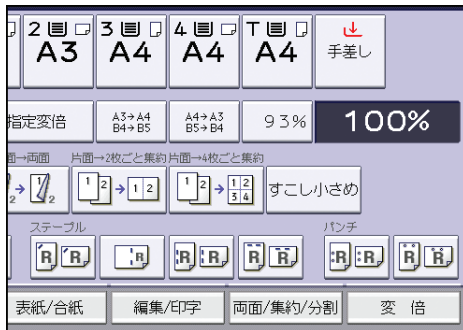
8. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

- 不定形サイズを登録できます。詳しくは、P.26「不定形サイズを登録する」を参照してください。また、登録した不定形サイズを呼び出すこともできます。詳しくは、P.27「不定形サイズを呼び出す」を参照してください。

不定形サイズを登録する

頻繁に使用する不定形用紙のサイズを登録できます。登録できる不定形サイズは 1 件です。

1. 用紙選択の［手差し］を押し、［#］キーを押します。

2. ［用紙サイズ］を押します。
3. ［不定形サイズ］を押します。
4. 「ヨコ」の寸法をテンキーで入力し、［#］を押します。
5. 「タテ」の寸法をテンキーで入力し、［#］を押します。
6. ［登録］を押します。
7. ［確認］を押します。
8. ［OK］を 2 回押します。

不定形サイズを呼び出す

あらかじめ登録した不定形用紙のサイズを画面に表示します。

1. 用紙選択の［手差し］を押し、［#］キーを押します。

2. ［用紙サイズ］を押します。
3. ［不定形サイズ］を押します。
4. ［呼出］を押します。
5. ［OK］を 2 回押します。

さまざまな用紙にコピーする

はがき、OHP フィルム、厚紙など、さまざまな用紙にコピーできます。このような用紙にコピーするときは、用紙の種類とサイズを設定します。

補足

- はがき、OHP フィルム、厚紙、インデックス紙にコピーするときは、普通紙にコピーするときより印刷速度が遅くなります。
- 複数枚を一度にセットするときは、用紙づまりを防止するためにパラパラとほぐしてからセットします。用紙づまりが起きたときは、用紙を 1 枚ずつセットします。

2

厚紙にコピーする

重要

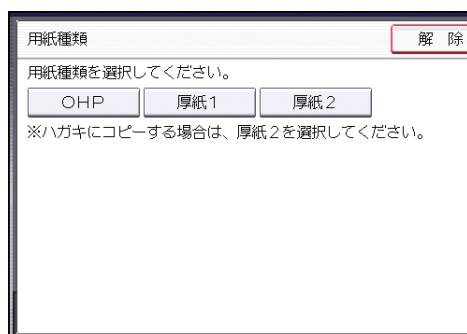
- 厚紙 2 には両面コピーできません。両面コピーが設定されているときは、[片面→両面：左右] を押して設定を解除してください。

厚紙にコピーするときは、使用する用紙の紙厚に対応した用紙種類を選択します。

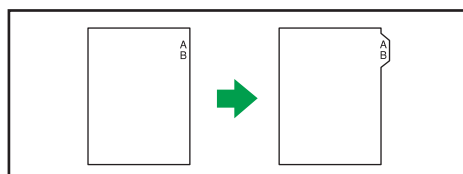
- 厚紙 1：104〜169g/m^2（90〜145kg）
- 厚紙 2：170〜216g/m^2（146〜186kg）

1. **コピーする面を上にして、手差しトレイに用紙をセットします。**

   自動的に［手差し］が選択されます。

2. **[#] キーを押します。**
3. **[用紙サイズ] を押します。**
4. **用紙のサイズを設定し、[OK] を押します。**
5. **[用紙種類] を押します。**
6. **[厚紙 1] または［厚紙 2] を選択し、[OK] を 2 回押します。**

7. **原稿をセットし、[スタート] キーを押します。**

補足

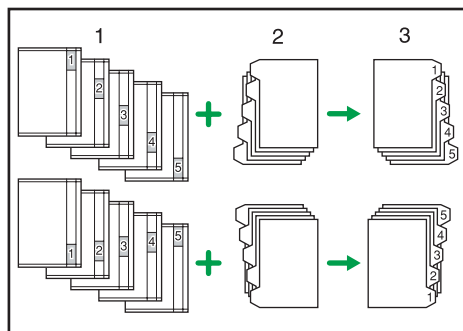
- 用紙種類で厚紙 2 を設定しているときは、裏面排紙はできません。
- 厚紙は給紙トレイにもセットできます。あらかじめ［用紙設定］で用紙の種類を設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

インデックス紙にコピーする

この機能を使用するために必要なオプションについては、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

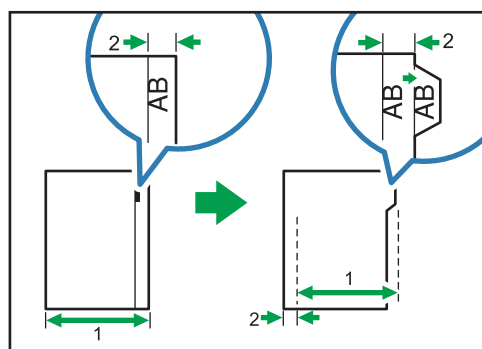
重要

- **インデックス紙には両面コピーできません。両面コピーが設定されているときは、［片面→両面：左右］を押して設定を解除してください。**

インデックス紙はトレイ 2 から 4 にセットできます。コピーする面を下にしてセットしてください。給紙トレイにインデックス紙をセットする方法は、『用紙の仕様とセット方法』「トレイ 2〜4 にインデックス紙をセットする」を参照してください。

インデックス紙は上から順に給紙されます。

1. **原稿**
2. **インデックス紙**
3. **コピー**

インデックス紙にコピーするときは、［用紙設定］の［用紙サイズ設定］でインデックス紙のサイズをあらかじめ設定してください。使用できるインデックス紙のサイズは、A4 ▯、$8^1/_2$×11▯、$8^1/_2$×14▭です。

また、［用紙設定］の［用紙種類設定］で［インデックス紙］を選択し、インデックス部のシフト量を設定してください。

1. 原稿幅
2. シフト量

詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

1. インデックス紙がセットされている給紙トレイを選択します。

2. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

- コピーする画像がずれないように、あらかじめインデックス部の位置を確認してください。インデックス部のない位置に文字があると、トナーが用紙の裏について汚れることがあります。
- 紙づまりが起きたときは原稿とインデックス紙の並び順を確認してコピーを再開してください。

OHP フィルムにコピーする

重要

- OHP フィルムはコピー面が決まっています。コピー面を確認してセットしてください。
- OHP フィルムにコピーするときは、排出されたコピーを 1 枚ずつ取り除いてください。
- OHP フィルムには両面コピーできません。両面コピーが設定されているときは、[片面→両面：左右] を押して設定を解除してください。
- OHP フィルムは A4▯▭または 8$^{1}/_{2}$×11▯▭の用紙を使用し、用紙サイズを指定してください。

1. **コピーする面を上にして、手差しトレイに OHP フィルムをセットします。**

   自動的に [手差し] が選択されます。

2. **[#] キーを押します。**
3. **[用紙サイズ] を押します。**
4. **用紙のサイズを設定し、[OK] を押します。**
5. **[用紙種類] を押します。**
6. **[OHP] を押し、[OK] を 2 回押します。**
7. **原稿をセットし、[スタート] キーを押します。**

補足

- 用紙種類で OHP を設定しているときは、裏面排紙はできません。

はがきにコピーする

はがきは手差しトレイにセットできます。

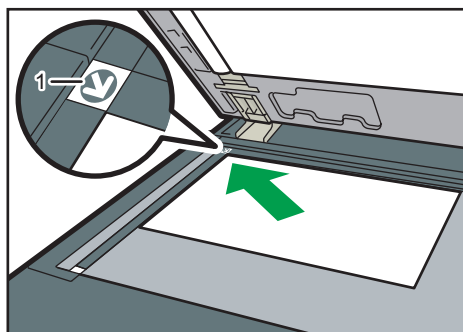
郵便はがきは定形サイズから用紙サイズを選択します。往復はがきは不定形サイズで用紙サイズを指定します。

はがきの取り扱い、はがきをセットする方法、原稿とはがきのセット方向については、『用紙の仕様とセット方法』「はがき」を参照してください。

重要

- 郵便はがき、往復はがきには両面コピーできません。両面コピーが設定されているときは、[片面→両面：左右] を押して設定を解除してください。

2

1. 原稿のコピーする面を下にし、左奥のセット基準にセットします。

1. セット基準

2. コピーする面を上にして、手差しトレイにはがきをセットします。

自動的に［手差し］が選択されます。

3. ［#］キーを押します。

4. ［用紙サイズ］を押します。

5. ［郵便ハガキ▭］を選択し、［OK］を押します。

6. ［用紙種類］を押します。

7. 用紙の種類を選択し、［OK］を2回押します。

8. ［スタート］キーを押します。

補足

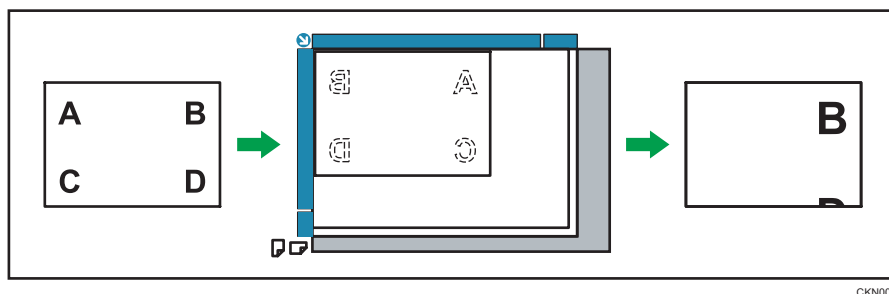
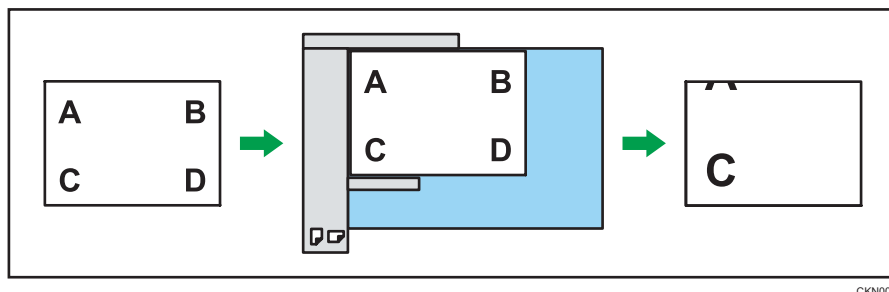
- 往復はがきにコピーするときは、手順5で［不定形サイズ］を押し、タテとヨコの寸法を入力します。詳しくは、P.25「手差しトレイから不定形サイズの用紙にコピーする」を参照してください。

拡大・縮小してコピーする

倍率を指定する方法と、用紙サイズを指定する方法を説明します。

基点について

拡大・縮小の基点は、原稿の読み取らせかたによって異なります。原稿ガラスにセットしたときは、左奥の「セット基準」に接するところが基点です。自動原稿送り装置（ADF）にセットしたときは、原稿の左手前が基点です。

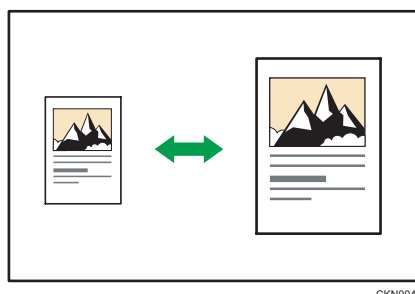
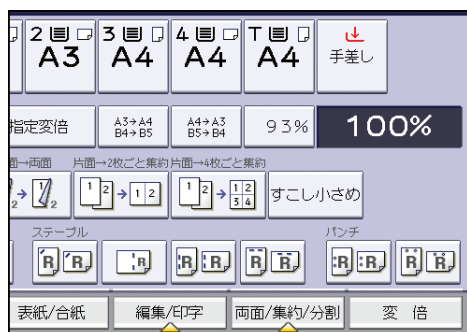
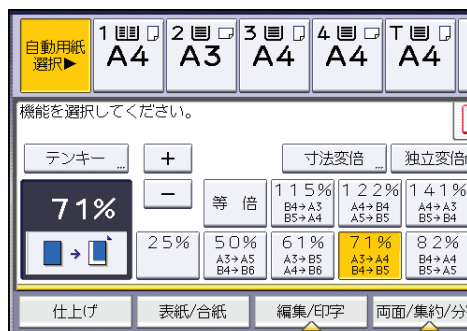
- 原稿ガラスにセットするとき

- 自動原稿送り装置（ADF）にセットするとき

ここで説明している拡大・縮小機能のほかにも、原稿とコピーの画像の大きさを指定したり、タテとヨコで異なる倍率を指定したりできます。詳しくは、P.79「拡大・縮小コピーを活用する」を参照してください。

補足

- 倍率の範囲は 25〜400%です。

定形変倍

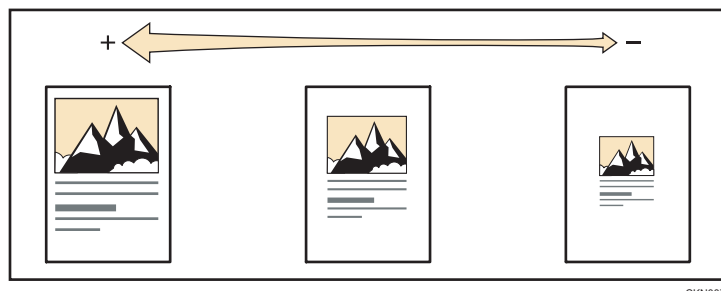
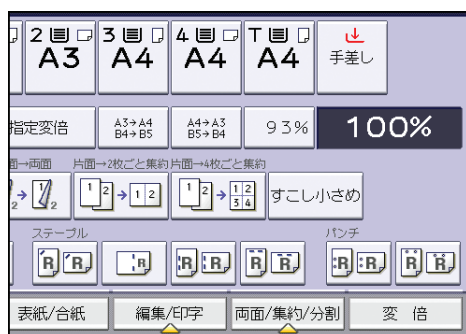
あらかじめ設定されている倍率を選択し、画像を拡大または縮小してコピーします。最大3 つまで任意の倍率を登録できます。

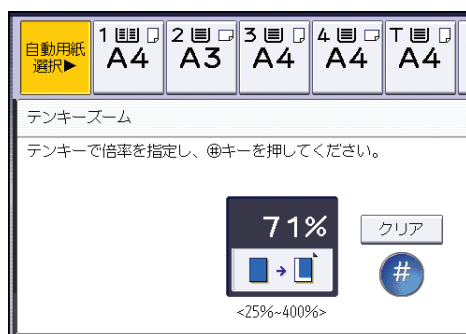
2

1. [変倍] を押します。

2. 倍率を選択し、[OK] を押します。

3. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

補足

- コピー初期画面内に表示されている倍率を選択するときは、直接そのキーを押します。
- 原稿や用紙サイズに関係なく倍率を選択できますが、設定や状態によっては画像が欠けることや、余白ができることがあります。
- その他の補足事項については、P.33「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。
- [変倍率設定] で画面に表示される変倍率を変更できます。詳しくは、P.177「変倍率設定」を参照してください。

ズーム

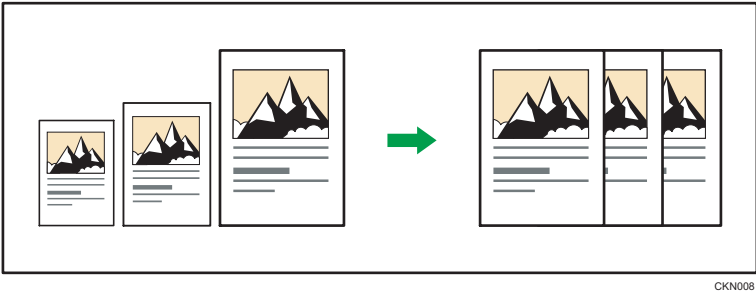
1%刻みで拡大または縮小してコピーします。

倍率をテンキーで指定する方法と、[+][−]で指定する方法があります。ここではテンキーで指定する方法を説明します。

1. [変倍]を押します。

2. [テンキー]を押します。
3. テンキーで倍率を入力し、[#]を押します。

4. [OK]を2回押します。
5. 原稿をセットし、[スタート]キーを押します。

補足

- ［+］［−］で指定するときは、［変倍］を押したあと設定する倍率に近い倍率を選択します。［+］または［−］を押すと倍率が1%ずつ変わります。押し続けると10%ずつ変わります。
- 原稿や用紙サイズに関係なく倍率を選択できますが、設定や状態によっては画像が欠けることや、余白ができることがあります。
- その他の補足事項については、P.33「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。

用紙指定変倍

原稿のサイズを自動的に検知し、指定した用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小コピーします。

重要

- **［用紙指定変倍］を押したあとに、右側に表示されている変倍率を選択したときは、用紙指定変倍機能は解除され、画像は回転されません。**

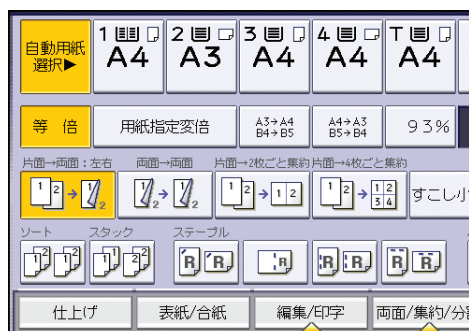
用紙指定変倍は、異なる大きさの原稿を同じ大きさの用紙にコピーするときに便利です。

また、原稿の方向と用紙の方向が異なるときは、自動的に画像を回転してコピーします（回転コピー）。

たとえば、A3原稿をA4に縮小するときは、［用紙指定変倍］を押し、A4がセットされているトレイを選択すると、自動的に画像が回転して縮小されます。回転コピーについては、P.21「回転コピー」を参照してください。

用紙指定変倍できる原稿のサイズ、方向は次のとおりです。

原稿セット先	原稿サイズ、方向
原稿ガラス	A3、B4、A4、B5、A5
自動原稿送り装置（ADF）	A3、B4、A4、B5、A5、B6、11×17、8$^1/_2$×11

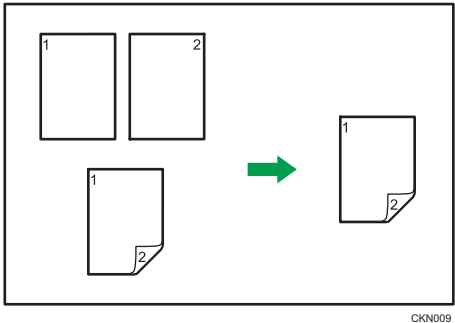
1. [用紙指定変倍］を押します。

2. 使用する用紙がセットされているトレイを選択します。
3. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

- 補足事項については、P.33「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。

2

両面にコピーする

2 枚の片面原稿または 1 枚の両面原稿を、用紙の両面にコピーします。両面コピーでは、とじしろ分だけ画像が移動します。

CKN009

両面コピーには次の 2 種類があります。

片面→両面

2 枚の片面原稿を用紙の両面にコピーします。

両面→両面

両面原稿を用紙の両面にコピーします。

タテ長の原稿とヨコ長の原稿では、原稿のセット方向によってコピーの結果が異なります。

原稿のセット方向とコピー結果

両面コピーをするときは、セットする原稿に合わせて原稿セット方向や原稿のひらき方向を設定します。また、希望の仕上がり状態に合わせてコピーのひらき方向を設定します。

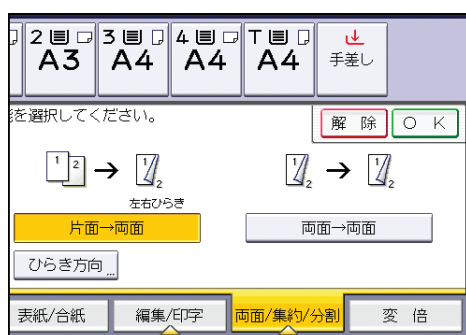
原稿	セットする原稿の向き	原稿セット方向	ひらき方向	コピー
			左右ひらき	
			上下ひらき	

原稿	セットする原稿の向き	原稿セット方向	ひらき方向	コピー
			左右ひらき	
			上下ひらき	

2

1. ［両面/集約/分割］を押します。

2. ［両面］が選択されていることを確認します。
3. 原稿の状態に合わせ、［片面→両面］または［両面→両面］を選択します。

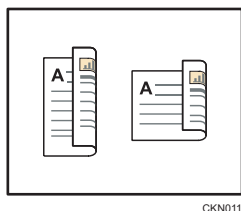
原稿またはコピーのひらき方向を変更するときは、［ひらき方向］を押します。

4. ［OK］を押します。
5. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

- 次の用紙には両面コピーできません。
    - トレーシングペーパー（第二原図用紙）

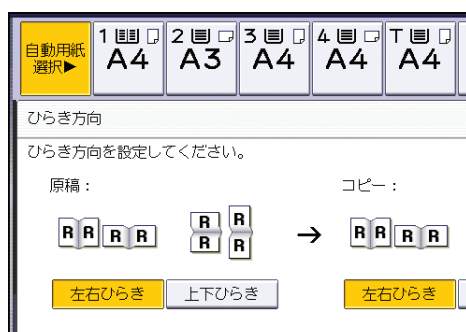
- ラベル紙（ハクリ紙）
  - OHP フィルム
  - はがき
  - インデックス紙
  - 厚紙
- 自動原稿送り装置（ADF）に奇数枚の原稿をセットしたときは、最後にコピーされた用紙の片面は白紙のままです。
- コピーのおもて面とうら面の画質が異なることがあります。
- ［片面→両面］、［両面→両面］は登録機能キーを押しても選択できます。そのときは手順 5 に進みます。
- 両面コピーできる用紙のサイズ、方向、紙厚については、『保守/仕様』「本体仕様」を参照してください。
- 両面コピーのとじしろ幅を［基本編集設定］で変更できます。詳しくは、P.179「基本編集設定」を参照してください。

ひらき方向を変更する

原稿が両面のときや、用紙の両面にコピーするときは、原稿とコピーそれぞれのひらき方向を選択します。

左右ひらき

上下ひらき

1. ［ひらき方向］を押します。

2. 原稿が両面のときは、「原稿：」で［左右ひらき］または［上下ひらき］を選択します。

3.「コピー：」で［左右ひらき］または［上下ひらき］を選択します。

4.［OK］を押します。

補足

- 工場出荷時は、［左右ひらき］が選択されています。［基本コピー設定］の［両面原稿ひらき方向設定］と［両面コピーひらき方向設定］でひらき方向を変更できます。詳しくは、P.171「基本コピー設定」を参照してください。

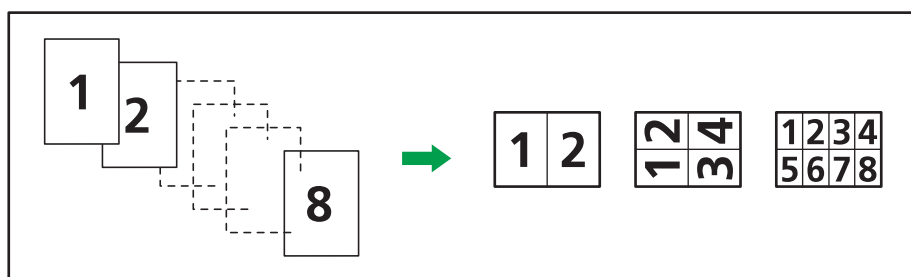
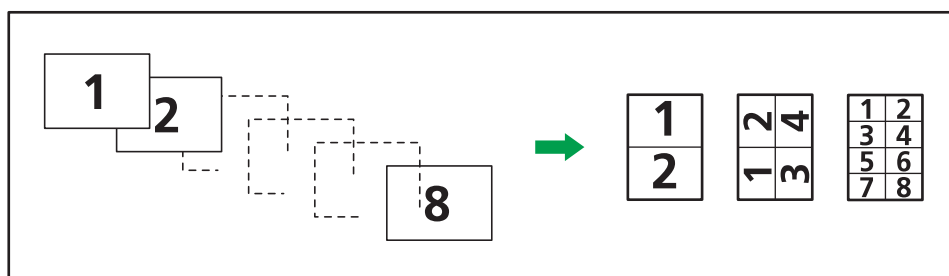
1 枚にまとめてコピーする

用紙サイズと集約数に合わせて自動的に倍率を設定し、1 枚の用紙にコピーします。

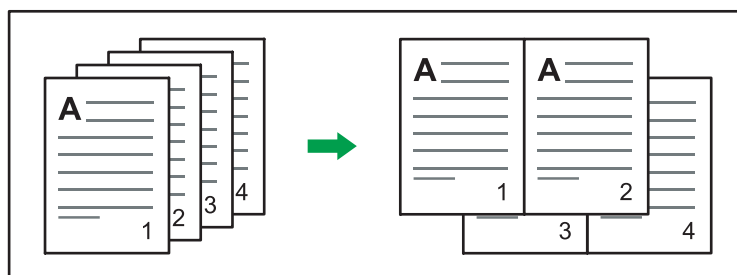
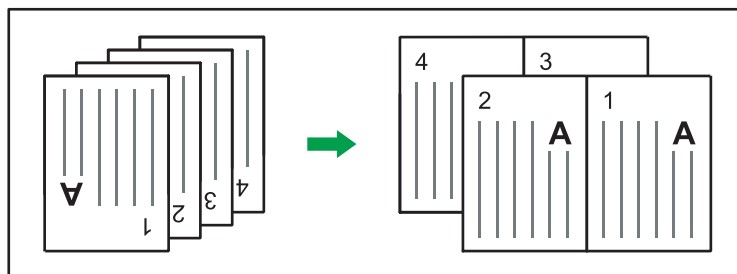
設定される倍率は 25～400%です。原稿の方向と用紙の方向が一致しないときは、自動的に画像を 90 度回転してコピーします。

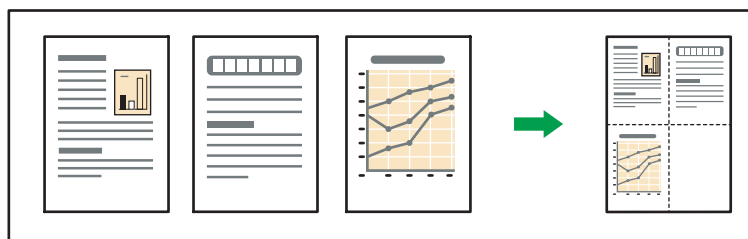
原稿の方向と集約の画像位置

集約したときの画像位置は、原稿の方向と集約する枚数によって異なります。

- タテ長（🗋）原稿のとき

- ヨコ長（🗋）原稿のとき

原稿のセット方向とコピー結果

自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットして集約するときは、縦書きか横書きかによって、原稿をセットする方向が異なります。縦書き原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットするときは、原稿の上下を逆にしてセットします。

- 横書き原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットするとき

- 縦書き原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットするとき

補足

- 原稿面で［両面］、またはコピー面で［両面集約］を選択したときは、［ひらき方向］でひらき方向を設定できます。詳しくは、P.40「ひらき方向を変更する」を参照してください。
- 計算された縮小率が指定できる最小倍率以下のときは、最小倍率に補正されます。このとき画像が欠けることがあります。
- 原稿枚数が設定した集約数より少ないときは、次のように空白でコピーされます。

- 集約したときの画像の並び順を、［基本編集設定］の［集約時並び順］で変更できます。詳しくは、P.179「基本編集設定」を参照してください。
- 仕切り線の種類を、［基本編集設定］の［集約コピー仕切り線］で変更できます。詳しくは、P.179「基本編集設定」を参照してください。
- 原稿の周辺 3mm を消去して集約コピーできます。設定は［基本編集設定］の［集約コピー時枠消去］で変更します。詳しくは、P.179「基本編集設定」を参照してください。

片面集約

複数枚の原稿を用紙の片面 1 枚にまとめてコピーします。

片面集約には次の 6 種類があります。

片面 2 枚→片面 1 枚

2 枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

片面 4 枚→片面 1 枚

4 枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

片面 8 枚→片面 1 枚

8 枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

両面 2 ページ→片面 1 枚

2 ページ分の両面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

両面 4 ページ→片面 1 枚

4 ページ分の両面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

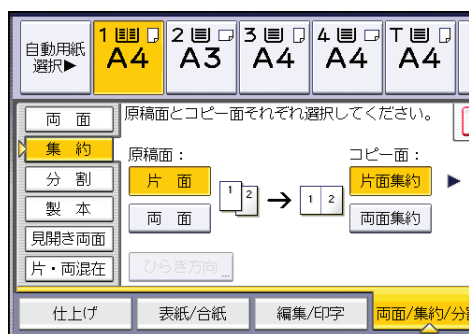
両面 8 ページ→片面 1 枚

8 ページ分の両面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

1. ［両面/集約/分割］を押します。

2. ［集約］を押します。

3. 原稿の状態に合わせ、［片面］または［両面］を選択します。

［両面］を選択したときは、ひらき方向を設定できます。

4. [片面集約] を押します。

5. 何ページの原稿をまとめるか選択します。

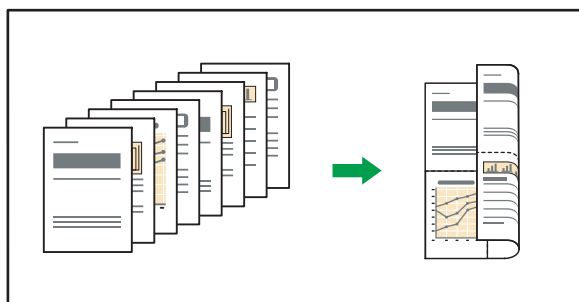
6. [OK] を押します。

7. 用紙を選択します。

8. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

- [片面→2 枚ごと集約]、[片面→4 枚ごと集約] は登録機能キーを押しても選択できます。そのときは手順 7 に進みます。

両面集約

複数枚の原稿を用紙の両面 1 枚にまとめてコピーします。

CKN074

両面集約には、次の 6 種類があります。

片面 4 枚→両面 1 枚

4 枚の片面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

片面 8 枚→両面 1 枚

8 枚の片面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

片面 16 枚→両面 1 枚

16 枚の片面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

両面 4 ページ→両面 1 枚

4 ページ分の両面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

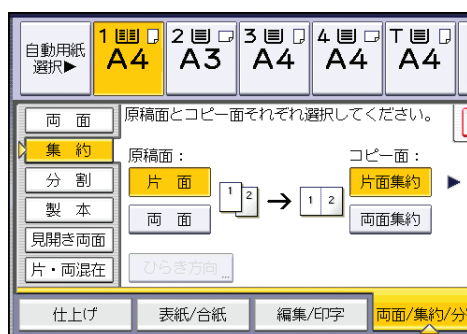
両面 8 ページ→両面 1 枚

8 ページ分の両面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

両面 16 ページ→両面 1 枚

16 ページ分の両面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

1. ［両面/集約/分割］を押します。

2. ［集約］を押します。
3. 原稿の状態に合わせ、［片面］または［両面］を選択します。

4. ［両面集約］を押します。
5. ［ひらき方向］を押します。
6. 原稿面やコピー面で、［左右ひらき］または［上下ひらき］を選択し、［OK］を押します。
7. 何ページの原稿をまとめるか選択します。
8. ［OK］を押します。

9. 用紙を選択します。
10. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

コピーの仕上げを指定する

コピーをページ順にそろえたり、ページごとにずらして排出したりできます。また、パンチやステープルも指定できます。

補足

- 使用できる機能は、使用している機器の構成によって異なります。詳しくは、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

ソート

1 セットずつページ順にそろえてコピーします。

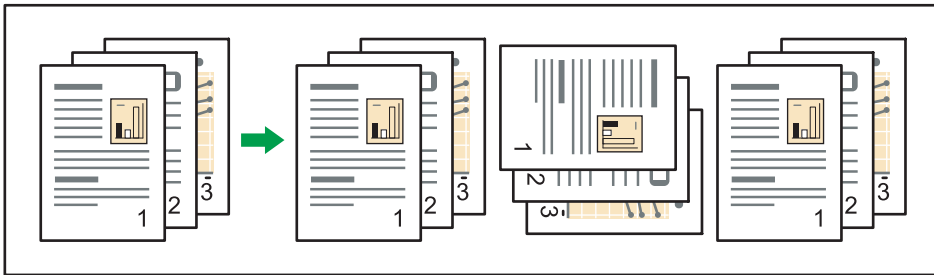
重要

- **回転ソートをするには、サイズと種類が同じで方向（）の異なる用紙がセットされている給紙トレイが 2 段必要です。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。**
- **手差しコピーは回転ソートできません。**

ソート/シフトソート

1 セットずつページ順にそろえてコピーします。フィニッシャーまたはシフトトレイ装着時は、1 部ごと、または動作ごとに、コピーをずらして排出するシフトソートになります。シフトソートでは、部や動作の区切りがわかりやすくなります。

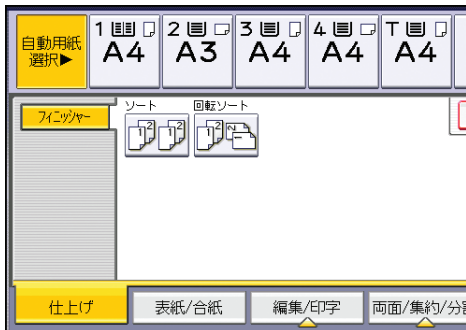
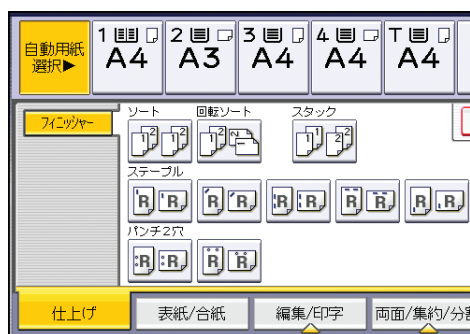
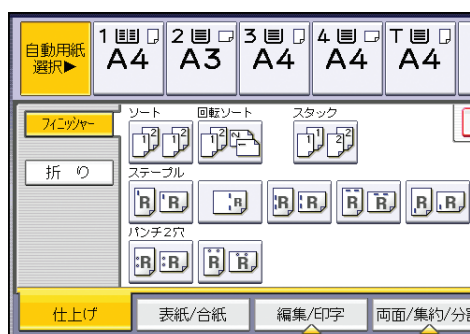
回転ソート

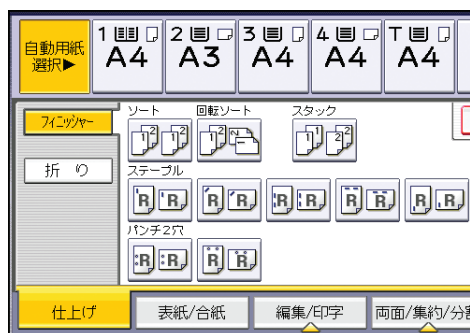
1 セットずつ異なる向き（）でコピーします。

2

1. [仕上げ] を押します。

2. [フィニッシャー] を押します。

3. [ソート] または [回転ソート] を選択し、[OK] を押します。

フィニッシャー未装着時

フィニッシャー SR4060 装着時

フィニッシャー SR4070 装着時

フィニッシャー SR4080 装着時

4. テンキーでコピーする部数を入力します。

5. 原稿をセットします。

仕上がり状態を確認するときは、［試しコピー］キーを押します。

6. ［スタート］キーを押します。

補足

- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、最初の 1 部が 1 枚ずつコピーされます。コピーが排出されるタイミングは、印刷の設定により異なります。すべての原稿の読み取り終了後に［#］キーを押すと、残りの部数が印刷されます。
- 回転ソートできる用紙サイズと方向は次のとおりです。

- A4、A5、B5、$8^{1}/_{2}\times11$、$7^{1}/_{4}\times10^{1}/_{2}$、$5^{1}/_{2}\times8^{1}/_{2}$、16K

- 回転ソートを選択したとき、収容枚数が少なくなることがあります。
- コピー枚数が収容枚数を超えるとコピーが止まります。このときはいったん用紙を取り除いてコピーを再開してください。
- 排紙トレイに重ねられるコピー枚数、シフトして排紙できる用紙サイズと方向については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。
- [周辺設定] の [ソート全数読み取り設定] や [回転ソート：回転給紙継続設定] で、ソート時の動作の設定を変更できます。詳しくは、P.196「周辺設定」を参照してください。

試しコピー

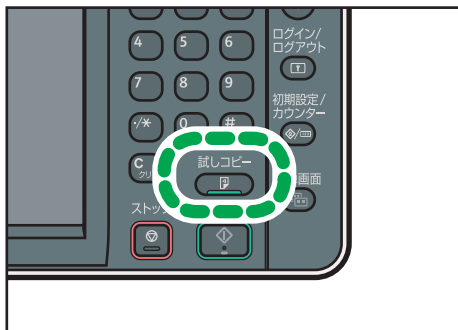
最初の 1 部のコピーで仕上がりを確認します。

重要

- ソートを設定しているときだけ使用できる機能です。

1. ソートと使用する各機能を設定し、原稿をセットします。

2. テンキーでコピーする部数を入力します。

3. [試しコピー] キーを押します。

CJE004

試しコピー 1 部が排出されます。

4. 仕上がりを確認後、よければ [継続] を押します。

試しコピー 1 部を引いた部数がコピーされます。

補足

- 仕上がりを確認後、[中断] を押すとコピー機能を再設定できます。ただし、機能の組み合わせによっては再設定できないことがあります。

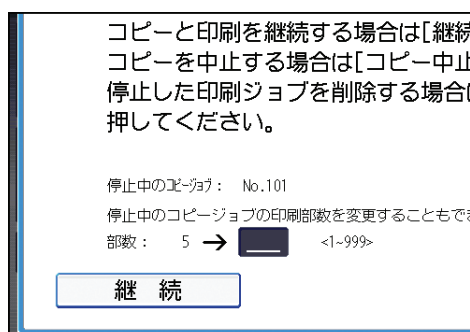
コピー部数を変更する

コピー中にコピー部数を変更します。

重要

- ソートを設定しているときだけ使用できる機能です。

2

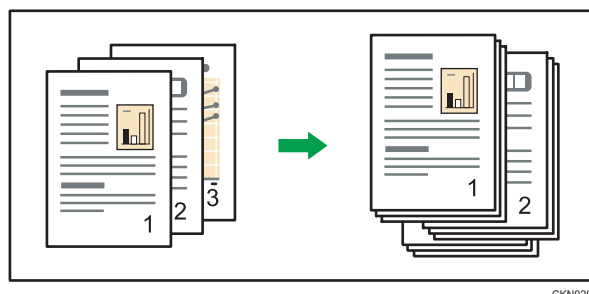
1. 「コピー中です」と表示されている間に［ストップ］キーを押します。
2. テンキーでコピーする部数を入力します。

3. ［継続］を押します。

   コピーが再開されます。

補足

- 入力できるコピー部数の範囲は［ストップ］キーを押すタイミングにより異なります。

スタック

ページごとにそろえてコピーします。

フィニッシャーまたはシフトトレイが装着されていると、ページごとにコピーが排出されるたびにトレイまたは用紙が前後に動き、次のコピーをずらして排出するので、ページの区切りがわかります。

1. [仕上げ] を押します。

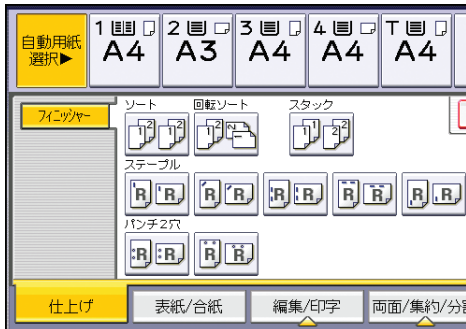
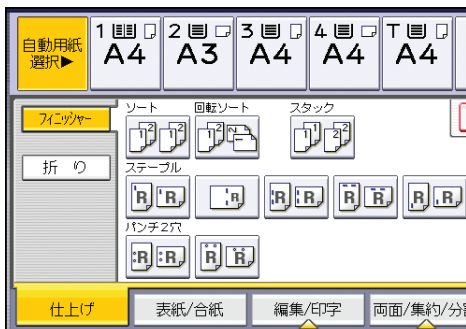
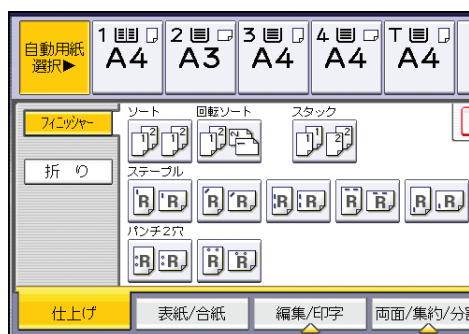
2. [フィニッシャー] を押します。

3. [スタック] を押します。

フィニッシャー SR4060 装着時

フィニッシャー SR4070 装着時

フィニッシャー SR4080 装着時

2

4. ［OK］を押します。

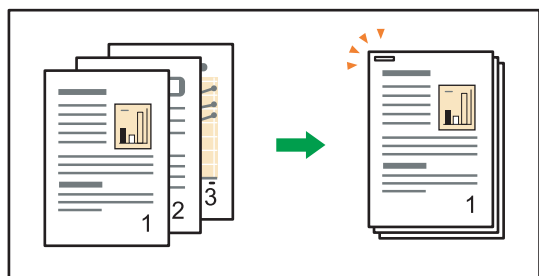
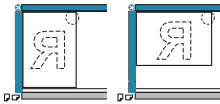
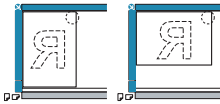
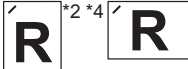
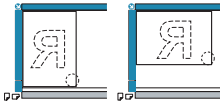
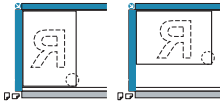
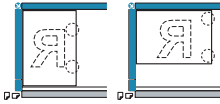
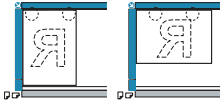
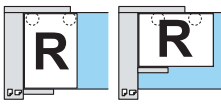
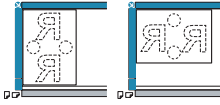
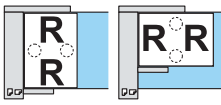
5. 1 枚の原稿を何枚ずつコピーするか、テンキーで入力します。

6. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

- シフトして排紙できる用紙サイズと方向については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。

ステープル

1 セットずつステープラーでとじます。

CKN021

重要

- 手差しコピーはできません。

原稿のセット方向とステープルの位置

原稿は持ったとき文字が読める状態（方向）のまま自動原稿送り装置（ADF）にセットします。原稿ガラスにセットするときは方向を変更しないで裏返します。

原稿と同じサイズ、方向の用紙がセットされているときは、次の表のように原稿をセットしてステープルします。選択できるステープル位置は、［仕上げ］を押して表示される画面で確認できます。

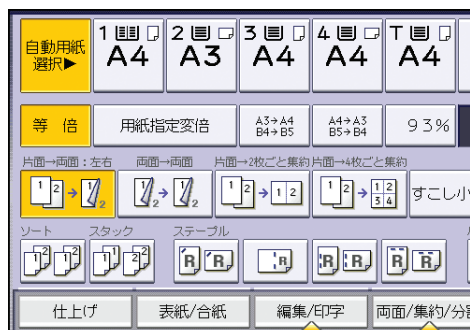
	原稿ガラスにセット	自動原稿送り装置（ADF）にセット	ステープル位置[*1]
上 1 ヵ所			
斜め			*2 *4
下 1 ヵ所			
下斜め			
左 2 ヵ所			*2
上 2 ヵ所			*3 *2 *3
中とじ			

*1 このイラストはステープルの位置を表しています。用紙の向きはコピーの排紙方向を示したものではありません。

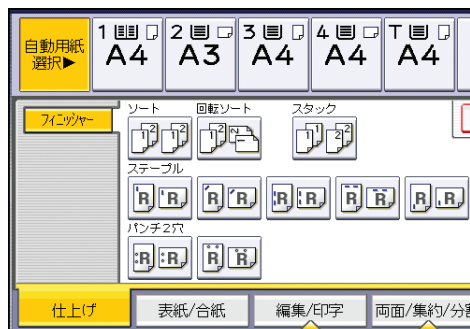
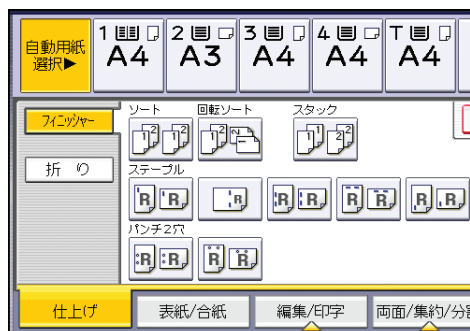
*2 B4 サイズ以上の用紙ではこの位置にステープルできません。

*3 この位置にステープルするときは原稿方向で読めない方向を選択してから［上 2 ヵ所］を設定します。

*4 下斜めが選択肢に表示されている機種では、B4 サイズ以上の用紙にもステープルできます。

1. [仕上げ] を押します。

2. [フィニッシャー] を押します。

3. ステープルの位置を選択します。

フィニッシャー SR4060 装着時

フィニッシャー SR4070 装着時

フィニッシャー SR4080 装着時

ステープルの位置を選択すると、自動的に「ソート」も選択されます。

4.［OK］を押します。

5. テンキーでコピーする部数を入力します。

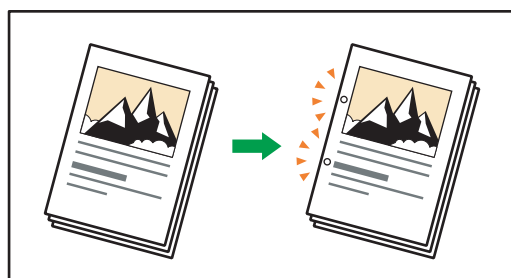
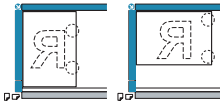
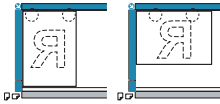
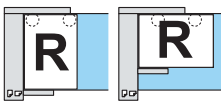
6. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

- 次の用紙はステープルできません。
  - はがき
  - トレーシングペーパー（第二原図用紙）
  - OHP フィルム
  - ラベル紙（ハクリ紙）
  - 厚紙
  - カールした用紙
  - こしの弱い用紙
- コピーの途中でステープル位置を変更することはできません。
- B4▭以上をステープルするときは、フィニッシャートレイの延長トレイを引き出してください。
- サイズ混載機能と自動用紙選択を組み合わせることで、異なるサイズの原稿をセットしても適切な用紙を選択してステープルできます。給紙トレイには、使用するサイズの用紙をあらかじめセットしておいてください。
- 1 部の枚数がステープルできる枚数を超えると、ステープルしないで排紙します。
- 左 2 ヵ所、上 2 ヵ所、斜めと、片面集約の 2 枚ごと、8 枚ごと、両面集約の 4 枚ごと、16 枚ごとのいずれかを組み合わせるときは、▯の原稿は▭の用紙、▭の原稿は▯の用紙を選択してください。
- 左 2 ヵ所、上 2 ヵ所、斜めとダブルコピーを組み合わせるときは、▯の原稿は▭の用紙、▭の原稿は▯の用紙を選択してください。
- 左 2 ヵ所、上 2 ヵ所、斜めを選択したときは、次の設定をすると適切な仕上がりになるよう画像を回転します。

- [用紙指定変倍] または [自動用紙選択]
- [基本コピー設定] の [リミットレス給紙] を [回転可能で動作] に設定
- 上 1 ヵ所または下 1 ヵ所を選択したとき、原稿のセット方向と同じ方向の用紙がない場合は、画像を回転し、同じサイズで方向の異なる用紙が選択されます。ただし、回転される最大画像サイズは A4 までです。
- ステープルの設定によっては回転コピーしないことがあります。
- 画像が回転されるとステープルの向きが 90 度変わります。
- ステープルを使用すると、印刷速度が遅くなることがあります。
- 中とじを選択したときは、週刊誌を指定してください。重ねて中とじステープルし、自動的に中央で折ってから排出します。週刊誌については、P.121「製本」を参照してください。
- コピー枚数が収容枚数を超えるとコピーが止まります。このときはいったん用紙を取り除いてコピーを再開してください。
- ステープルできる用紙のサイズ、方向、紙厚、ステープルできる枚数、ステープル後にフィニッシャートレイに収容できる部数については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。
- [周辺設定] の [ステープル種類選択] で、コピー初期画面に優先的に表示されるステープル位置の種類を変更できます。詳しくは、P.196「周辺設定」を参照してください。

パンチ

コピーにパンチ穴を開けます。

重要

- **手差しコピーはできません。**
- **パンチと Z 折りは同時に使用できません。**

原稿のセット方向とパンチ穴の位置

原稿は持ったとき文字が読める状態（方向）のまま自動原稿送り装置（ADF）にセットします。原稿ガラスにセットするときは方向を変更しないで裏返します。

原稿と同じサイズ、方向の用紙がセットされているときは、次の表のように原稿をセットしてパンチします。選択できるパンチ位置は、［仕上げ］を押して表示される画面で確認できます。

	原稿ガラスにセット	自動原稿送り装置（ADF）にセット	パンチ位置*1
左 2 ヵ所			R *2 R
上 2 ヵ所			R *3 R *2 *3

*1 このイラストはパンチ穴の位置を表しています。原稿の向きは排紙方向を示したものではありません。

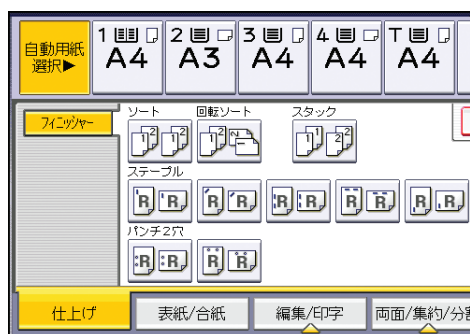
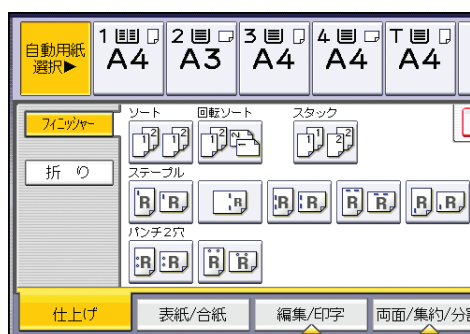
*2 B4 サイズ以上の用紙ではこの位置にパンチできません。

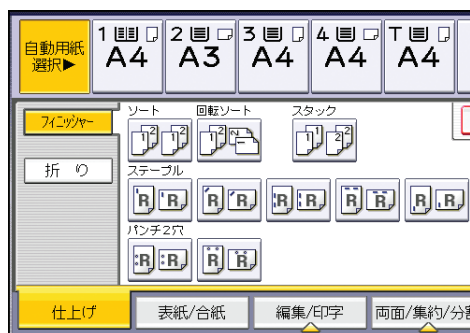
*3 この位置にパンチするときは、原稿方向で読めない方向を選択してからパンチ位置を設定します。

1. ［仕上げ］を押します。

2. ［フィニッシャー］を押します。

3. パンチの位置を選択します。

フィニッシャー SR4060 装着時

フィニッシャー SR4070 装着時

フィニッシャー SR4080 装着時

4. [OK］を押します。

5. テンキーでコピーする部数を入力します。

6. 原稿をセットし、[スタート］キーを押します。

補足

- コピー 1 枚ごとにパンチ穴を開けるため、パンチ穴の位置に多少のばらつきが生じます。
- パンチできる用紙のサイズ、方向、紙厚については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。

- ［周辺設定］の［パンチ種類選択］で、コピー初期画面に優先的に表示されるパンチ位置の種類を変更できます。詳しくは、P.196「周辺設定」を参照してください。

折り

コピーした用紙をさまざまな形状に折ることができます。本機では、Z 折り、二つ折り、外三つ折り、内三つ折り、四つ折り、観音折りを指定できます。

重要

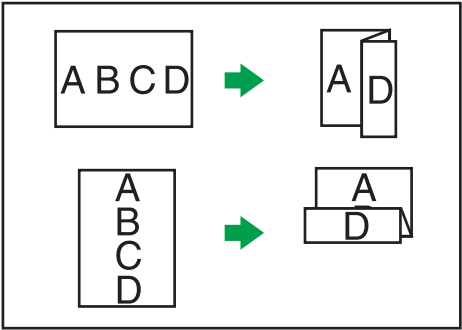
- **手差しコピーはできません。**

補足

- 次の紙種の用紙は折りを指定できません。
    - 紙折りユニット
        - レターヘッド紙
        - OHP フィルム
        - インデックス紙
        - トレーシングペーパー（第二原図用紙）
        - ラベル紙（ハクリ紙）
        - 厚紙
    - Z 折りユニット
        - OHP フィルム
        - インデックス紙
        - トレーシングペーパー（第二原図用紙）
        - ラベル紙（ハクリ紙）
        - 厚紙
- インサーターから給紙した紙には、折りを指定できません。
- コピー枚数が折り機トレイの収容枚数を超えるとコピーが止まります。このときはいったん用紙を取り除いてコピーを再開してください。
- 用紙や環境によっては折りを行うと、まれに画像面が擦れてトナーが付着し、汚れが付くことがあります。
- 用紙の折り目部分にかかる画像や印字部分が割れて、きれいに仕上がらないことがあります。また、紙種によっては、折り目部分の表面がわずかにはがれることがあります。このため、大量の印刷を行うときは、事前に 1 部を印刷して仕上がりを確認してください。
- 用紙の状態や折りの設定によって、折り機トレイの収容枚数は異なります。

- 折りができる用紙サイズ、方向、紙厚については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。
- ［基本設定］で折り返しの位置を調節できます。折り返しの位置調整については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

Z 折り

コピーを半分のサイズに Z 折りして排出します。

Z 折りをするときは、Z 折り補助台をセットしてください。Z 折り補助台のセット方法は、『こまったときには』「排紙が収納可能枚数に満たないとき」を参照してください。

重要

- **パンチと Z 折りは同時に使用できません。**

原稿のセット方向と Z 折り位置

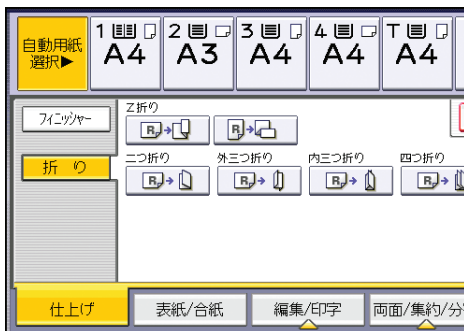
原稿は持ったとき文字が読める状態（方向）のまま自動原稿送り装置（ADF）にセットします。原稿ガラスにセットするときは方向を変更しないで裏返します。

	原稿セット方向	原稿ガラスにセット	自動原稿送り装置（ADF）にセット	Z 折り位置*1
右折り			ABCD	A D
下折り			ABCD	A D

*1 Z 折り位置のイラストは Z 折りの位置を表しています。用紙の向きは排紙方向を示したものではありません。

1. ［仕上げ］を押します。

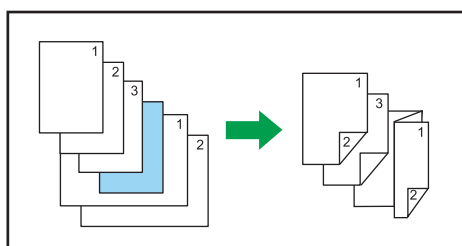
2. ［折り］を押します。

3. Z 折りの種類を選択し、［OK］を押します。

4. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

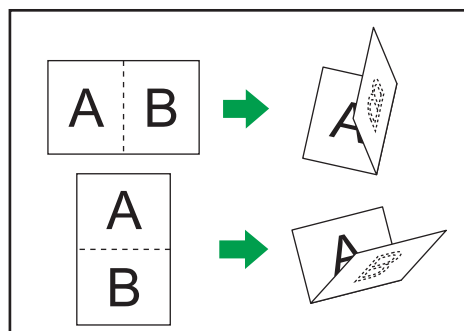
- 複数の用紙を一度に紙折りユニットの折り機トレイから取り出すと、折り部分が重なることがありますが、ページ順や折り位置のずれはありません。用紙の重なった部分は、排紙の順番を崩さずに手で直してください。また、折り部分が重ならないように排紙するには、排紙先トレイをフィニッシャーの上トレイまたはシフトトレイに変更してください。
- Z 折り補助台をセットしたままフィニッシャーのシフトトレイまたは折り機トレイに Z 折りしていない用紙を排出すると、用紙がそろわないことがあります。
- Z 折りした用紙をステープルできます。ステープルできる枚数、用紙サイズについては、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。
- サイズ混載機能と自動用紙選択を組み合わせて使うと、異なるサイズの原稿をセットしても適切な用紙を選択して Z 折りします。
- Z 折りとサイズ混載を組み合わせると、大きいサイズの用紙を小さいサイズに合わせて折ることができます。組み合わせできるサイズについては、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。

CNP012

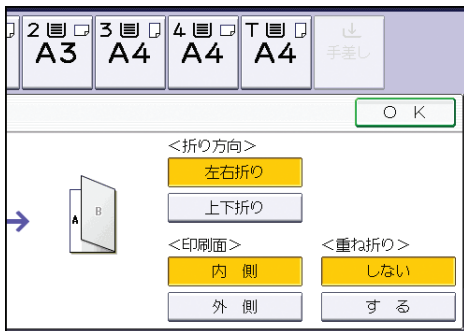
- 片面→両面機能、サイズ混載機能、Z 折り機能の 3 つを組み合わせて使うときは、各サイズの原稿がそれぞれ偶数枚になるようにしてください。奇数枚のときは、白紙を挿入して枚数を調整してください。

CNP013

- Z 折りの設定によっては回転コピーしないことがあります。
- Z 折りしたあとにフィニッシャートレイに収容できる枚数については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。
- 用紙の状態によっては、収容枚数が少なくなることがあります。
- ［周辺設定］の［原稿ガラス使用時印刷排紙面設定］が［おもて面排紙］に設定されていても、裏面排紙されます。詳しくは、P.196「周辺設定」を参照してください。

二つ折り

コピーを二つ折りにします。

CNP014

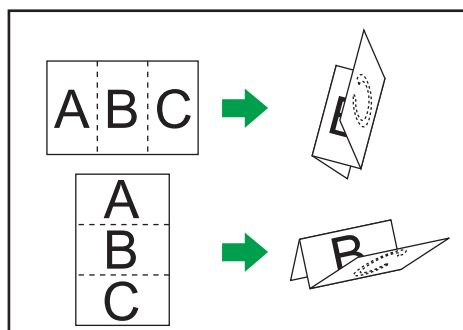
1. [仕上げ] を押します。

2. [折り] を押します。
3. [二つ折り] を押します。
4. [変更] を押します。
5. 折り方向、印刷面、重ね折りを選択します。

6. [OK] を 2 回押します。
7. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

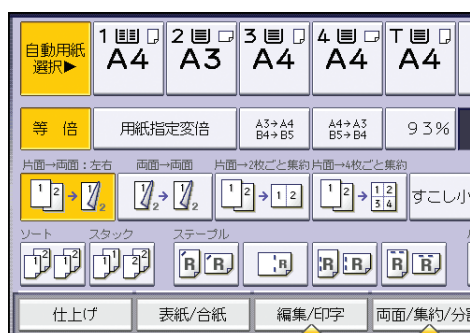
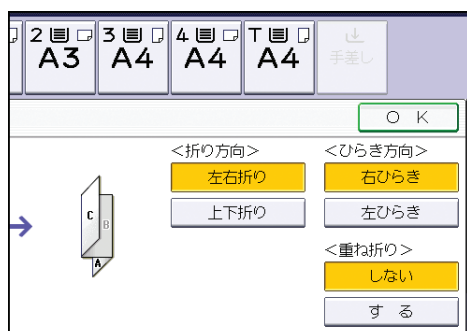
補足

- 二つ折りは、折り機トレイに排出されます。
- 次の機能は使用できません。
    - パンチ
    - ステープル
- 重ね折りは最大 3 枚まで設定できます。
- 重ね折りで [する] を選択したときは、自動的にソートも選択されます。
- 重ね折りで [する] を選択したときは、サイズ混載機能は使用できません。
- ミニ本または週刊誌機能で面付けを設定しているときは、ミニ本、週刊誌の設定が優先されます。

外三つ折り

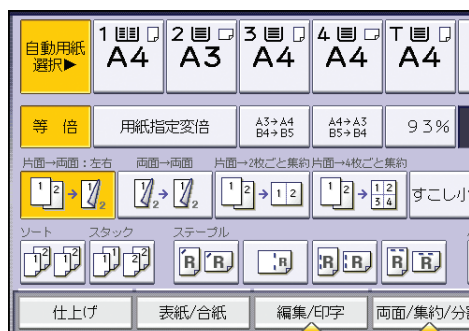
コピーを片面は内側に、片面は外側に向いた三つ折りにします。

CNP015

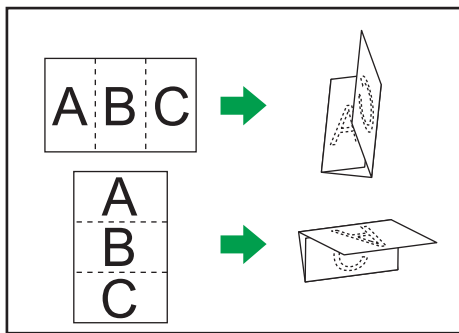
外三つ折りで重ね折りをするときは、紙折りユニット用Z折り補助台をセットしてください。セット方法は、『こまったときには』「排紙が収納可能枚数に満たないとき」を参照してください。

1. [仕上げ] を押します。

2. [折り] を押します。
3. [外三つ折り] を押します。
4. [変更] を押します。
5. 折り方向、ひらき方向、重ね折りを選択します。

6. [OK]を2回押します。

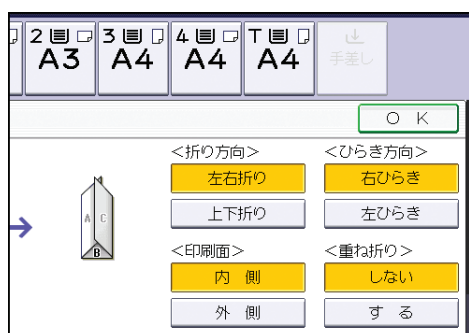
7. 原稿をセットし、[スタート]キーを押します。

補足

- 外三つ折りは、折り機トレイに排出されます。
- 次の機能は使用できません。
  - パンチ
  - ステープル
- 重ね折りは最大3枚まで設定できます。
- 重ね折りで[する]を選択したときは、自動的にソートも選択されます。
- 重ね折りで[する]を選択したときは、サイズ混載機能は使用できません。
- A3、B4、$8^{1}/_{2}$×14、11×17、8Kなど大判の用紙を、外三つ折りするとシワがよることがあります。可能なときは縮小機能と組み合わせて、A4またはそれ以下の用紙サイズを選択してください。
- ミニ本または週刊誌機能で面付けを設定しているときは、ミニ本、週刊誌の設定が優先されます。

内三つ折り

コピーを両面が内側に向いた三つ折りにします。

CNP016

1. ［仕上げ］を押します。

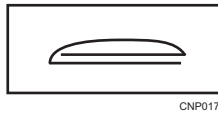
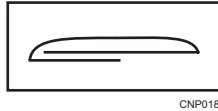
2. ［折り］を押します。
3. ［内三つ折り］を押します。
4. ［変更］を押します。
5. 折り方向、ひらき方向、印刷面、重ね折りを選択します。

6. ［OK］を 2 回押します。
7. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

- 内三つ折りは、折り機トレイに排出されます。
- 次の機能は使用できません。
    - パンチ
    - ステープル
- 重ね折りは最大 3 枚まで設定できます。
- 重ね折りで［する］を選択したときは、自動的にソートも選択されます。
- 重ね折りで［する］を選択したときは、サイズ混載機能は使用できません。
- 内三つ折り機能で B5の用紙の重ね折りを指定したとき、重ね折りを指定しないときとで仕上がりサイズが異なります。
    - 重ね折りを指定しないとき

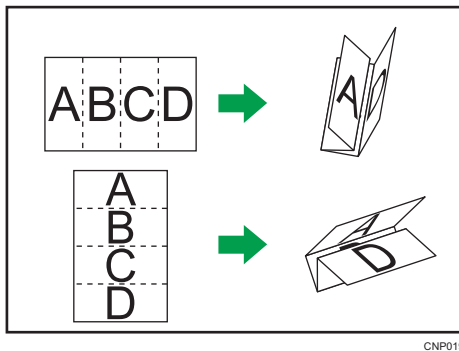
CNP017

- 重ね折りを指定したとき

CNP018

- A3▭、B4▭、$8\frac{1}{2}$×14▭、11×17▭、8K▭など大判の用紙を、内三つ折りするとシワがよることがあります。可能なときは縮小機能と組み合わせて、A4▭またはそれ以下の用紙サイズを選択してください。
- ミニ本または週刊誌機能で面付けを設定しているときは、ミニ本、週刊誌の設定が優先されます。

四つ折り

コピーを 2 回平行に折り込んだ四つ折りにします。

CNP019

1. ［仕上げ］を押します。

2. ［折り］を押します。
3. ［四つ折り］を押します。

4. [変更] を押します。

5. 折り方向、ひらき方向、印刷面を選択します。

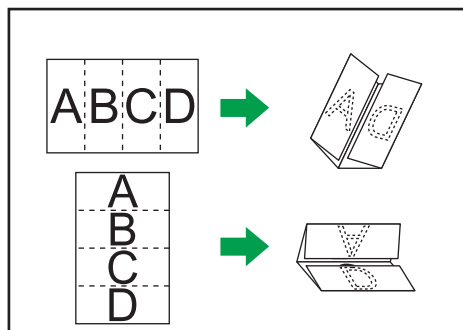
6. [OK] を 2 回押します。

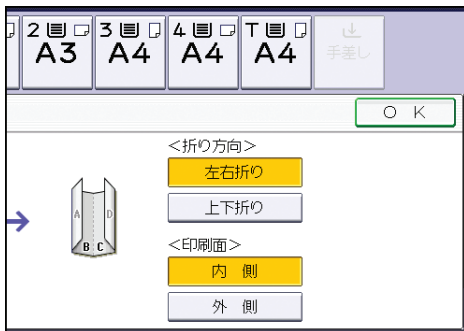
7. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

補足

- 四つ折りは、折り機トレイに排出されます。
- 次の機能は使用できません。
    - パンチ
    - ステープル
- ミニ本または週刊誌機能で面付けを設定しているときは、ミニ本、週刊誌の設定が優先されます。

観音折り

コピーを両端の面を内側に折り込んだ四つ折りにします。

1. ［仕上げ］を押します。

2. ［折り］を押します。
3. ［観音折り］を押します。
4. ［変更］を押します。
5. 折り方向と印刷面を選択します。

6. ［OK］を 2 回押します。
7. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

- 観音折りは、折り機トレイに排出されます。
- 以下の機能は使用できません。
    - パンチ
    - ステープル
- A3□、B4□、8$^{1}/_{2}$×14□、11×17□、8K□など大判の用紙を、観音折りするとシワがよることがあります。可能なときは縮小機能と組み合わせて、A4□またはそれ以下の用紙サイズを選択してください。
- ミニ本または週刊誌機能で面付けを設定しているときは、ミニ本、週刊誌の設定が優先されます。

ドキュメントボックスに原稿を蓄積する

コピー機能で読み取った文書を本機のハードディスクに蓄積できます。

蓄積された文書は、ドキュメントボックス機能画面で確認できます。ドキュメントボックスの詳細については、P.150「文書を蓄積する」を参照してください。

2

1. ［文書蓄積］を押します。

2. 必要に応じてユーザー名、文書名、パスワードを設定します。
3. ［OK］を押します。
4. 原稿をセットします。
5. コピー機能を設定します。
6. ［スタート］キーを押します。

 コピーが出力され、ハードディスクに文書が蓄積されます。次の文書を蓄積するときは、コピーが終了してから操作します。

補足

- 読み取りを中断するときは［ストップ］キーを押します。表示された確認画面で［継続］を押すと読み取りが再開され、［コピー中止］を押すと読み取り済みの画像が消去されて自動原稿送り装置（ADF）の原稿は排出されます。［ジョブ一覧］を押すと、ジョブ一覧画面が表示されます。ジョブ一覧画面については、『便利な機能』「ジョブを管理する画面の種類」を参照してください。
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、すべての原稿の読み取りを終えたら［#］キーを押します。
- 蓄積された文書を呼び出して印刷するときは、P.158「蓄積した文書を印刷する」を参照してください。
- ユーザー名、文書名、パスワードの設定のしかたは、P.153「蓄積した文書の文書情報を変更する」を参照してください。

3. 便利なコピー機能

いろいろなコピー機能について説明します。

コピー濃度を調整する

コピー濃度調整には、次の 3 種類があります。

自動濃度

原稿の濃度を読み取り、自動的に適切な濃度に調整します。新聞や再生紙など地肌の濃い原稿の地肌が出ないようにコピーします。

濃度調整

原稿全体の濃度を 9 段階で調整します。

組み合わせ濃度調整

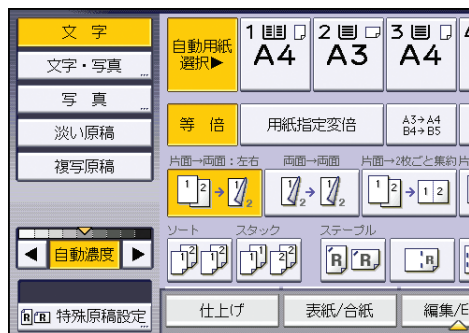
地肌が濃い原稿のとき、画像の濃度だけを調整します。

自動濃度を選択する

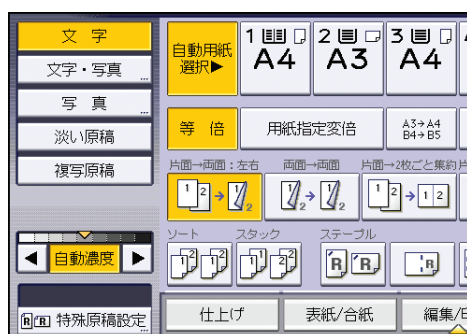
原稿の濃度を読み取り、自動的に適切な濃度に調整します。

新聞や再生紙など地肌の濃い原稿の地肌が出ないようにコピーします。

1. ［自動濃度］が選択されていることを確認します。

［自動濃度］が選択されていないときは［自動濃度］を押します。

濃度を調整する

原稿全体の濃度を 9 段階で調整します。

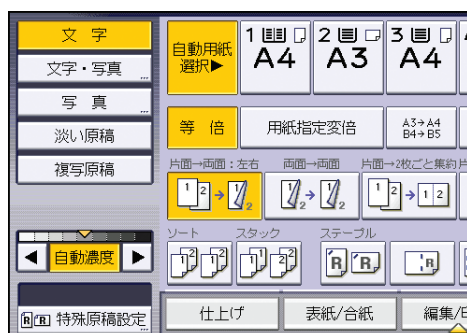
1. ［自動濃度］が選択されているときは［自動濃度］を押して、設定を取り消します。

2. ［◀］［▶］を押して、濃度を調整します。

濃度表示（▽）が移動します。

組み合わせて濃度を調整する

地肌が濃い原稿のとき、画像の濃度だけを調整します。

1. ［自動濃度］が選択されていることを確認します。

［自動濃度］が選択されていないときは［自動濃度］を押します。

2. ［◀］［▶］を押して、濃度を調整します。

濃度表示（▽）が移動します。

画質を調整する

原稿の種類や希望の仕上がり状態によって、画像の状態を調整できます。

画質調整には次の 4 種類があります。

シャープ／ソフト

画像の輪郭を調整します。

コントラスト

画像の陰影を調整します。

地肌調整

画像の地肌を調整します。

文字・写真判定調整

原稿の種類が［文字・写真］のときに、画像の文字部分と写真部分を識別する基準を調整します。

1.［編集/印字］を押します。

2.［画質調整］を押します。

3.［画質調整］を押します。

4. 各機能を調整します。

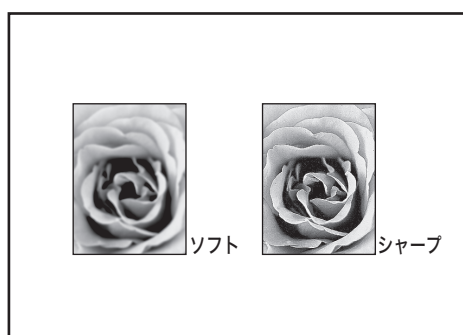
5.［OK］を 2 回押します。

補足

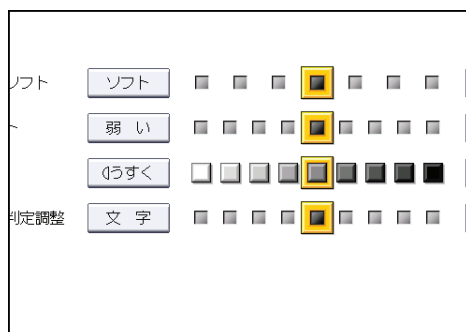
- 「シャープ／ソフト」「コントラスト」「地肌調整」はそれぞれに調整できますが、調整レベルや色合いなどによって、ほかの調整機能のレベルに影響することがあります。
- オートクリアされたとき、［リセット］キーを押したとき、電源を切ったときは、調整した内容は取り消され、初期設定値に戻ります。

3

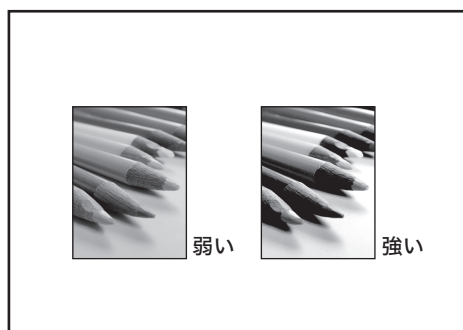
シャープ／ソフト

画像の輪郭を調整します。

1. ［ソフト］または［シャープ］を押して調整します。

2. ［OK］を押します。

補足

- 画質を調整する手順については、P.75「画質を調整する」を参照してください。

コントラスト

画像の陰影を調整します。

CKL002

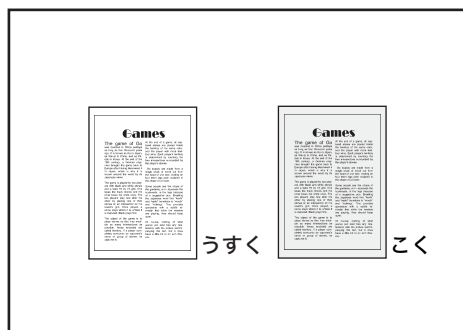
1. ［弱い］または［強い］を押して調整します。

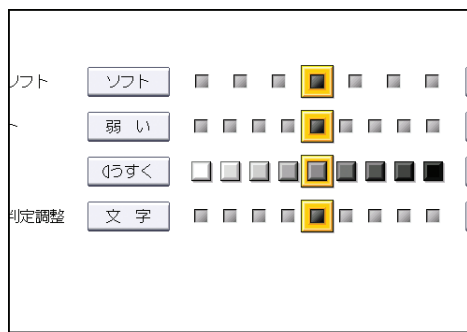
2. ［OK］を押します。

補足

- 画質を調整する手順については、P.75「画質を調整する」を参照してください。

地肌調整

画像の地肌の濃度を調整します。

CKL003

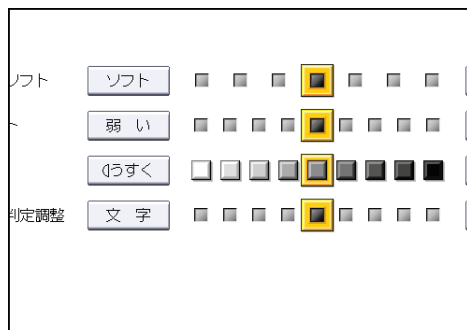
1. [うすく] または [こく] を押して調整します。

2. [OK] を押します。

補足

- 新聞紙や再生紙など地肌の濃い原稿をコピーするときは、薄めに調整します。
- 画質を調整する手順については、P.75「画質を調整する」を参照してください。

文字・写真判定調整

原稿の種類が [文字・写真] のときに、画像の文字部分と写真部分を識別する基準を調整します。

1. [文字] または [写真] を押して調整します。

2. [OK] を押します。

補足

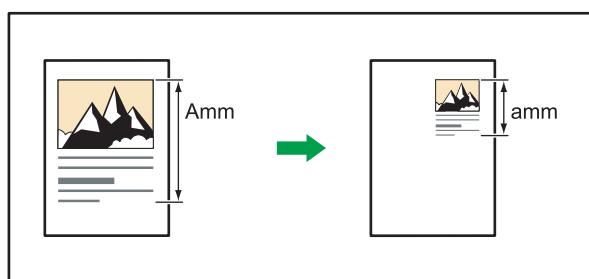
- 文字の部分がぼけているときや、くっきりと黒くなっていないときは [文字] よりに、濃度の変化が大きい写真をコピーすると輪郭が黒くなるときは [写真] よりに設定してください。
- 画質を調整する手順については、P.75「画質を調整する」を参照してください。

拡大・縮小コピーを活用する

原稿とコピーの画像の大きさを指定したり、タテとヨコで異なる倍率を指定して拡大・縮小コピーしたりできます。

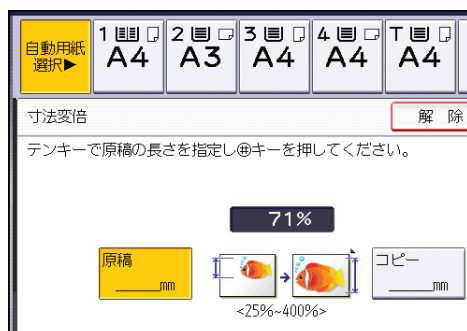
基本的な拡大・縮小コピーについては、P.33「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。

寸法変倍

原稿とコピーの画像の長さを指定し、拡大または縮小してコピーします。

原稿の長さ（Amm）とコピーの長さ（amm）を指定します。倍率が自動的に決められ、計算する手間を省略できます。

1. ［変倍］を押します。

2. ［寸法変倍］を押します。

3. テンキーで原稿の長さを入力し、［#］を押します。

4. テンキーでコピーの長さを入力し、［#］を押します。

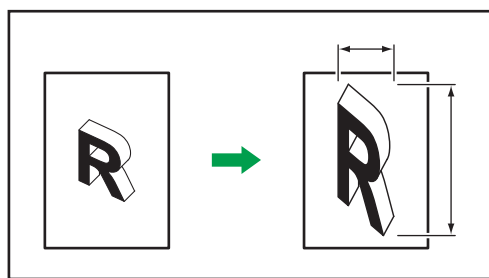
5. ［OK］を 2 回押します。

補足

- 入力できる長さは 1〜999mm（1mm 単位）です。
- 倍率の範囲は 25〜400％です。
- 計算された倍率が指定できる最小倍率以下または最大倍率以上のときはそれぞれ最小倍率または最大倍率に補正されます。このとき画像が欠けることや、余白ができることがあります。

独立変倍％

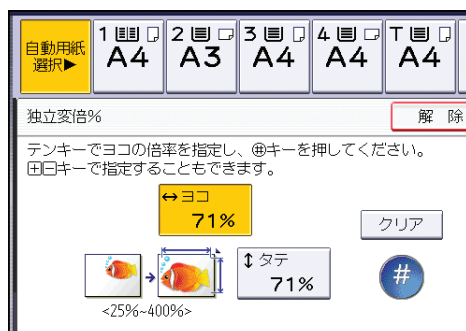
原稿のタテとヨコを、それぞれ異なる倍率でコピーします。

画像をタテ長またはヨコ長に変形できます。

↔：ヨコ

↕：タテ

倍率をテンキーで指定する方法と、［+］［−］で指定する方法があります。ここではテンキーで指定する方法を説明します。

1. [変倍] を押します。

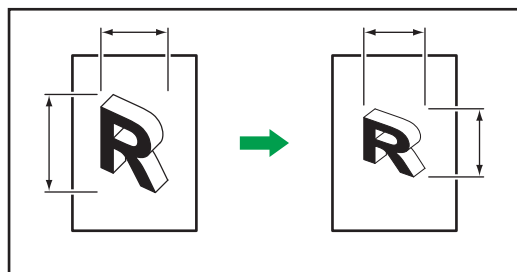
2. [独立変倍%] を押します。
3. [ヨコ] を押します。
4. テンキーで倍率を入力し、[#] を押します。

5. [タテ] を押します。
6. テンキーで倍率を入力し、[#] を押します。
7. [OK] を 2 回押します。

補足

- 倍率の範囲は 25～400%です。
- [+] [–] で指定するときは、[独立変倍%] を押したあと [[+] [–] キー] を押します。[タテ] または [ヨコ] を選択してから [+] または [–] を押すと、倍率が 1%ずつ変わります。押し続けると 10%ずつ変わります。
- 原稿や用紙サイズに関係なく倍率を指定できますが、設定や状態によっては画像が欠けることや、余白ができることがあります。

独立変倍 mm

原稿のタテとヨコが、それぞれ指定した長さになるようにコピーします。

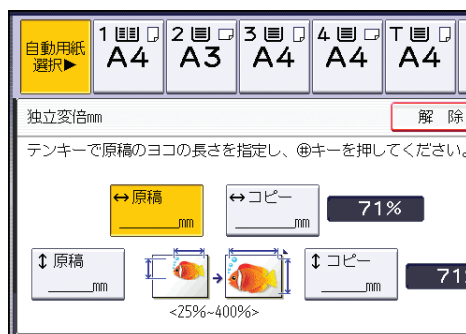
画像をタテ長またはヨコ長に変形できます。

↔：ヨコ

↕：タテ

原稿のヨコとコピーのヨコの長さ、原稿のタテとコピーのタテの長さをそれぞれ指定します。

1. [変倍］を押します。

2. [独立変倍 mm］を押します。

3. テンキーで原稿のヨコの長さを入力し、[#］を押します。

4. テンキーでコピーのヨコの長さを入力し、[#］を押します。

5. テンキーで原稿のタテの長さを入力し、[#］を押します。

6. テンキーでコピーのタテの長さを入力し、[#］を押します。

7. [OK] を 2 回押します。

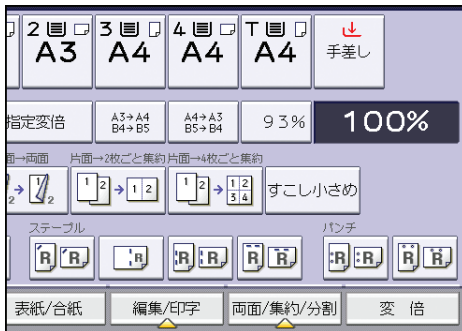
補足

- 倍率の範囲は 25～400%です。
- 原稿とコピーのヨコに入力できる長さは 1～9999mm（1mm 単位）です。原稿とコピーのタテに入力できる長さは 1～999mm（1mm 単位）です。
- 計算された倍率が指定できる最小倍率以下または最大倍率以上のときはそれぞれ最小倍率または最大倍率に補正されます。このとき画像が欠けることや、余白ができることがあります。

すこし小さめ

画像を 93%縮小し、用紙の中央にコピーします。

拡大または縮小と組み合わせると、設定した倍率をさらに 93%に縮小するため、余白を増やせます。

1. [すこし小さめ] を押します。

2. 必要に応じて、組み合わせる変倍率を選択します。

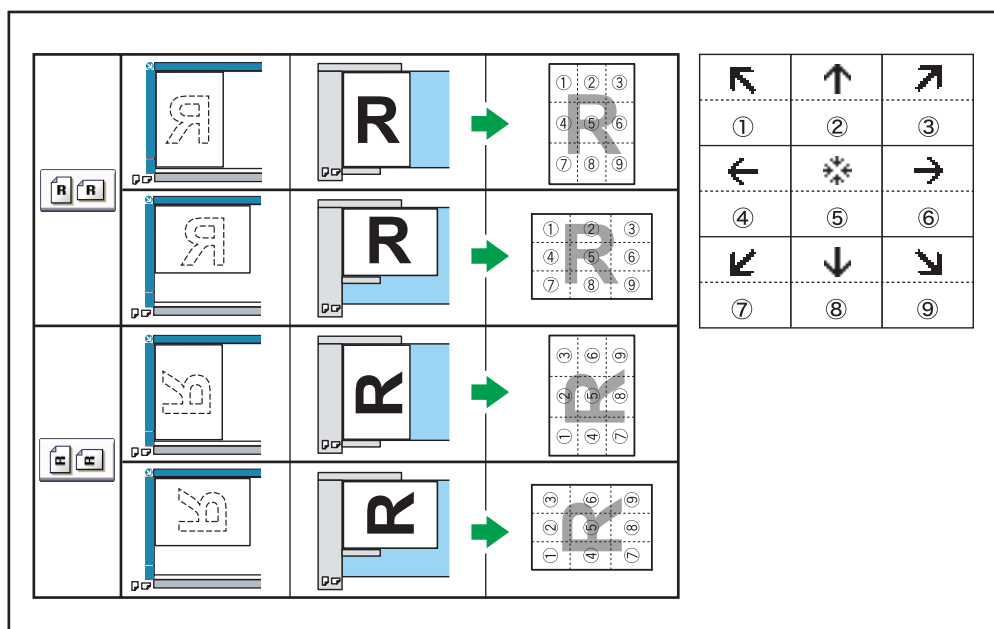
補足

- [変倍率設定] の [すこし小さめ変倍率設定] で、変倍率を変更できます。詳しくは、P.177「変倍率設定」を参照してください。

コピーに印字する

日付やページなどを付けてコピーします。

印字位置

日付やページを印字する位置を変更できます。印字する位置に対応したキーを選択します。

表の矢印は画面上のキーを、数字は印字する位置を表しています。

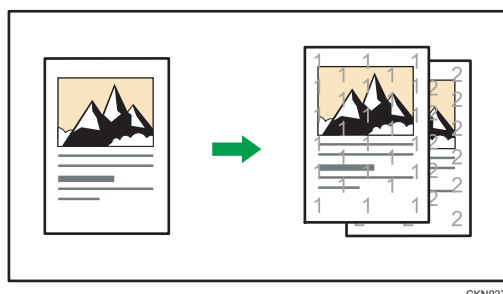
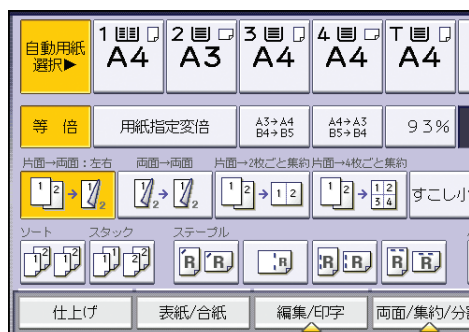
日付印字、ページ印字、文字印字では、4、5、6 の位置には印字できません。また、印字の種類によって工場出荷時の印字位置は異なります。詳しくは、P.184「印字編集設定」を参照してください。

補足

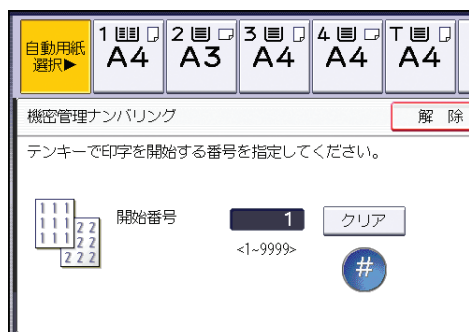
- 原稿を読めない向きにセットするときは、原稿のセット方向を指定してください。詳しくは、P.7「原稿のセット方向を指定する」を参照してください。

機密管理ナンバリング

原稿に数字の地紋を付けてコピーします。

ソートと組み合わせるとセットごとに同じ数字の地紋が付くため、文書を管理できます。

1. [編集/印字] を押します。

2. [印字] を押します。

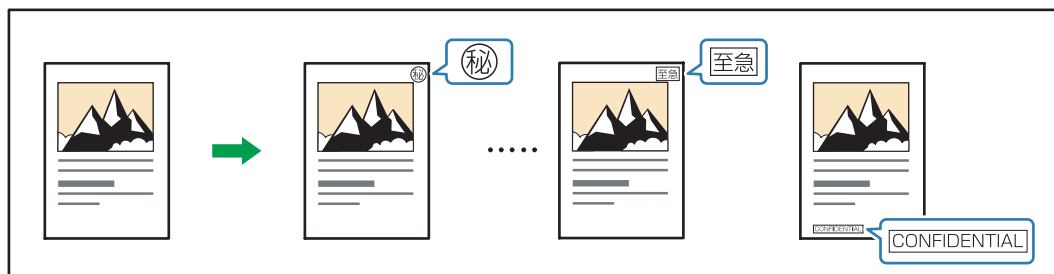
3. [機密管理ナンバリング] を押します。

4. テンキーで開始する番号を入力し、[#] を押します。

5. [OK] を 2 回押します。

- 原稿の画像と重なった部分に模様のような画像が現れることがあります。
- その他の補足事項については、P.84「コピーに印字する」を参照してください。
- [印字編集設定] の [機密管理印字] で、印字サイズや濃度などを設定できます。詳しくは、P.184「機密管理印字」を参照してください。

スタンプ印字

あらかじめ登録されている「マル秘」などのスタンプを付けてコピーします。

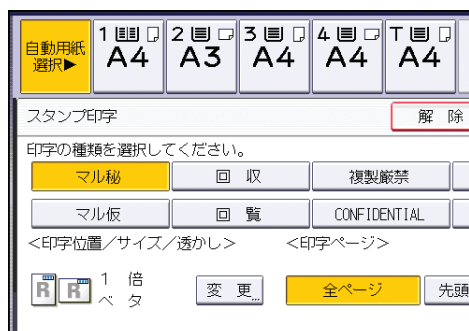
重要

- 手差しコピーはできません。
- スタンプは 1 度に 1 種類しか印字できません。

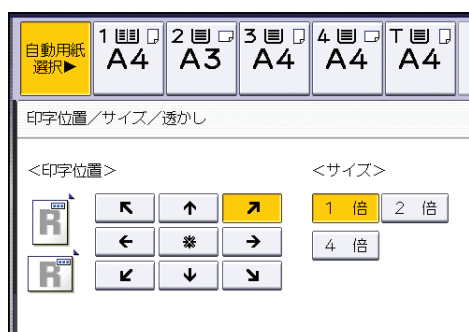
スタンプには次の 8 種類があります。

㊙ 回収 複製厳禁 至急
仮 回覧 CONFIDENTIAL DRAFT

1. [編集/印字] を押します。

2. [印字] を押します。
3. [スタンプ印字] を押します。

4. 印字の種類を選択します。

5. ［変更］を押します。

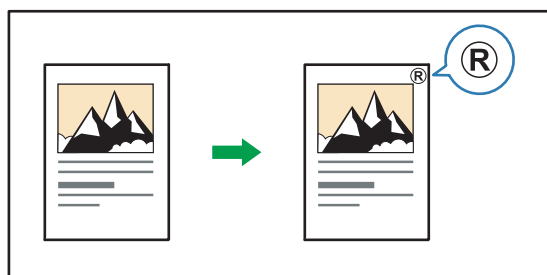
6. 印字する位置、サイズ、透かしの種類を選択し、［OK］を押します。

7. 印字するページを、［全ページ］または［先頭ページのみ］から選択します。

8. ［OK］を 2 回押します。

補足

- スタンプのサイズを変更したときは、用紙サイズによってはスタンプが正しく印字されないことがあります。
- 印字するスタンプの大きさや透かしの種類を変更できます。設定によっては、印字の濃さが変わることがあります。
- その他の補足事項については、P.84「コピーに印字する」を参照してください。
- ［印字編集設定］の［スタンプ印字］で、印字言語やスタンプの仕上がりなどを設定できます。詳しくは、P.184「スタンプ印字」を参照してください。

ユーザースタンプ印字

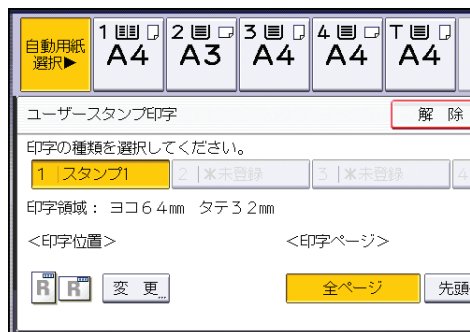
読み取った画像をスタンプとして付けてコピーします。

3

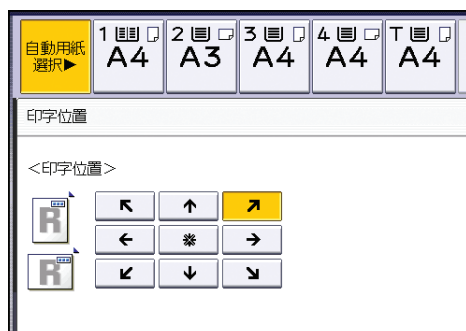
頻繁に使用する文字やマークをユーザースタンプとして登録できます。ユーザースタンプの登録方法は、P.89「ユーザースタンプを登録する」を参照してください。

重要

- 手差しコピーはできません。
- スタンプは 1 度に 1 種類しか印字できません。

1. [編集/印字] を押します。

2. [印字] を押します。
3. [ユーザースタンプ印字] を押します。
4. ユーザースタンプ印字の種類を選択します。

5. [変更] を押します。

6. 印字する位置を選択し、[OK]を押します。

7. 印字するページを、[全ページ]または[先頭ページのみ]から選択します。

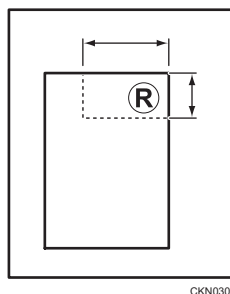
8. [OK]を 2 回押します。

補足

- 補足事項については、P.84「コピーに印字する」を参照してください。
- [印字編集設定]の[ユーザースタンプ]で、ユーザースタンプの登録や、スタンプの仕上がりを設定できます。詳しくは、P.187「ユーザースタンプ」を参照してください。

ユーザースタンプを登録する

ユーザースタンプとして使用する画像を登録します。原稿は原稿ガラスにセットします。

画像が読み取られる範囲はタテ 10〜297mm、ヨコ 10〜432mm です。ただし、タテ×ヨコの値が 5000mm^2 を超えると自動的に補正されます。

↔:ヨコ

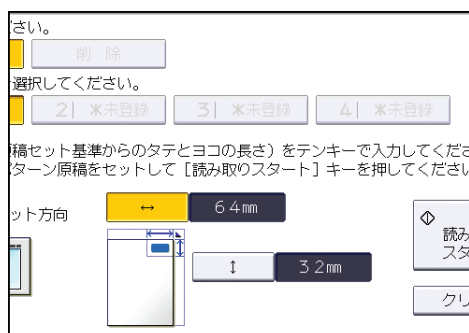
↕:タテ

ユーザースタンプは 4 種類まで登録できます。

3

1. [初期設定/カウンター] キーを押します。

CJR003

2. [コピー／ドキュメントボックス初期設定] を押します。
3. [印字編集設定] を押します。
4. [ユーザースタンプ] を押します。
5. [スタンプ登録/削除] を押します。
6. 登録するスタンプ番号を押します。
7. スタンプの名称を全角 5 文字、半角 10 文字以内で入力し、[OK] を押します。
8. テンキーでスタンプのヨコの長さを入力し、[#] を押します。

9. テンキーでスタンプのタテの長さを入力し、[#] を押します。
10. 登録するスタンプの原稿を原稿ガラスにセットし、[読み取りスタート] を押します。
11. [閉じる] を押します。
12. [終了] を押します。
13. [終了] を押します。

補足

- すでに登録されているユーザースタンプ番号を押したときは、上書きの確認画面が表示されます。上書きするときは［書き替える］を、登録しないときは［中止］を押します。
- 書き替えたユーザースタンプは元に戻すことはできません。
- ◇が表示されているユーザースタンプ番号は、すでにユーザースタンプが登録されています。登録されていないユーザースタンプ番号には「未登録」と表示されています。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」を参照してください。

ユーザースタンプを削除する

ユーザースタンプ用に登録した画像を削除します。

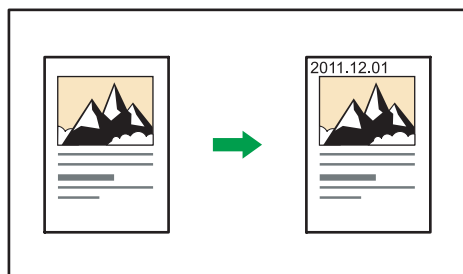
一度削除したスタンプは元に戻すことはできません。

1. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

CJR003

2. ［コピー／ドキュメントボックス初期設定］を押します。
3. ［印字編集設定］を押します。
4. ［ユーザースタンプ］を押します。
5. ［スタンプ登録/削除］を押します。
6. ［削除］を押し、削除するスタンプ番号を押します。
7. ［削除する］を選択し、［閉じる］を押します。
8. ［終了］を押します。
9. ［終了］を押します。

日付印字

日付を付けてコピーします。

CKN031

- 手差しコピーはできません。

日付印字の書式

印字のパターンには次の 7 種類があります。

- MM/DD/YYYY
- MM.DD.YYYY
- DD/MM/YYYY
- DD.MM.YYYY
- YYYY.MM.DD
- DD.JUN.YYYY
- YYYY 年 MM 月 DD 日

1. ［編集/印字］を押します。

2. ［印字］を押します。
3. ［日付印字］を押します。
4. ［書式の変更］を押します。

5. 日付の書式を選択し、[OK] を押します。

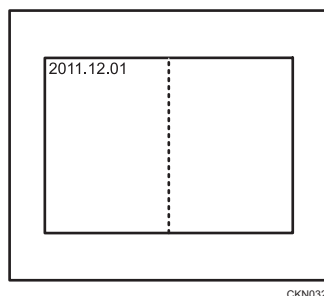
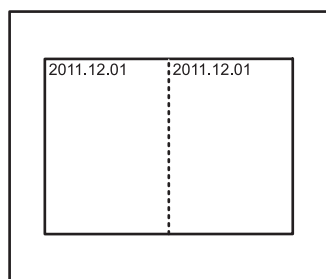
6. [変更] を押します。

7. 印字する位置を選択し、[OK] を押します。

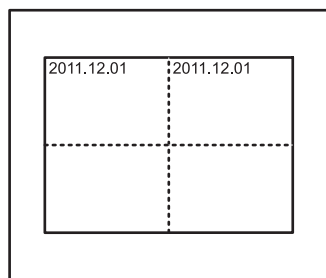
8. 印字するページを、[全ページ] または [先頭ページのみ] から選択します。

9. [OK] を 2 回押します。

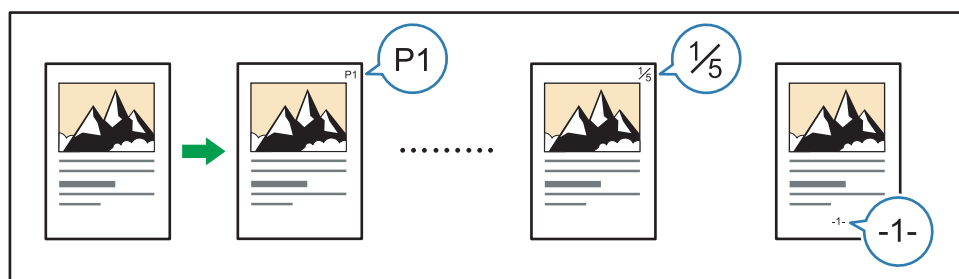
補足

- ミニ本などの製本や集約と組み合わせたときは、次のように印字されます。
  - 片面集約または両面集約と組み合わせたとき

  - ミニ本または週刊誌と組み合わせたとき

3

- ミニ本集約または週刊誌集約と組み合わせたとき

- その他の補足事項については、P.84「コピーに印字する」を参照してください。
- ［印字編集設定］の［日付印字］で、日付のフォントやサイズなどを設定できます。詳しくは、P.189「日付印字」を参照してください。

ページ印字

ページを付けてコピーします。

重要

- 手差しコピーはできません。

ページ印字の書式

ページ印字のパターンには次の 7 種類があります。

- P1, P2…

- 1/5, 2/5…
- -1-, -2-…
- P.1, P.2…
- 1, 2…
- 1-1, 1-2…
- 1 ページ, 2 ページ…

ページ印字で設定する項目

ページ印字では、次の項目を設定します。選択したページ印字の書式によって入力する項目は異なります。

- 印字開始ページ

  原稿の何ページ目からページ番号を印字するか入力します。

- 印字開始数字

  印刷開始ページに印字するページ番号を入力します。

- 終了数字

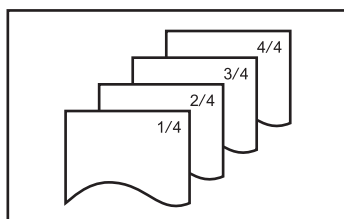
  印字を終了する番号を入力します。7 ページまで印字し 8 ページ以降は印字しないときは、[終了数字] に「7」と入力します。通常は変更する必要はありません。

- 総ページ数

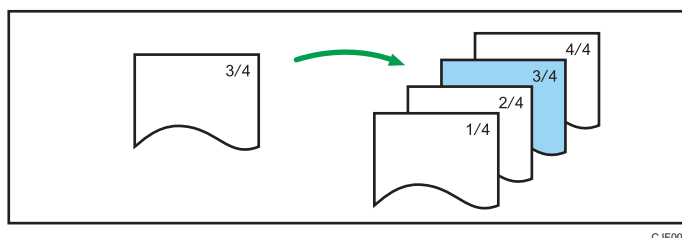
  総ページ数を入力します。ページ付けの種類で [1/5,2/5…] を選択したときに設定します。

- 印字開始章番号

  印字を開始する章番号を入力します。ページ付けの種類で [1-1,1-2…] を選択したときに設定します。

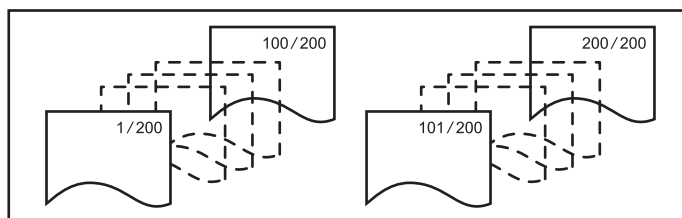
たとえば、ページ付けの種類で [1/5,2/5…] を選び、[印字開始数字] に「1」、[総ページ数] に「4」を設定すると、1/4、2/4、3/4、4/4 の順に印字されます。

次のようなときは、例を参考にそれぞれの数値を指定してください。

ナンバリング済みの文書の途中の 1 ページだけを差し替える

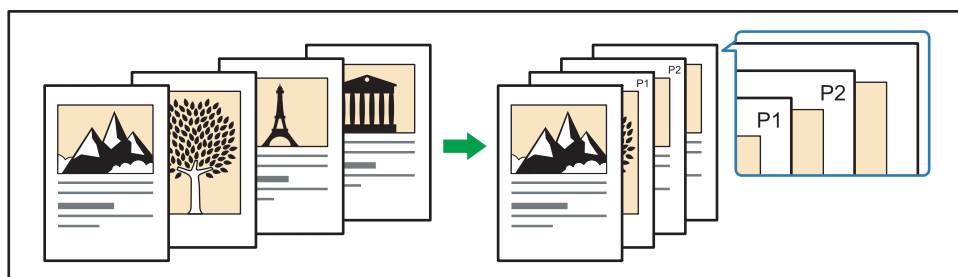
[印字開始数字] に「3」、[総ページ数] に「4」を入力してコピーします。

CJF008

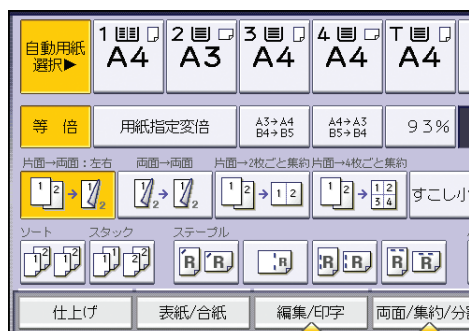
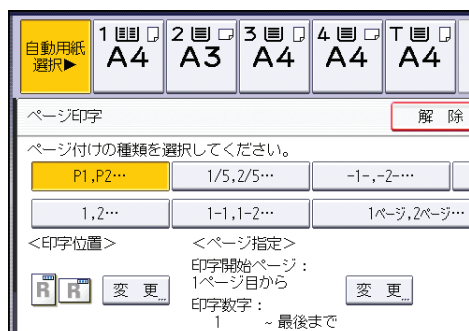
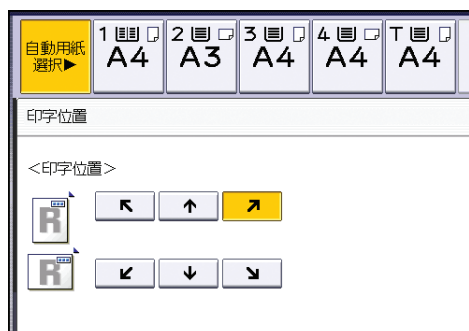
200 枚を 100 枚ずつ分けてコピーする

200 枚の原稿を 100 枚ずつ自動原稿送り装置（ADF）からコピーするとき、[1/5,2/5…] の書式に設定して一続きのページ数を印字するには、次のように設定します。

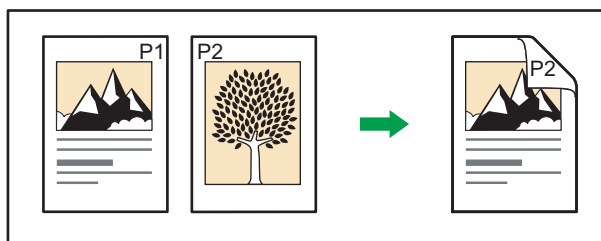
1. 1～100 枚目をセットし、[総ページ数] に「200」を入力してコピーします。
2. 101～200 枚目をセットし、[印字開始数字] に「101」、[総ページ数] に「200」を入力してコピーします。

CJF009

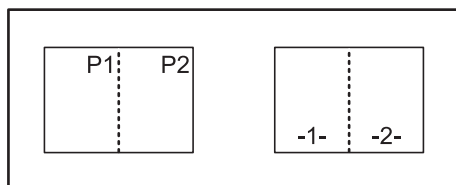
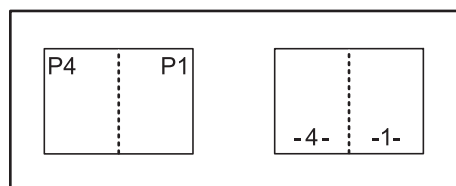
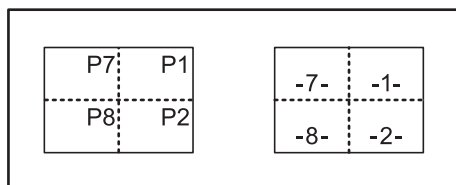
最初と最後のページを除いてナンバリングする（2 ページ目を 1 にする）

最初と最後のページに印字しないときは、[印字開始ページ] を「2」、[印字開始数字] を「1」に設定し、[終了数字] を原稿のページ数より 2 小さく設定してコピーします。

CKN039

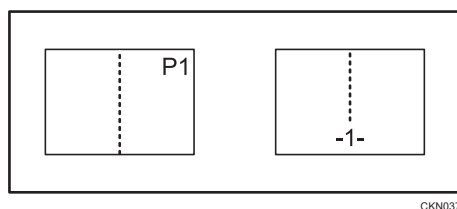
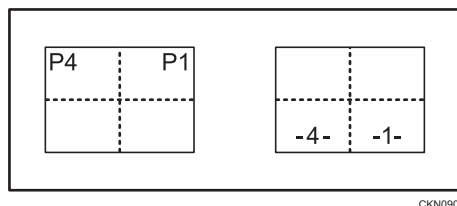
1. ［編集/印字］を押します。

2. ［印字］を押します。
3. ［ページ印字］を押します。
4. ページ付けの種類を選択します。

5. ＜印字位置＞の［変更］を押します。
6. 印字する位置を選択し、［OK］を押します。

7. ＜ページ指定＞の［変更］を押します。
8. 必要に応じて表示されている項目を設定し、［OK］を押します。
9. ［OK］を 2 回押します。

補足

- ［P1,P2…］または［1/5,2/5…］を両面コピー（左右ひらき）と組み合わせたときは、うら面ページは次のように反対側に印字されるよう設定されています。

- ミニ本などの製本や集約と組み合わせたときは、次のように印字されます。
    - 原稿ごとに印字するとき

      片面集約または両面集約と組み合わせたとき

ミニ本または週刊誌と組み合わせたとき

ミニ本集約または週刊誌集約と組み合わせたとき

- 印刷ページごとに印字するとき

  片面集約または両面集約と組み合わせたとき

ミニ本集約または週刊誌集約と組み合わせたとき

- その他の補足事項については、P.84「コピーに印字する」を参照してください。
- [印字編集設定] の [ページ印字] で、ページのフォントやサイズなどを設定できます。詳しくは、P.191「ページ印字」を参照してください。
- 両面コピーや集約コピーしたときのページの印字位置を設定できます。詳しくは、P.191「ページ印字」を参照してください。

文字印字

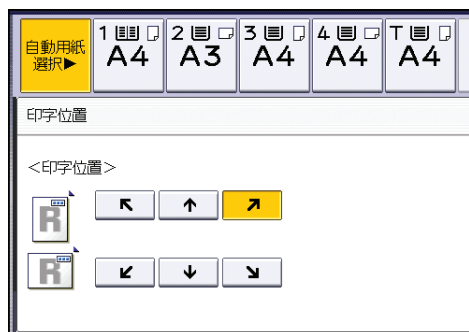
任意で入力した文字を印字できます。

重要

- 手差しコピーはできません。

3

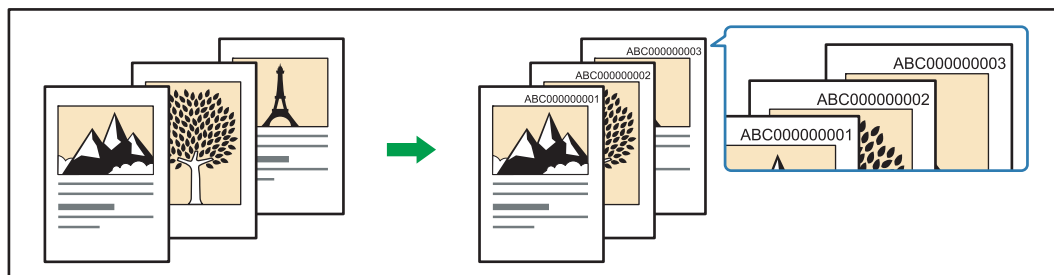
1. [編集/印字] を押します。

2. [印字] を押します。
3. [文字印字] を押します。
4. [印字文字変更] を押します。
5. 印字文字を入力し、[OK] を押します。
6. [変更] を押します。
7. 印字する位置を選択し、[OK] を押します。

8. 印字するページを、[全ページ] または [先頭ページのみ] から選択します。
9. [OK] を 2 回押します。

補足

- 半角英数で 64 文字まで入力できます。
- オートクリアされたとき、[リセット] キーを押したとき、電源を切ったときは、入力した文字は消去されます。入力した文字を保存するときはプログラム登録してください。プログラムについては、『便利な機能』「よく使用する設定を登録する」を参照してください。
- 印字する位置によっては、文字が入りきらないことがあります。
- その他の補足事項については、P.84「コピーに印字する」を参照してください。

- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」を参照してください。
- ［印字編集設定］の［文字印字］で、文字のフォントやサイズなどを設定できます。詳しくは、P.193「文字印字」を参照してください。

文字と連続した番号を印字する

あらかじめ、［文字印字］の［ジョブ通番印字の開始番号変更］を［する］に設定してください。詳しくは、P.193「文字印字」を参照してください。

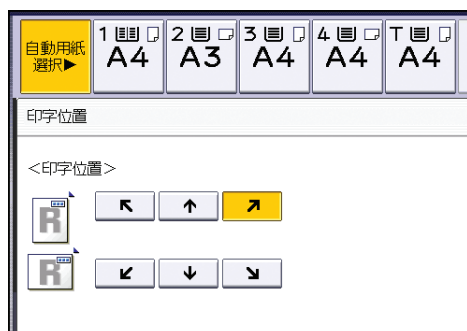
重要

- 手差しコピーはできません。

1. ［編集/印字］を押します。

2. ［印字］を押します。
3. ［文字印字］を押します。
4. ［印字文字変更］を押します。
5. 印字文字を入力し、［OK］を押します。
6. ［開始番号変更］を押します。
7. 印字を開始する数字を入力し、［#］を押します。
8. ［OK］を押します。

9. ［変更］を押します。

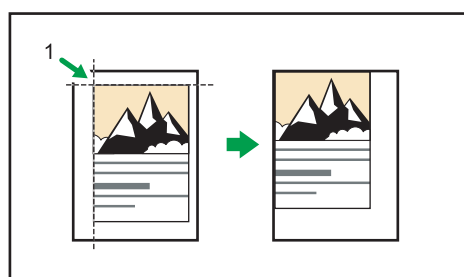
10. 印字する位置を選択し、［OK］を押します。

11. ［OK］を 2 回押します。

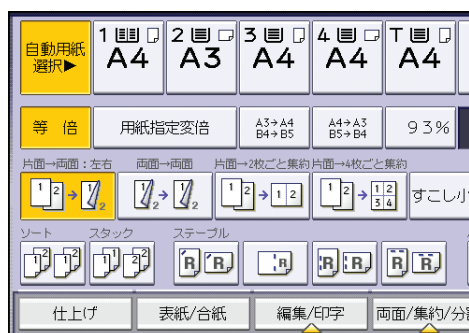
- 文字と数字を合わせて、半角英数で 64 文字まで入力できます。
- 数字は 9 けたで表示されます。「1」と入力したときは、「000000001」と印字されます。
- オートクリアされたとき、［リセット］キーを押したとき、電源を切ったときは、入力した文字は消去されますが、番号は最後に印字した番号の続きから表示されます。
- 予約コピー、割り込みコピー、または蓄積した文書の印刷はできません。
- 集約機能と組み合わせたときは、［ページ印字］の［集約時ページ印字設定］の設定によって印刷結果が異なります。詳しくは、P.94「ページ印字」を参照してください。
- 文字印字については、P.99「文字印字」を参照してください。

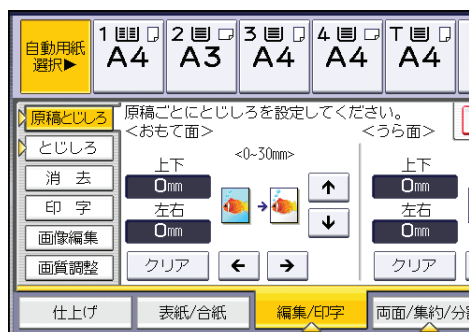
いろいろなコピー機能

いろいろなコピー機能について説明します。

原稿とじしろ

原稿の読み取り位置をずらしてコピーします。

1. 読み取り開始位置

1. [編集/印字] を押します。

2. [原稿とじしろ] を押します。

3. おもて面の読み取り位置を設定します。

4. うら面の読み取り位置を設定します。

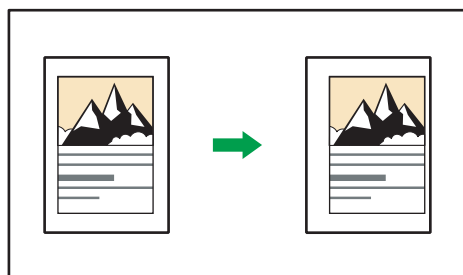
うら面の読み取り位置は、両面原稿を設定したときに有効です。

うら面の読み取り位置を設定しないときは、手順 5 に進みます。

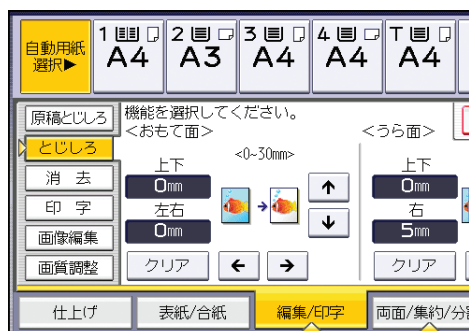
5. [OK] を押します。

- 読み取り位置は上下左右 0〜30mm の範囲内（1mm 単位）で指定できます。
- 上下の読み取り位置を設定するときは［↑］［↓］、左右の読み取り位置を設定するときは［←］［→］を押します。
- 片面原稿を両面コピーするとき、原稿の奇数ページではおもて面の読み取り位置の設定、偶数ページではうら面の読み取り位置の設定が有効になります。

とじしろ

用紙に余白を付けてコピーします。

1. [編集/印字] を押します。

2. [とじしろ] が選択されていることを確認します。

3. おもて面のとじしろを設定します。

4. うら面のとじしろを設定します。

うら面のとじしろは、両面コピーまたは両面集約を設定したときに有効です。

うら面のとじしろを設定しないときは、手順 5 に進みます。

5. [OK] を押します。

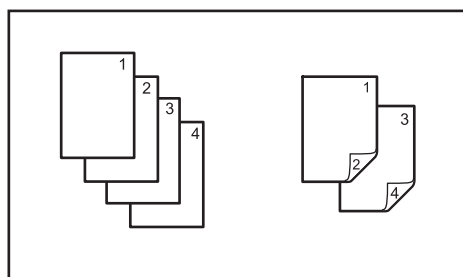
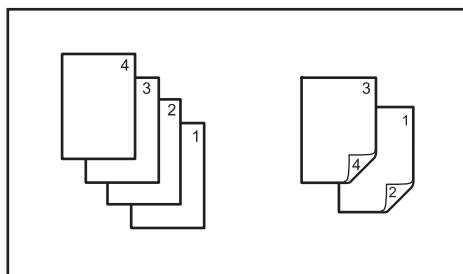
補足

- とじしろは 0〜30mm の範囲内（1mm 単位）で指定できます。
- 上下のとじしろを設定するときは［↑］［↓］、左右のとじしろを設定するときは［←］［→］を押します。
- 設定したとじしろ幅が大きすぎると画像が欠けてコピーされることがあります。
- 集約コピーのときは、集約処理後の面にとじしろを入れてコピーされます。
- ［基本編集設定］で、おもて面とうら面のとじしろの設定を変更できます。詳しくは、P.179「基本編集設定」を参照してください。

反転排紙

通常の排紙順と逆の順番にコピーを排紙します。

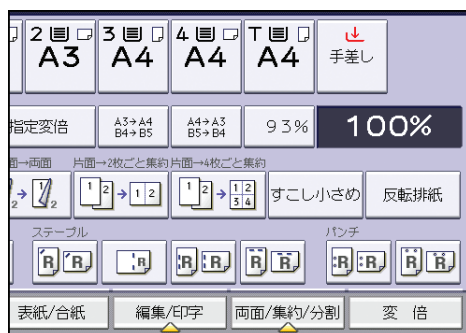
原稿と同順（下向きに排紙）

3

原稿と逆順（上向きに排紙）

CNP023

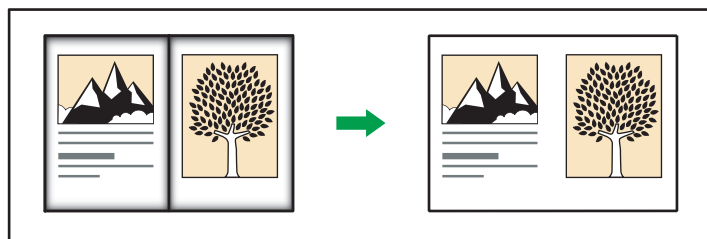
あらかじめ、［基本コピー設定］の［登録機能：コピー］で［反転排紙］を登録してください。詳しくは、P.171「基本コピー設定」を参照してください。

1. ［反転排紙］を押します。

2. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

- 反転排紙できる紙厚は、52〜169g/m^2（45〜145kg）です。
- インデックス紙は、紙厚にかかわらず原稿と同順（下向きに排紙）に排紙されます。

センター／枠消去

原稿の中央や周囲にできる影を消してコピーします。

CKN041

消去には、次の3種類があります。

枠消去

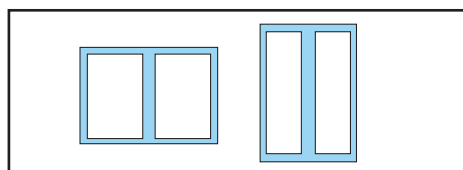
原稿周囲の影を消してコピーします。

センター消去

原稿中央の影を消してコピーします。

センター・枠消去

原稿の中央と周囲の影を消してコピーします。

原稿の向きにかかわらず、原稿の枠部分と中央部分が消去されます。

消去幅を 2～99mm の範囲で変更できます。

補足

- うら面の消去の設定をするときは、［おもてうら個別］を押して設定します。うら面の消去は、両面原稿をセットしたときに有効です。
- 変倍率によって消去幅は変わります。
- ［基本編集設定］の［センター消去幅］や［枠消去幅設定］で、設定を変更できます。詳しくは、P.179「基本編集設定」を参照してください。

枠消去

原稿周囲の影を消してコピーします。

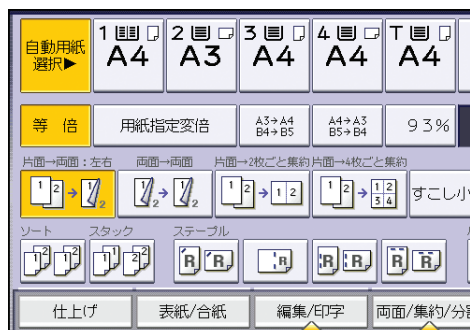
枠消去には 2 種類の設定方法があります。

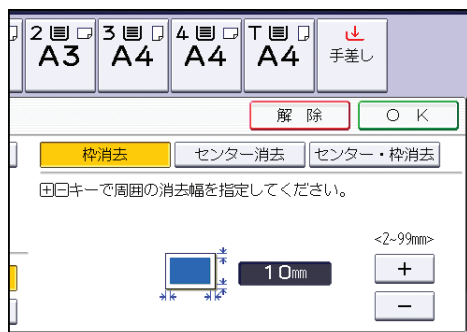
同一幅

上下左右の枠を同じ幅で消去します。

個別に設定

上下左右の枠を異なる幅で消去します。

1. ［編集/印字］を押します。

2. ［消去］を押します。
3. ［センター／枠消去］を押します。
4. ［枠消去］を押します。
5. ［同一幅］または［個別に設定］を選択します。
6. ［+］［−］で枠の消去幅を設定します。

［同一幅］を選択したとき

［個別に設定］を選択したとき

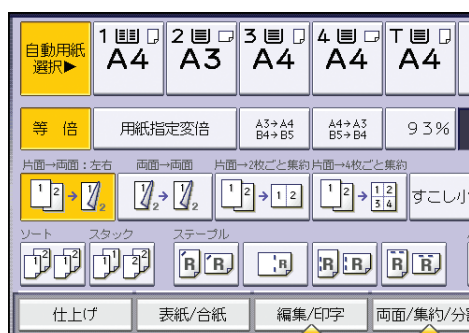
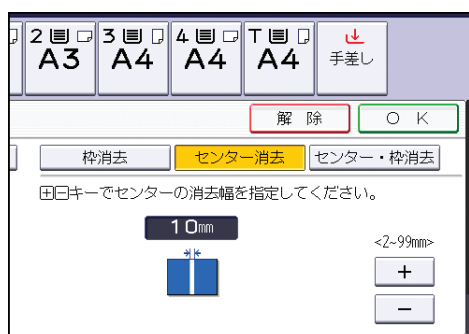
変更する部分のキーを押してから数値を設定します。

7. ［OK］を 2 回押します。

- [+] または [−] を押すと 1mm ずつ幅が変わります。押し続けると 10mm ずつ変わります。

センター消去

原稿中央の影を消してコピーします。

1. [編集/印字] を押します。

2. [消去] を押します。
3. [センター／枠消去] を押します。
4. [センター消去] を押します。
5. [+] [−] でセンターの消去幅を設定します。

[+] または [−] を押すと 1mm ずつ幅が変わります。押し続けると 10mm ずつ変わります。

6. [OK] を 2 回押します。

センター・枠消去

原稿の中央と周囲の影を消してコピーします。

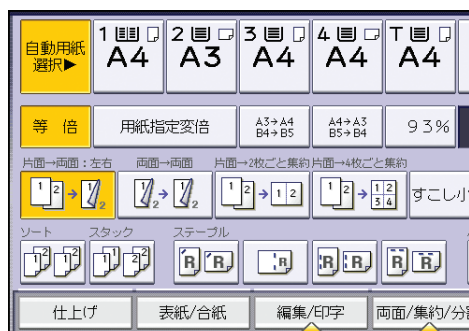
センター・枠消去には 2 種類の設定方法があります。

同一幅

上下左右の枠を同じ幅で消去します。原稿の中央は枠とは異なる幅で消去できます。

個別に設定

上下左右の枠と原稿の中央を異なる幅で消去します。

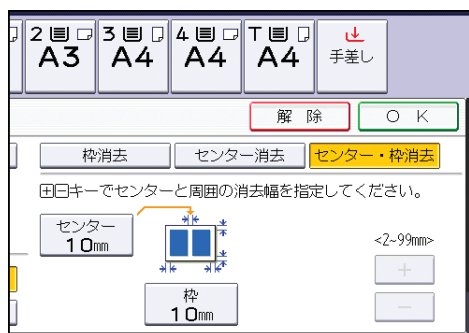
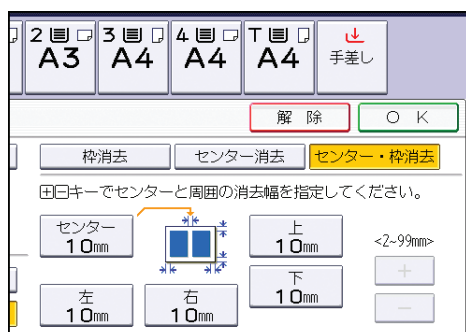
1. ［編集/印字］を押します。

2. ［消去］を押します。

3. ［センター／枠消去］を押します。

4. ［センター・枠消去］を押します。

5. ［同一幅］または［個別に設定］を選択します。

6. 変更する部分のキーを押し、［+］［−］で消去幅を設定します。

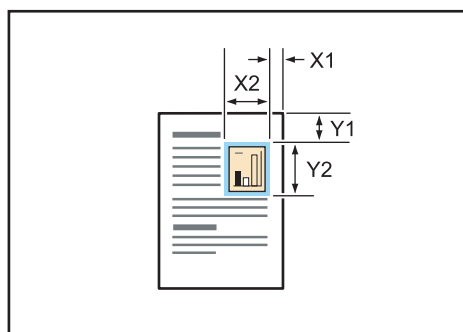
［同一幅］を選択したとき

［個別に設定］を選択したとき

7. ［OK］を2回押します。

- ［+］または［−］を押すと1mmずつ幅が変わります。押し続けると10mmずつ変わります。

内消去

指定した範囲の内側を消してコピーします。

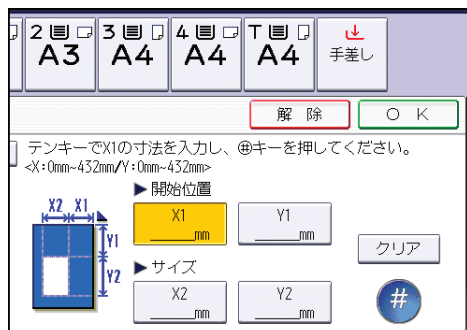
消去するエリアは、原稿を基準に指定します。

エリアは原稿の右上を基準とする2点を示す2組の座標（X1、Y1)、（X2、Y2）で表します。エリアを入力する前に、指定するエリアのサイズを測っておきます。

3

1. 指定する範囲の基点の位置（X1、Y1）と、サイズ（X2、Y2）を設定します。

   X：0〜432mm、Y：0〜432mm の範囲で設定できます。

2. ［編集/印字］を押します。

3. ［消去］を押します。
4. ［内消去 1］〜［内消去 5］を選択します。
5. テンキーで［X1］の長さを入力し、[#］を押します。

6. テンキーで［Y1］の長さを入力し、[#］を押します。
7. テンキーで［X2］の長さを入力し、[#］を押します。
8. テンキーで［Y2］の長さを入力し、[#］を押します。

   うら面の消去の設定をするときは、［おもてうら個別］を押して設定します。

うら面の消去は、両面原稿をセットしたときに有効です。

9.［OK］を押します。

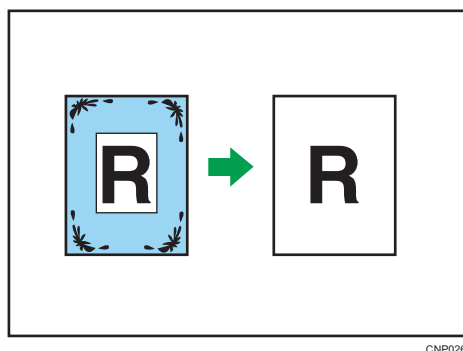
2 カ所以上消去するときは、手順 4～9 の操作を繰り返します。

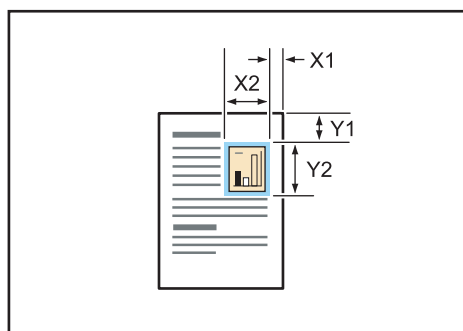
10.［OK］を押します。

- ［内消去 1］～［内消去 5］を組み合わせて、同時に 5 カ所消去できます。

外消去

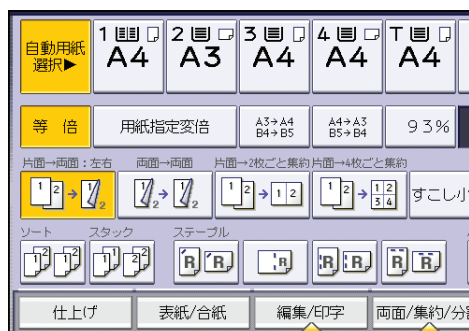
指定した範囲の外側を消してコピーします。

消去するエリアは、原稿を基準に指定します。

CNP026

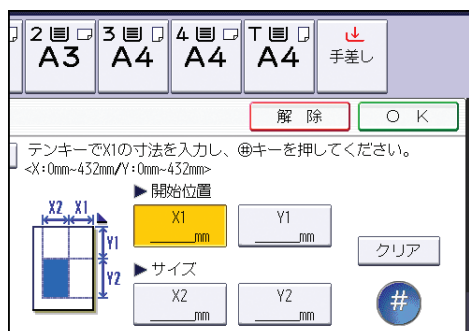
消去しないエリアは原稿の右上を基準とする 2 点を示す 2 組の座標（X1、Y1）、（X2、Y2）で表します。エリアを入力する前に、指定するエリアのサイズを測っておきます。

CNP024

1. 指定する範囲の基点の位置（X1、Y1）と、サイズ（X2、Y2）を設定します。

X：0～432mm、Y：0～432mm の範囲で設定できます。

2. [編集/印字] を押します。

3. [消去] を押します。

4. [外消去] を押します。

5. テンキーで [X1] の長さを入力し、[#] を押します。

6. テンキーで [Y1] の長さを入力し、[#] を押します。

7. テンキーで [X2] の長さを入力し、[#] を押します。

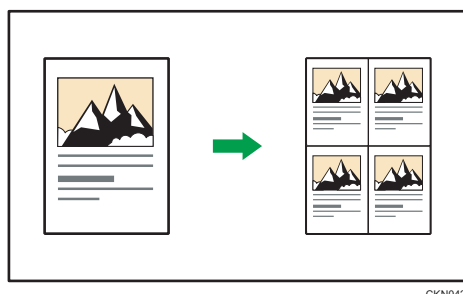
8. テンキーで [Y2] の長さを入力し、[#] を押します。

   うら面の消去の設定をするときは、[おもてうら個別] を押して設定します。

   うら面の消去は、両面原稿をセットしたときに有効です。

9. [OK] を 2 回押します。

リピート

画像を 1 枚の用紙に繰り返してコピーします。

CKN042

1 枚の用紙にリピートできる個数は、原稿サイズ、用紙サイズ、変倍率によって自動的に決まります。たとえば、原稿、用紙の方向とリピート数は次のとおりです。

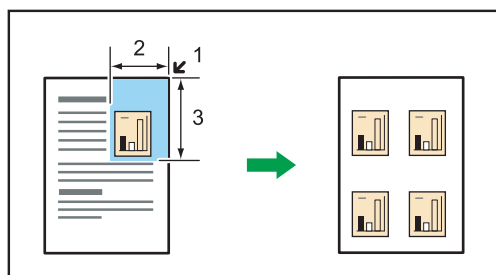
原稿サイズ→用紙サイズ	リピート数 4（71%）	リピート数 16（35%）
A5▯→A4▯ A5▭→A4▭		

原稿サイズ→用紙サイズ	リピート数 2（100%）	リピート数 8（50%）	リピート数 32（25%）
A5▯→A4▭ A5▭→A4▯			

1. [編集/印字］を押します。

2. [画像編集］を押します。
3. [リピート］を押します。
4. [OK］を押します。
5. 変倍率と用紙を選択します。

補足

- 用紙サイズ、変倍率、用紙の方向によって、リピートした画像が欠けることがあります。
- 仕切り線の種類を［基本編集設定］の［リピート仕切り線］で変更できます。詳しくは、P.179「基本編集設定」を参照してください。
- 原稿の一部分だけを繰り返しコピーできます。基点からのタテとヨコの長さを測り、［特殊原稿設定］の［不定形サイズ］に入力してください。このとき、原稿は原稿ガラスに置いてください。

1. 基点
2. ヨコ
3. タテ

ダブルコピー

1 枚の原稿を用紙の上下または左右に 2 つコピーします。

重要

- 手差しコピーはできません。
- 次のサイズの原稿は、原稿ガラスではサイズが読み取れません。手動で用紙を選択するか自動原稿送り装置（ADF）にセットしてください。
    - A5▭、B6▯▭、11×17▭、8 $^1/_2$×11▯▭

原稿と用紙サイズの組み合わせは次のとおりです。（等倍のとき）

原稿サイズ、方向	用紙サイズ、方向
A5	A4
B6	B5
A4	A3
A5	A4
B5	B4
B6	B5

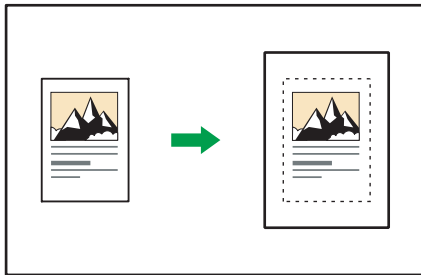
1. [編集/印字] を押します。

2. [画像編集] を押します。
3. [ダブルコピー] を押します。
4. [OK] を押します。
5. 用紙を選択します。

補足

- 仕切り線の種類を [基本編集設定] の [ダブルコピー仕切り線] で変更できます。詳しくは、P.179「基本編集設定」を参照してください。

センタリング

画像を用紙の中央に移動してコピーします。

重要

- 手差しコピーはできません。

センタリングできる原稿のサイズ、方向は次のとおりです。

原稿セット先	原稿サイズ、方向
原稿ガラス	A3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯▭、A5▯
自動原稿送り装置（ADF）	A3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯▭、A5▯▭、B6▯▭、11×17▭、$8^1/_2$×11 ▯▭

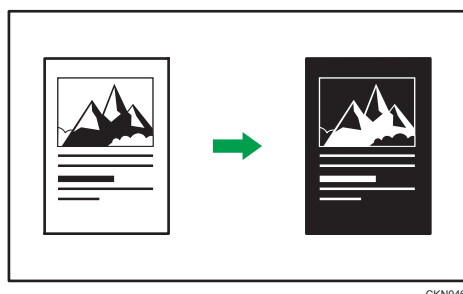
1. [編集/印字］を押します。

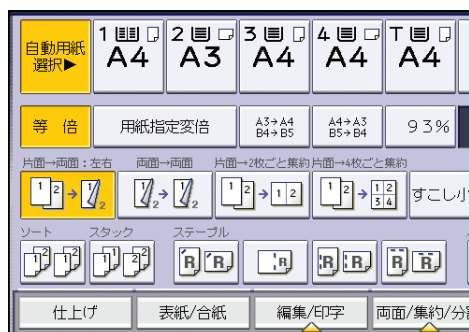
2. [画像編集］を押します。
3. [センタリング］を押します。
4. [OK］を押します。
5. 用紙を選択します。

補足

- 原稿のセット方向が用紙の方向と異なるとき、画像は 90 度回転されません。

白黒反転

画像を反転してコピーします。

CKN046

1. [編集/印字] を押します。

2. [画像編集] を押します。
3. [白黒反転] を押します。
4. [OK] を押します。

3 辺枠なし

後端、上端、下端の余白を少なくしてコピーします。

全体に画像がある原稿をコピーするときなどにこの機能を使用すると、コピーの画像欠け幅が少なくなります。

CNP027

重要

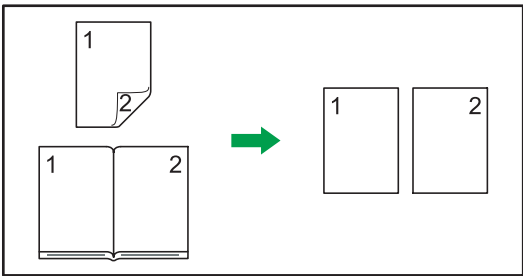
- 3 辺枠なしを指定したときは、両面コピーしないでください。両面コピーを指定すると、用紙がつまることがあります。

1. [編集/印字] を押します。

2. [画像編集] を押します。
3. [3 辺枠なし] を押します。
4. [OK] を押します。

分割

見開き原稿の左右または両面原稿の表裏を 1 枚ずつコピーします。

重要

- 自動原稿送り装置（ADF）からの見開き→片面機能は使用できません。

見開き原稿と片面コピーの用紙サイズは次のとおりです。（等倍のとき）

原稿	用紙
A3	A4×2 枚
B4	B5×2 枚
A4	A5×2 枚

分割には、次の 2 種類があります。

両面→片面

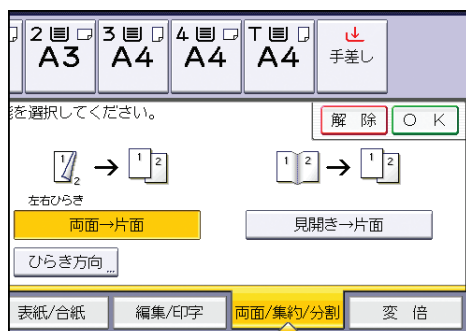
両面原稿の裏表を 1 枚ずつ用紙の片面にコピーします。

見開き→片面

見開き原稿の左右ページを 1 枚ずつ用紙の片面にコピーします。

1. ［両面/集約/分割］を押します。

2. ［分割］を押します。

3. ［両面→片面］または［見開き→片面］を選択し、［OK］を押します。

補足

- ［両面→片面］を選択したときは、ひらき方向を設定できます。詳しくは、P.40「ひらき方向を変更する」を参照してください。

製本

複数枚の原稿をページ順になるようにコピーします。

重要

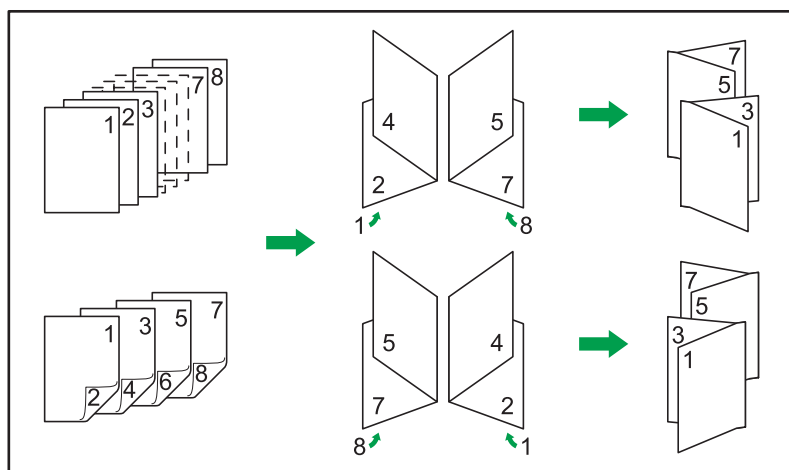
- **手差しコピーはできません。**

製本には次の 2 種類があります。

ミニ本

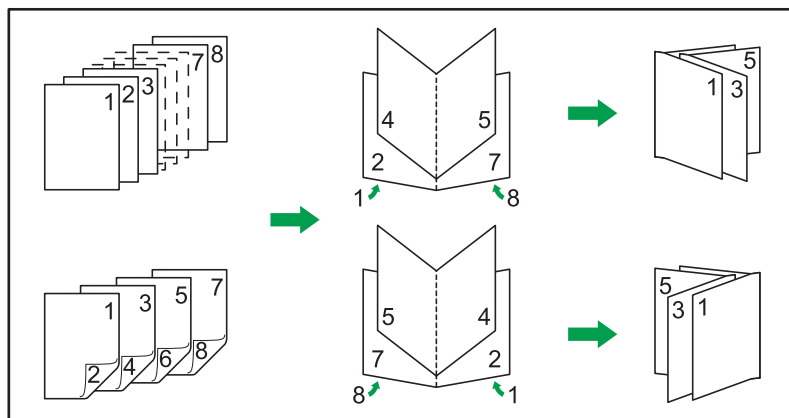
4 枚の片面原稿または 2 枚の両面原稿を、折ったときにページ順になるようにコピーします。

原稿と用紙のサイズに合わせて 25〜400%の範囲で自動的に倍率を設定します。原稿と用紙の方向が異なるときは、自動的に画像を 90 度回転します。

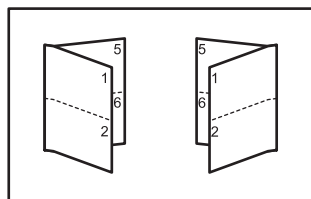
ミニ本をページ順にするには、コピーをそれぞれ半分に折ったあと重ねます。

週刊誌

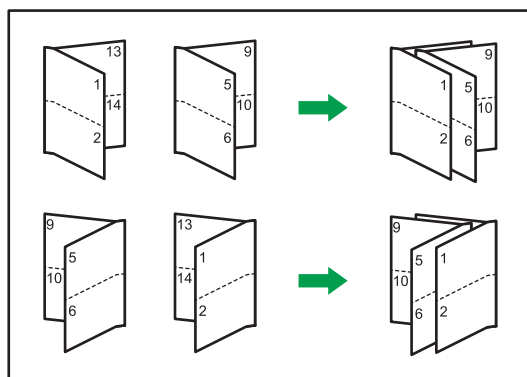
複数枚の片面原稿または両面原稿を、用紙を重ねて折ったときにページ順になるようにコピーします。

原稿と用紙のサイズに合わせて 25〜400%の範囲で自動的に倍率を設定します。原稿と用紙の方向が異なるときは、自動的に画像を 90 度回転します。

週刊誌をページ順にするには、コピーを重ねたまま中央で折ります。

集約と製本の組み合わせ

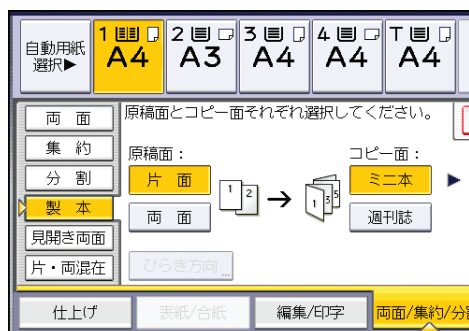
ミニ本や週刊誌に集約を組み合わせると、複数枚の原稿を 1 ページに集約してから冊子になるようにコピーできます。1 枚の用紙に最大 32 ページの原稿をまとめられます。

- 2 ページの原稿をミニ本の 1 ページにまとめるとき

CKN079

- 2 ページの原稿を週刊誌の 1 ページにまとめるとき

CKN080

1. ［両面/集約/分割］を押します。

2. ［製本］を押します。

3. 原稿の状態に合わせ、[片面] または [両面] を選択します。

4. [ミニ本] または [週刊誌] を選択します。

5. 1 ページに集約する枚数を選択します。

6. [OK] を押します。

7. 用紙を選択します。

補足

- 計算された縮小率が指定できる最小倍率以下のときは、最小倍率に補正されます。このとき画像が欠けることがあります。
- 異なるサイズ、方向の用紙を混ぜてコピーすることはできません。
- 原稿の枚数が用紙にまとめられる枚数より少ないときは、空白のままコピーします。
- 原稿を読み終わってから出力されるまで多少時間がかかります。
- 中とじフィニッシャー装着時に週刊誌と中とじステープルを設定したときは、重ねて中とじステープルし、自動的に中央で折ってから排出します。
- 中とじフィニッシャー装着時にインサーターと中とじステープルを設定するときは、表紙の印刷する面を下にしてセットしてください。
- [両面] を選択したときは、ひらき方向を設定できます。詳しくは、P.40「ひらき方向を変更する」を参照してください。
- [基本編集設定] の [ひらき方向：ミニ本・週刊誌] でミニ本や週刊誌の開きかたを設定できます。詳しくは、P.179「基本編集設定」を参照してください。

見開き両面

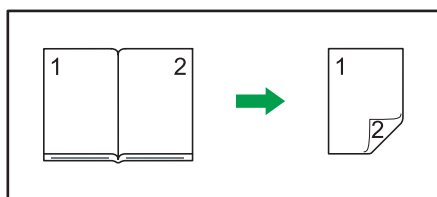
見開きの原稿を、用紙の両面にコピーします。

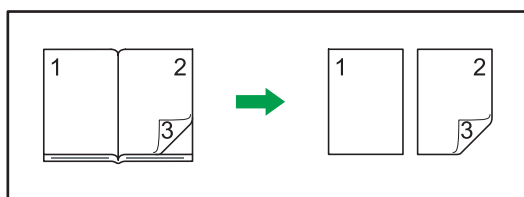
重要

- **自動原稿送り装置（ADF）からの見開き両面機能は使用できません。**

見開き両面には、次の 2 種類があります。

見開き→両面

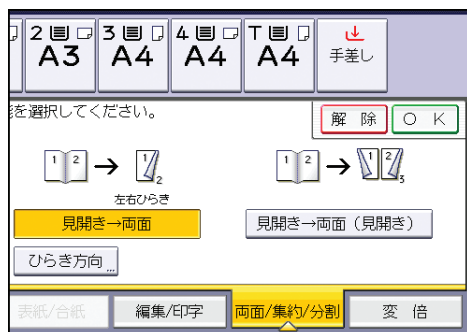
見開き原稿の左右ページを 1 枚ずつ用紙の両面にコピーします。

見開き→両面（見開き）

本のような見開きの両面原稿を、原稿と同じ状態になるように用紙の両面にコピーします。

見開き原稿と両面コピーの用紙サイズは次のとおりです。（等倍のとき）

原稿	用紙
A3	A4両面
B4	B5両面
A4	A5両面

1. ［両面/集約/分割］を押します。

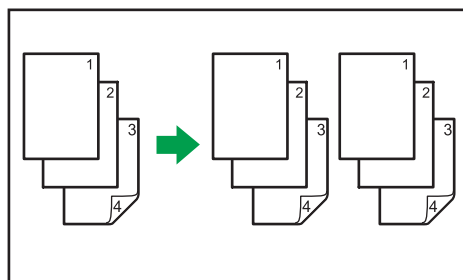
2. ［見開き両面］を押します。

3. ［見開き→両面］または［見開き→両面（見開き)］を選択します。

4. ［OK］を押します。

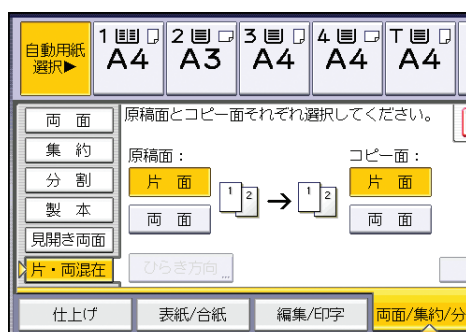
5. 用紙を選択します。

- 異なるサイズ、方向の用紙を混ぜてコピーすることはできません。
- コピーのひらき方向を設定できます。詳しくは、P.40「ひらき方向を変更する」を参照してください。

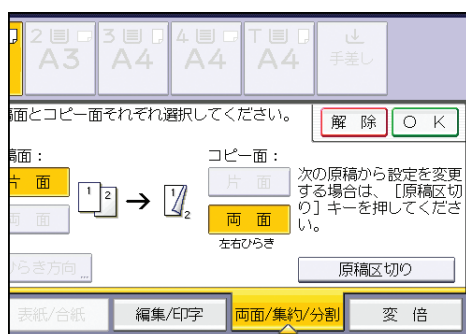
片・両混在

1 回のジョブで片面→片面、片面→両面、両面→片面、両面→両面を混在してコピーすることができます。

1. ［両面/集約/分割］を押します。

2. ［片・両混在］を押します。

3. 原稿面で［片面］または［両面］を選択します。

4. コピー面で［片面］または［両面］を選択します。

5. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

6. 原稿面またはコピー面を［両面］に設定しているときに、原稿を奇数枚セットしたときや、次の原稿から設定を変更するときは、［原稿区切り］を押します。

手順 3〜5 を繰り返して次のコピーをします。

3

補足

- 自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットし、2 部以上コピーするときは、［大量原稿］を設定してください。詳しくは、P.10「大量の原稿をセットする」を参照してください。
- 自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットして［大量原稿］を設定したときは、原稿面とコピー面で同じ印刷面を選択した場合に［原稿区切り］を選択できません。
- 原稿面またはコピー面で［両面］を選択したときは、［ひらき方向］で原稿のひらき方向を設定できます。詳しくは、P.40「ひらき方向を変更する」を参照してください。

表紙

表紙用の用紙にコピーします。または、1 ページ目の前や、最終ページのあとに表紙用の用紙を挿入します。

あらかじめ、［用紙設定］で表紙用の用紙トレイを設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

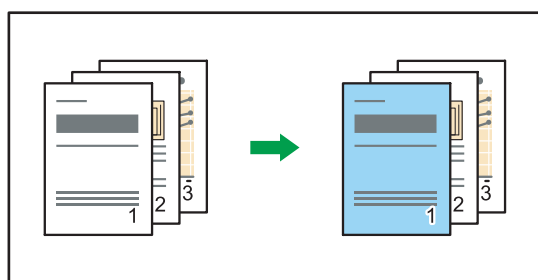
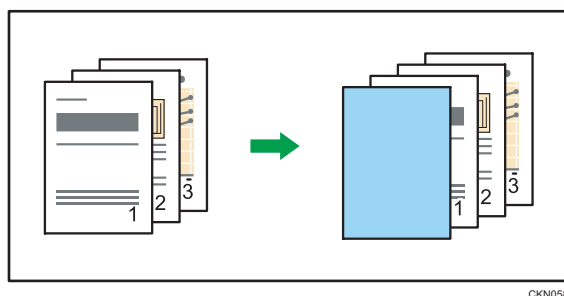
重要

- **本文用の用紙に手差しトレイを指定することはできません。**

表紙には次の種類があります。

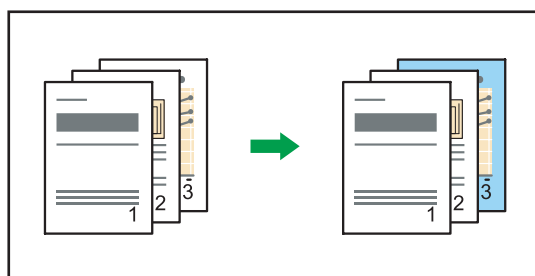
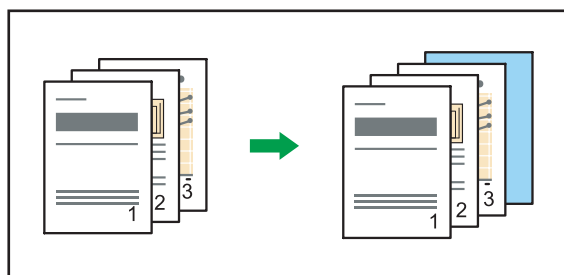
おもて表紙

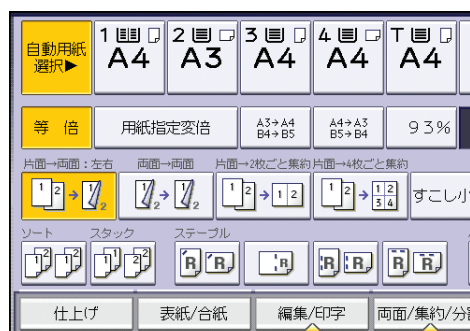
原稿の 1 ページ目を表紙用の用紙にコピーします。または、1 ページ目の前に表紙用の用紙を挿入します。

- 表紙用の用紙にコピーするとき

- 表紙用の用紙にコピーしないとき

うら表紙

原稿の最終ページを表紙用の用紙にコピーします。または、最終ページのあとに表紙用の用紙を挿入します。

- 表紙用の用紙にコピーするとき

- 表紙用の用紙にコピーしないとき

1. [表紙/合紙］を押します。

2. 表紙の種類ごとに、［コピーする］または［コピーしない］を選択します。

3. ［OK］を押します。

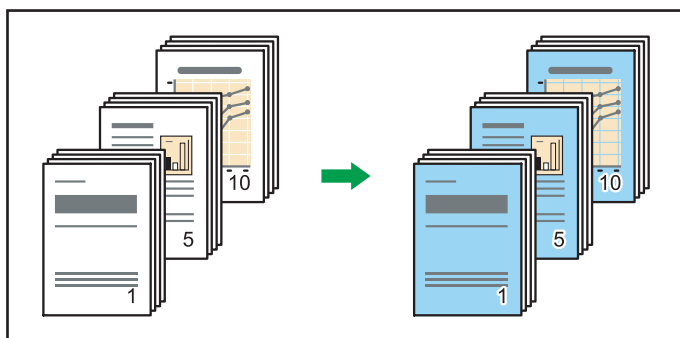
4. 本文用の用紙がセットされているトレイを選択します。

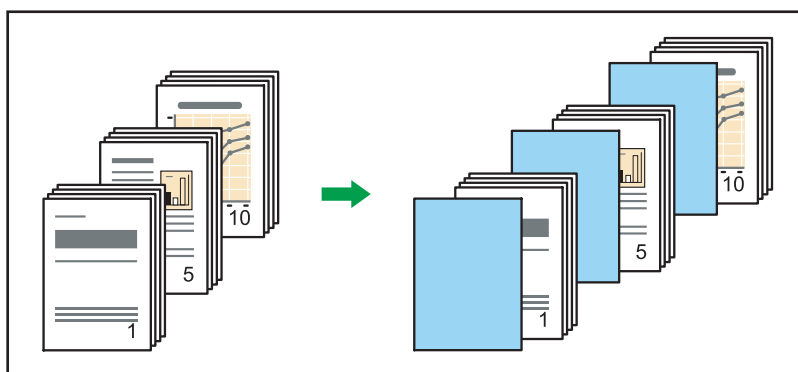
補足

- おもて表紙、うら表紙を同時に選択すると、1 ページ目の原稿と最終ページの原稿を表紙用の用紙にコピーできます。また、おもて表紙、うら表紙でそれぞれ［コピーしない］を選ぶと、表紙用の用紙を最初と最後に挿入します。
- おもて表紙用の用紙には、コピーする用紙と異なるサイズ、異なる方向の用紙が使用できます。
- うら表紙用の用紙は、コピーする用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットしてください。
- 異なるサイズのおもて表紙でステープルをするときは、用紙の送り方向に対してコピーする用紙と同じ幅になるようおもて表紙のサイズを指定してください。
- 表紙用の用紙トレイにインサーターを設定したときは、表紙用の用紙にコピーすることはできません。
- ［コピーする］を選択したときは、コピーする面が片面か両面かを設定してください。
- ［コピーしない］を選択したときは、表紙はコピー枚数としてカウントされません。
- ［基本編集設定］の［おもて表紙ページ集約設定］で、集約機能を設定したときにおもて表紙を集約するかしないか設定できます。詳しくは、P.179「基本編集設定」を参照してください。
- 両面コピーを設定しているときの表紙のコピー結果は、［用紙設定］での表紙用のトレイの設定によって異なります。「表示のタイミング」で［機能選択時］を選択したときは、表紙用のトレイの設定にしたがいます。［常時表示］を選択したときは、「用紙種類設定」の設定にしたがいます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

章区切り

指定したページを章区切り用の用紙にコピーします。または、指定したページの前に章区切り用の用紙を挿入します。

- 章区切り用の用紙にコピーするとき

CKN061

- 章区切り用の用紙にコピーしないとき

CKN062

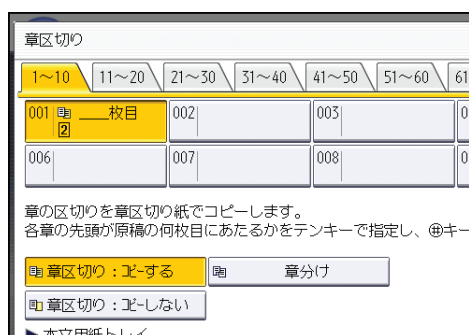
あらかじめ、[用紙設定] で章区切り用の用紙トレイを設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

重要

- **本文用の用紙に手差しトレイを指定することはできません。**

1. [表紙/合紙] を押します。

2. [章区切り] を押します。
3. [章区切り：コピーする] または [章区切り：コピーしない] を選択します。
4. 設定する章番号を押します。

11～20 ページ（章）を設定するときは、[11～20] を押します。

5. 章区切り用の用紙がセットされているトレイを選択します。
6. テンキーで章区切りするページを入力し、[#] キーを押します。
7. 手順 3～6 を繰り返して、章区切りするページを設定します。

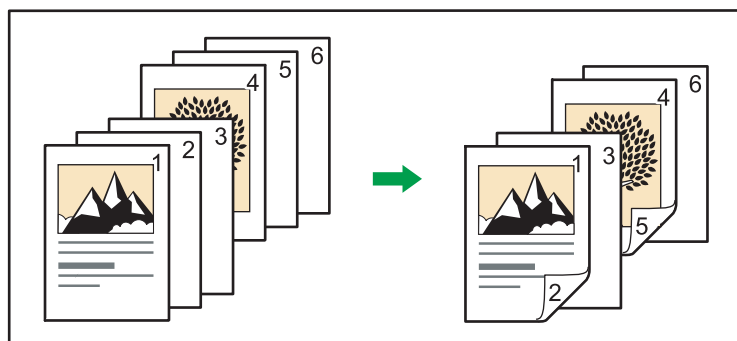
ページ（章）は 100 カ所まで指定できます。

8. 本文用の用紙がセットされているトレイを選択します。
9. [OK] を 2 回押します。

補足

- 章区切り用の用紙は、本文用の用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。
- [章区切り：コピーしない] を選択したときは、章区切り紙はコピー枚数としてカウントされません。
- 章区切り用の用紙トレイにインサーターを設定したときは、章区切り紙にコピーすることはできません。
- [片面→両面] を設定したときは、指定したページが常におもて面にコピーされます。

章分け

指定したそれぞれのページを常におもて面にコピーします。

重要

- 片面→両面、または集約が設定されているときに有効な機能です。[両面/集約/分割]を押して［片面→両面］または［集約］を設定してください。

1. [表紙/合紙］を押します。

2. [章区切り］を押します。
3. [章分け］を押します。
4. 設定する章番号を押します。

   11～20 ページ（章）を設定するときは、[11～20］を押します。

5. **テンキーで章分けするページを入力し、［#］キーを押します。**

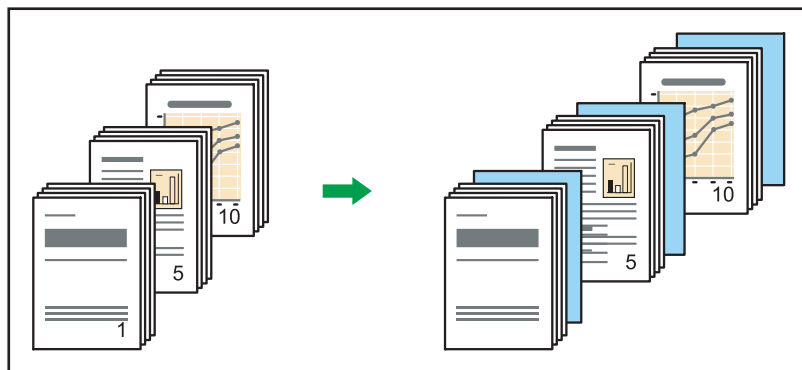
ページ（章）は 100 カ所まで指定できます。

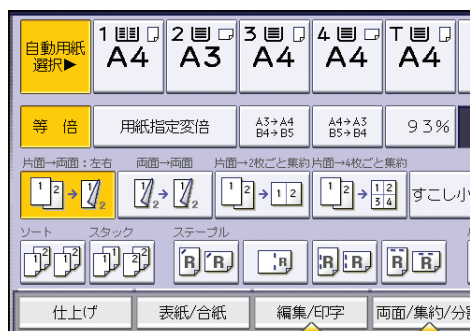
6. **手順 4〜5 を繰り返して、章分けするページを指定します。**

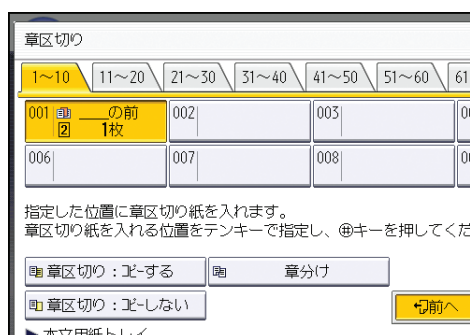
7. **本文用の用紙がセットされているトレイを選択します。**

8. **［OK］を 2 回押します。**

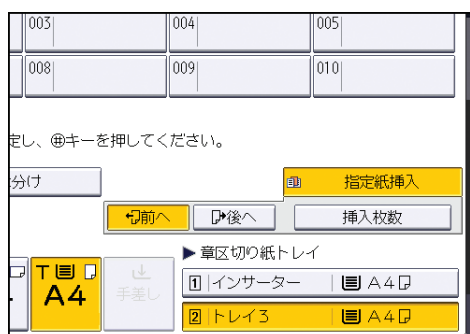
指定紙挿入

指定したページの前またはあとに、指定した枚数の章区切り紙を挿入します。

あらかじめ、[用紙設定] で章区切り用の用紙トレイを設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

1. ［表紙/合紙］を押します。

2. ［章区切り］を押します。
3. ［指定紙挿入］を押します。
4. 設定する章番号を押します。

11～20 ページ（章）を設定するときは、［11～20］を押します。

5. 章区切り用の用紙がセットされているトレイを選択します。

ページ（章）は 100 カ所まで指定できます。

6. 挿入位置が指定したページの［前へ］か［後へ］かを選択し、テンキーでページを入力します。

7. ［挿入枚数］を押します。

8. テンキーで挿入枚数を入力し、[#] キーを押します。

9. 手順 4〜8 を繰り返して、章区切り紙を挿入するページを設定します。

10. 本文用の用紙がセットされているトレイを選択します。

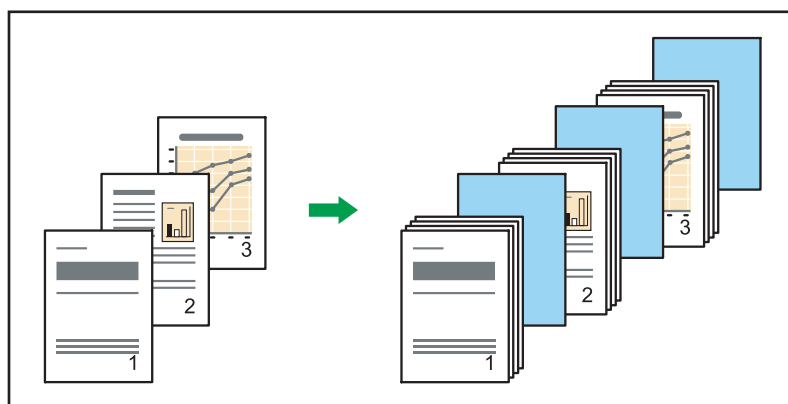
11. [OK] を 2 回押します。

補足

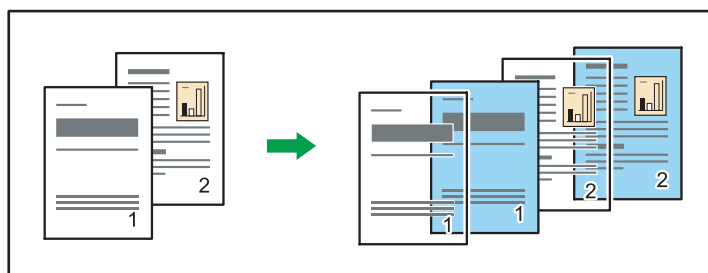
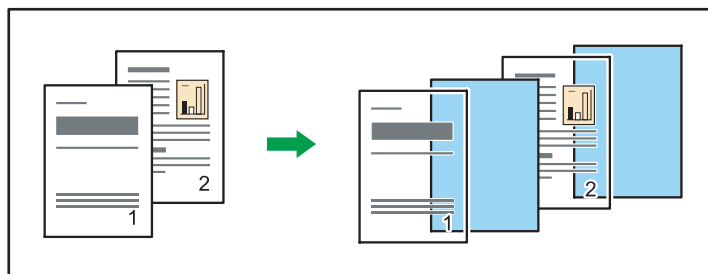
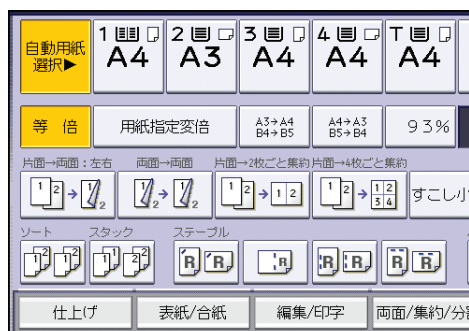
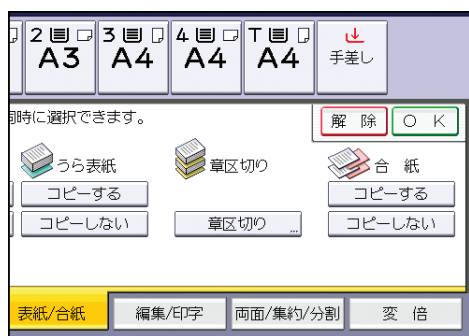
- 章区切り用の用紙は、コピーする用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。

合紙

原稿のページが変わるごとに、合紙用の用紙を挿入します。挿入した合紙にコピーすることもできます。

1 枚ごとに用紙が挿入され、印刷面を保護できるため、OHP フィルムにコピーするときに便利です。

あらかじめ、[用紙設定] で合紙用の用紙トレイを設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

OHP フィルムに合紙を入れるとき

- 合紙にコピーするとき

- 合紙にコピーしないとき

1. 両面機能が選択されているときは、設定を解除します。
2. [表紙/合紙] を押します。

3. 「合紙」で [コピーする] または [コピーしない] を選択し、[OK] を押します。

4. 本文用の用紙がセットされているトレイを選択します。

OHP フィルムを使用するときは手差しトレイを指定します。

補足

- 合紙用の用紙は本文用の用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。
- 手差しトレイに OHP フィルムをセットするときは、[#] キーを押して用紙種類の [OHP] を選択します。詳しくは、P.31「OHP フィルムにコピーする」を参照してください。

- 本文と合紙の用紙種類が異なるときは、本文と合紙をどちらも排紙できる排紙先に排紙されます。
- 合紙にコピーしないとき、合紙はコピー枚数としてカウントされません。

4. 連結コピー機能

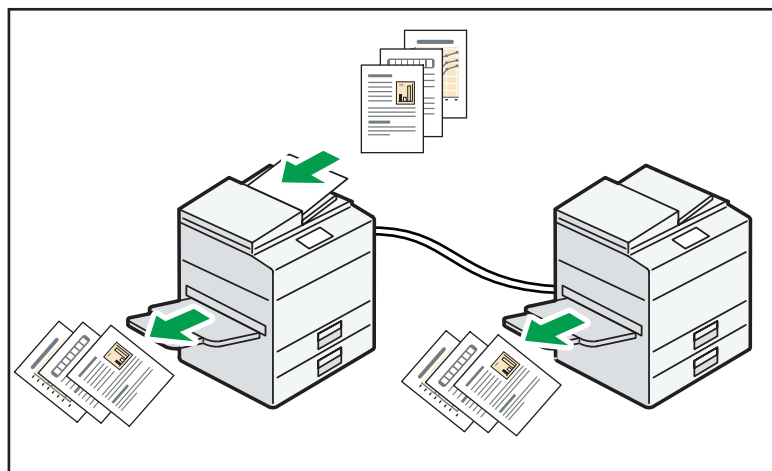
2 台の複合機を連結してコピーする方法を説明します。この機能を使用するために必要なオプションについては、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

連結コピーとは

連結コピーとは同じシリーズの複合機 2 台を連結キットで接続し、1 台の複合機で設定したコピー内容をもう 1 台に転送し、2 台でコピーする機能です。

複合機を 2 台接続して同時に稼働させると、通常の倍の速さでコピーできるので、大量のコピーを短時間に完了できます。

また、1 台で用紙切れや紙づまりなどが発生しても、もう 1 台が代行してコピーするため、ロスタイムが少なくなります。コピー中に機械の側にいる必要もありません。

CNP032

2 台の複合機のうち、先に［連結コピー］を押し、機能を設定する複合機を「親機」、親機と接続されコピーするだけの複合機を「子機」と呼びます。連結コピーを解除するまでは、親機・子機の関係を変更することはできません。

最初に親機で原稿を読み取り、親機のハードディスクに画像を蓄積します。親機がコピーを開始すると同時に子機のハードディスクに画像データを転送し、連結コピーを開始します。

連結コピーの接続対象機種およびオプション

同じモデルやオプション構成でなくても、連結コピーで接続できます。ただし、ステープルやパンチ、折りなどの仕上げ機能を使用するときは、接続する 2 台の複合機両方に、使用する機能に対応したオプションを装着してください。親機と子機で異なるフィニッシャーを装着していると、仕上がり結果が異なることがあります。

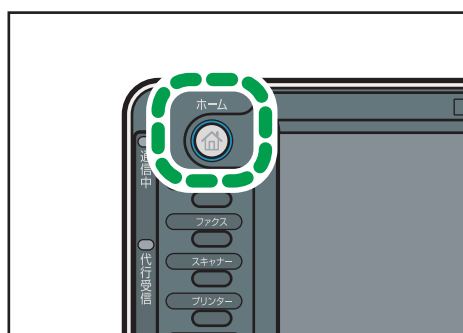
補足

- 連結コピー用ケーブルを、ほかの機器を接続するのに使用しないでください。
- 連結コピー用ケーブルの抜き差しをするときは、必ず親機・子機両方の主電源スイッチを切ってください。電源が入ったまま抜き差しすると故障の原因になることがあります。
- プリセットキーカード、キーカウンターは使用できません。
- 省エネ機能で子機の操作画面が消えた状態でも、親機と連結するとコピーを開始します。
- 連結コピーのとき、ユーザーコード認証による管理をする・しないは親機のユーザーコード認証の設定にしたがいます。
    - 子機でのコピー枚数管理はできません。親機・子機の合計枚数を親機のユーザーコードで管理します。
    - 子機にユーザーコードが入力されていてもコピー枚数管理はできません。
    - 子機側だけにユーザーコード認証が設定されているときは、ユーザーコードを入力しなくても、連結コピーは接続されコピーできる状態になります。このときユーザーコードによるコピー使用量は管理されません。
- 連結コピー中は子機はオートオフされません。

2 台を連結してコピーする

2 台の複合機を連結してコピーします。連結コピー中は親機側で操作します。

連結コピーを始める前に、親機と子機の設定を確認してください。親機と子機の設定の関係については、P.147「連結コピー時の設定」を参照してください。

1. **操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［コピー］アイコンを押します。**

2. **親機にする複合機の［連結コピー］を押します。**

   ［連結コピー］が反転表示され、2 台の複合機が接続されます。

3. **親機に原稿をセットします。**
4. **必要に応じて、親機で用紙サイズ、原稿セット方向、その他の機能を設定します。**
5. **テンキーでコピーする枚数を入力します。**

   入力できるコピー枚数は 999 枚までです。

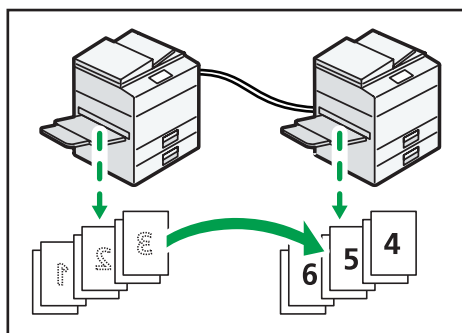
6. **親機の［スタート］キーを押します。**

   親機があいているときはコピーを開始します。子機は親機からのデータ転送後、コピーを開始します。子機がコピー中のときは、前のコピーが終わるとコピーを開始します。

7. **連結コピー終了後は［リセット］キーを押して、設定を解除します。**

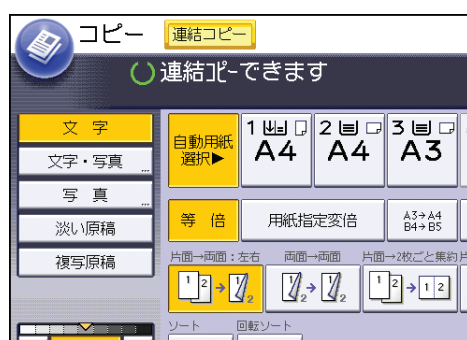
補足

- 親機が簡単画面のときや、割り込みコピー中は連結コピー機能を使用できません。
- ［連結コピー］を押すと、親機・子機共通の給紙トレイだけが表示され、その他の給紙トレイは選択できません。用紙は親機側で選択します。
- 子機は親機からのデータ転送後、コピーを開始します。そのため、親機と子機のコピー枚（部）数には差が生じます。データ量が多いときは、枚（部）数の差が大きくなる場合があります。

- 親機・子機のコピーが同時に終了しないことがあります。
- コピー枚数や原稿の状態によっては親機だけでコピーすることがあります。
- 連結コピーを中止するときは、親機の［ストップ］キーを押します。
- 数値、機能を設定している途中で親機の［リセット］キーを押すと連結コピーは解除され、通常のコピー機能の初期状態に戻ります。
- 連結コピー画面に表示されるキーの説明については、『本機のご利用にあたって』「連結コピー画面の見かた」を参照してください。
- ユーザー認証が設定されているときは、ログイン画面が表示されます。親機にログインしてから操作してください。ログイン方法は、『本機のご利用にあたって』「ログイン画面が表示されたとき」を参照してください。また、ログインして操作したあとは、ほかの利用者が不正に使用できないよう必ずログアウトしてください。
- コピー機能で設定された機能はそのまま設定されています。ただし親機または子機のどちらかにフィニッシャーや紙折りユニットが装着されていないときは、ステープルや折りなどの仕上げ機能は自動的に解除されます。
- ソートまたはステープル機能の設定時は、部のまとまりごとに親機と子機でコピーを分担します。そのため部の途中で紙づまりなどの状態になったときは、もう 1 台の複合機で代行してコピーできず、エラーが解除されるまでコピーを終了できません。
- ソートまたはステープル機能を設定したときは、部の途中で親機・子機に分かれてコピーすることはありません。
- スタック機能を設定したときは、1 部を親機と子機で分けてコピーします。親機は裏面排紙、子機は表面排紙します。コピーを順番どおりにするには、排出された親機のコピーを子機のコピーの上に裏返して重ねてください。

- 連結コピー中は子機でだけ割り込みコピーができます。親機は連結コピーを開始すると割り込みコピーできません。
- 子機の割り込みコピーが終了したら、必ず子機の割り込みコピーを解除してください。
- 子機の割り込みコピー中は、子機で設定されたシステムオートリセット時間が経過すると、割り込みコピーが解除されます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

- 読み取った原稿がメモリーに蓄積できる枚数を超えたときは、メッセージが表示されます。詳しくは、『こまったときには』「コピー／ドキュメントボックス使用中にメモリーがいっぱいになったとき」を参照してください。
- 連結コピー機能を使用するかしないかをプログラム登録できます。
- [連結コピー] を表示するかしないかを、[基本コピー設定] の [連結コピーキー表示] で設定できます。詳しくは、P.171「基本コピー設定」を参照してください。

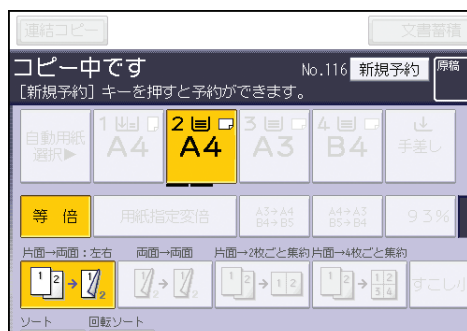
連結コピーを解除する

1. 親機の反転表示された [連結コピー] を押します。

補足

- 連結コピー中に親機で設定した機能は解除されません。

連結コピーを予約する

親機でコピー中に連結コピーを予約すると、前のコピーが終了したあと自動的に子機と連結し、予約したコピーを開始します。予約コピーは最大 8 件登録できます。

1. 親機にする複合機で「コピー中です」が表示されている間に、[新規予約] を押します。

2.「予約できます」と表示されているのを確認し、[連結コピー] を押します。

3.「連結予約できます」と表示されているのを確認し、予約するコピーの内容を設定します。

4. 親機に原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

親機は原稿を読み取ります。前のコピーが終わると、子機は親機からのデータ転送後、自動的にコピーを開始します。

補足

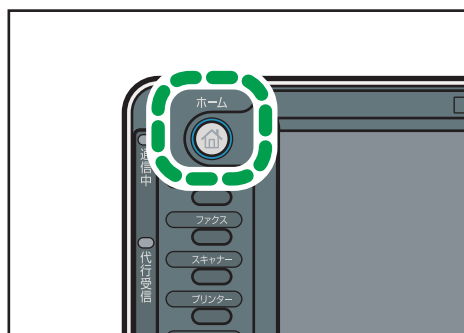
- 連結コピーの予約内容は子機のジョブ一覧にも表示されますが、子機側で削除することはできません。
- 予約した連結コピーの内容は、以下のときに変更できます。
    - 親機で予約した連結コピーの原稿の読み取りが完了している。
    - 親機・子機ともに予約した連結コピーが開始されていない。

- 親機と子機の両方が印刷中のときは、親機・子機とも前のコピーが終わると、予約したコピーを開始します。子機のコピー枚数や原稿の量が多いときは、親機だけで予約したコピーをします。

ドキュメントボックスに蓄積した文書を連結して印刷する

ドキュメントボックスに蓄積された文書を選択し、親機と子機とで連結して印刷します。

印刷する文書が蓄積されている複合機で操作します。

1. 親機の操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［ドキュメントボックス］アイコンを押します。

2. 印刷する文書を選択します。
3. 複数の文書をまとめて印刷するときは、印刷する順に手順 2 の操作を繰り返します。
4. 印刷条件を設定するときは、［印刷画面へ］を押して印刷条件を設定します。
5. ［連結印刷］を押します。

   ［連結印刷］が反転し、2 台の複合機が接続されます。
6. 印刷部数をテンキーで入力します。

   999 部まで指定できます。
7. ［スタート］キーを押します。

   親機はドキュメントボックスに蓄積されている文書をすぐに印刷開始します。子機は親機の文書が転送されてから印刷が始まるため、印刷開始まで多少時間がかかります。

補足

- 親機・子機の印刷枚（部）数は異なることがあります。
- 親機・子機の印刷が同時に終了しないことがあります。
- ［文書一覧へ戻る］を押すと文書選択の画面に戻ります。
- ドキュメントボックスの詳細については、P.150「文書を蓄積する」を参照してください。

連結コピー時の設定

用紙設定

連結コピーでは、親機と子機で用紙サイズ、方向、種類が同じ給紙トレイを使用します。連結コピー機能を最大限に使用するためには、親機・子機の用紙の設定を合わせることをお勧めします。

補足

- 子機に親機と共通の用紙がセットされた給紙トレイが複数あるときは、親機・子機それぞれの［給紙トレイ優先設定：コピー］で設定されたトレイが優先的に選択されます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。
- コピー中、子機の用紙がなくなったときは、用紙サイズが同じで方向の異なる給紙トレイがあるときはその給紙トレイが選択され、回転コピーします。（[リミットレス給紙］が［回転可能で動作］のとき）

初期設定

連結コピーでは、［コピー／ドキュメントボックス初期設定］の初期設定は親機の設定にしたがいます。ただし、［リミットレス給紙］、［連結コピーキー表示］の設定については、親機、子機ともにそれぞれの設定にしたがいます。

補足

- ［システム初期設定］の［ブザー音］でブザーの音量を設定し、［ジョブ終了お知らせ］を［ON］に設定しているときは、コピー終了後に親機でブザー音が鳴ります。

5. ドキュメントボックス機能

ドキュメントボックスを使用すると、文書を本機のハードディスクに蓄積しておき、あとから必要な条件で印刷できます。

各機能とドキュメントボックスの関係

使用する機能によって、ドキュメントボックスの状態が変わります。

	蓄積方法	一覧表示	印刷	送信
コピー機能	コピー・ドキュメントボックス	表示される	可	不可
プリンター機能	パソコン	表示される	可	不可
ファクス機能	ファクス	表示される	可	可*1
スキャナー機能	スキャナー	表示されない*2	不可	可*3

*1 ファクス機能を使用して、蓄積した文書を送信します。詳しくは、『ファクス』「蓄積した文書を送信する」を参照してください。

*2 スキャナー機能から蓄積した文書はスキャナー機能画面で確認できます。詳しくは、『スキャナー』「一覧画面から蓄積文書を確認する」を参照してください。

*3 スキャナー機能を使用して、蓄積した文書を送信します。詳しくは、『スキャナー』「蓄積文書を送信する」を参照してください。

文書を蓄積する

ドキュメントボックスに文書を蓄積します。

重要

- 正しいパスワードを入力して選択した文書は、操作後も選択が維持されるため、パスワードを知らなくても操作できてしまいます。操作後は必ず［リセット］キーを押して、文書の選択を解除してください。
- ドキュメントボックスに蓄積した文書に登録するユーザー名は、文書の作成者や性質を区別するためのものです。機密文書保護として有効ではありません。
- ファクス送信またはスキャナーで原稿を読み取るときは、すべての動作が完了したことを確認してください。

文書名

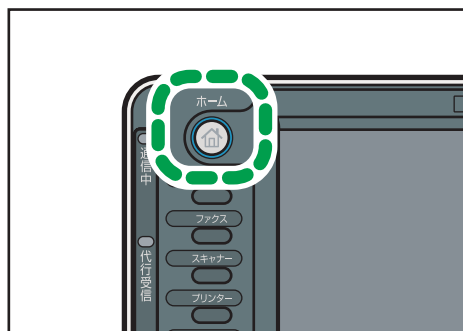
読み取った文書には「COPY0001」「COPY0002」と文書名が自動的に付けられます。文書名は変更できます。

ユーザー名

蓄積した人や部門がわかるようにユーザー名を設定できます。ユーザー名にはアドレス帳に登録した名前を指定する方法と、名称を入力して設定する方法があります。セキュリティーの設定によっては、［ユーザー名］が［アクセス権］と表示されることがあります。アドレス帳については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。

パスワード

蓄積する文書にはパスワードを設定できます。パスワードを設定した文書を印刷するときは、パスワードを入力するため、不特定の人に印刷されません。パスワードが設定されている文書には、カギマークが表示されます。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［ドキュメントボックス］アイコンを押します。

CJR001

2. ［読み取り画面へ］を押します。
3. ［ユーザー名］を押します。

4. ユーザー名を設定し、[OK]を押します。

一覧に表示されていない名称を設定するときは、[登録外文字列]を押してユーザー名を直接入力します。

5. [文書名]を押します。

6. 文書名を入力し、[OK]を押します。

7. [パスワード]を押します。

8. テンキーでパスワードを入力し、[OK]を押します。

パスワードは4けたから8けたまで指定できます。

9. 確認用にもう一度テンキーでパスワードを入力し、[OK]を押します。

10. 原稿をセットします。

11. 原稿の読み取り条件を設定します。

12. [スタート]キーを押します。

原稿が読み取られます。ドキュメントボックスに文書が保存されます。

原稿の読み取りが終了すると一覧が表示されます。一覧が表示されないときは、[読み取り終了]を押します。

補足

- ドキュメントボックス初期画面に表示されるキーの機能については、『本機のご利用にあたって』「ドキュメントボックス機能の画面の見かた」を参照してください。
- 読み取りを中断するときは[ストップ]キーを押します。表示された確認画面で[継続]を押すと読み取りが再開され、[読み取り中止]を押すと読み取り済みの画像が消去されて自動原稿送り装置(ADF)の原稿は排出されます。[ジョブ一覧]を押すと、ジョブ一覧画面が表示されます。ジョブ一覧画面については、『便利な機能』「ジョブを管理する画面の種類」を参照してください。
- ユーザー名、文書名、パスワードの設定は省略できます。文書名を変更しないときは、自動で文書名が設定されます。
- 文書名は全角10文字、半角20文字まで入力できますが、一覧で表示される文書名は全角8文字、半角16文字までです。文字数を超えると、文書名は全角7文字、半角15文字までしか表示されません。
- 自動検知されないサイズの文書を自動原稿送り装置(ADF)で読み取ったとき、読み取った文書とは異なる用紙サイズで蓄積されます。
- 工場出荷時の設定では、ドキュメントボックスに蓄積された文書は、蓄積してから3日(72時間)後に消去されます。[管理者用設定]の[ドキュメントボックス蓄積文書自動消去]で、文書の自動消去をしない、あるいは一定日数経過後に自動的に消去するように設定を変更できます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「管理者用設定」を参照してください。

- 自動的に削除したくない文書をドキュメントボックスに蓄積するときは、[管理者用設定]の[ドキュメントボックス蓄積文書自動消去]の設定を[しない]にしてから文書を蓄積してください。そのあとで[ドキュメントボックス蓄積文書自動消去]を[する]に設定すると、設定後に蓄積した文書は自動的に削除されます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「管理者用設定」を参照してください。
- 蓄積した文書にアクセス権を設定できます。詳しくは、P.166「蓄積した文書にアクセス権を設定する」を参照してください。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」を参照してください。

蓄積した文書の文書情報を変更する

ドキュメントボックスに蓄積した文書のユーザー名、文書名、パスワードを変更します。

補足

- 蓄積した文書にパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行]を押します。
- 文書の選択を取りやめるときは、反転表示されている文書をもう一度押します。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」を参照してください。

ユーザー名を変更する

蓄積した文書のユーザー名を変更します。

1. ユーザー名を変更する文書を選択します。

2. [文書情報変更] を押します。
3. [ユーザー名変更] を押します。
4. 変更画面で新しいユーザー名を設定して、[OK] を押します。
5. [OK] を押します。

文書名を変更する

蓄積した文書の文書名を変更します。

1. 文書名を変更する文書を選択します。

2. ［文書情報変更］を押します。
3. ［文書名変更］を押します。
4. 変更画面で新しい文書名を入力して、［OK］を押します。
5. ［OK］を押します。

パスワードを変更する

蓄積した文書のパスワードを変更します。

1. パスワードを変更する文書を選択します。

2. ［文書情報変更］を押します。
3. ［パスワード変更］を押します。
4. 変更画面で新しいパスワードを入力して、［OK］を押します。
5. 確認用にもう一度パスワードを入力して、［OK］を押します。
6. ［OK］を押します。

蓄積した文書の詳細を表示する

ドキュメントボックスに蓄積した文書の詳細を表示して確認します。

1. 詳細を表示する文書を選択します。

2. ［詳細］を押します。

［閉じる］を押すと、文書選択画面に戻ります。

補足

- 蓄積した文書にパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、［実行］を押します。
- 複数の文書を選択しているときは［▲］［▼］で順番に文書の情報を確認できます。
- 文書の選択を取りやめるときは、反転表示されている文書をもう一度押します。
- プレビュー画面で蓄積した文書の内容を確認できます。手順１で文書を選択したあと、［プレビュー］を押してください。プレビュー画面については、『本機のご利用にあたって』「ドキュメントボックス機能のプレビュー画面の見かた」を参照してください。

蓄積した文書を検索する

ドキュメントボックスに蓄積した文書を、文書名またはユーザー名で検索します。

蓄積された順に並んでいる文書データ一覧を好みの順番に並び替えることもできます。

文書名で検索する

蓄積した文書を文書名から検索します。

ユーザー名で検索する

蓄積した文書をユーザー名から検索します。

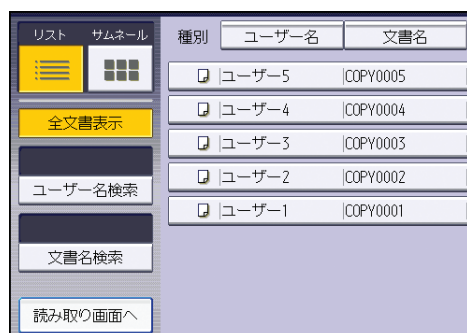
補足

- ネットワーク上のパソコンから Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスに蓄積された文書を検索、並び替えできます。詳しくは、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」を参照してください。

5

文書名で検索する

蓄積した文書を文書名から検索します。先頭文字から完全一致する文書名を検索し、文書選択の画面に表示します。

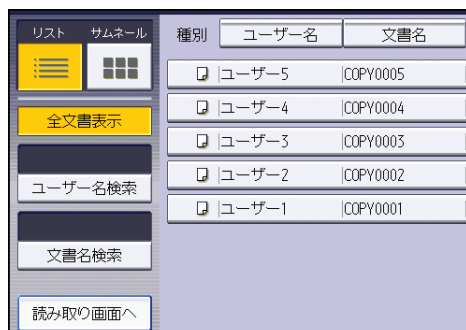
1. [文書名検索] を押します。

2. 検索する文書名を入力し、[OK] を押します。

補足

- [全文書表示] を押すと、蓄積されているすべての文書が表示されます。

ユーザー名で検索する

蓄積した文書をユーザー名から検索します。先頭文字から完全一致するユーザー名を検索し、文書選択の画面に表示します。

1. [ユーザー名検索] を押します。

2. 登録されているユーザー名を指定するときは、ユーザー名を選択します。

ユーザー名を選択したあと、手順 5 に進みます。

3. ユーザー名が登録されていないときは、[登録外文字列] を押し、入力画面でユーザー名を入力します。

4. [OK] を押します。

5. [OK] を押します。

補足

- [全文書表示] を押すと、蓄積されているすべての文書が表示されます。

蓄積した文書を印刷する

ドキュメントボックスに蓄積した文書を印刷します。

印刷画面で設定できる項目は次のとおりです。

- 用紙選択
- 出力部数
- 仕上げ（フィニッシャー、折り）
- 表紙/合紙（おもて表紙、うら表紙、章区切り、合紙）
- 編集/印字（とじしろ、印字）
- 両面/製本（片面印刷、両面印刷左右ひらき、両面印刷上下ひらき、指定ページ両面、ミニ本、週刊誌）

各機能の詳細については、それぞれの項目を参照してください。

5

1. 印刷する文書を選択します。

2. 複数の文書をまとめて印刷するときは、印刷する順に手順 1 の操作を繰り返します。

30 文書まで指定できます。

3. 印刷条件を設定するときは、［印刷画面へ］を押して条件を設定します。

4. 印刷部数をテンキーで入力します。

999 部まで指定できます。

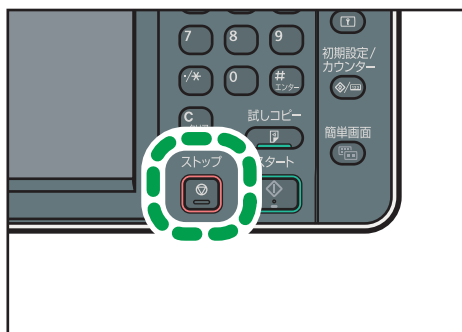
5. ［スタート］キーを押します。

補足

- 蓄積した文書にパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、［実行］を押します。
- 文書の選択を取りやめるときは、反転表示されている文書をもう一度押します。
- ［リセット］キーを押すと、選択した文書がすべて解除されます。
- ［印刷順］を押すと選択した文書が印刷順に並んで表示されます。

- ［文書一覧へ戻る］を押すと文書選択の画面に戻ります。
- 画面左の［ユーザー名検索］または［文書名検索］で目的の文書を検索できます。検索のしかたについては、P.156「蓄積した文書を検索する」を参照してください。
- 複数の文書を選択したとき、［▲］［▼］を押して選択した文書のユーザー名、文書名、印刷順を確認できます。
- コピー、プリンター機能では、設定した印刷条件が印刷終了後も記憶され、次の印刷時に適用されます。ファクス機能では、印刷条件は記憶されません。
- 複数の文書を選択したとき、最初の文書には印刷条件が記憶されますが、最初の文書以外の文書には印刷条件が記憶されません。
- 複数の文書を一度に印刷するときは、最初に印刷される文書の印刷条件がすべての文書に適用されます。
- 複数の文書を選択したとき、サイズや解像度が異なっていると印刷できないことがあります。
- ファクス機能で蓄積した文書は、印字は設定できません。
- ソート機能を選択して複数部数を印刷するときは、1 部だけ印刷して仕上がりを確認できます。詳しくは、P.160「試し印刷」を参照してください。
- ［基本コピー設定］の［コピーセット枚数制限設定］で、セットできる印刷枚数の上限を変更できます。詳しくは、P.171「基本コピー設定」を参照してください。
- ネットワーク上のパソコンから Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスの文書を印刷できます。Web Image Monitor の立ち上げかたについては、P.164「蓄積した文書を Web Image Monitor で表示する」を参照してください。

印刷を中止する

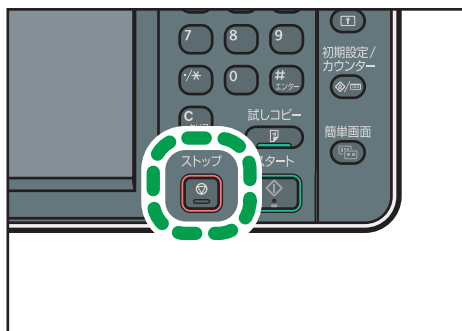
1. 印刷中に［ストップ］キーを押します。

2. ［コピー中止］を押します。

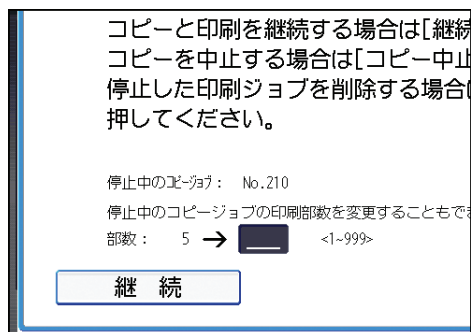
印刷部数を変更する

印刷を開始してから、印刷部数を変更します。

重要

- 印刷条件で、ソート機能を選択しているときに有効です。

1. 印刷中に［ストップ］キーを押します。

CJM034

2. テンキーで新たに印刷部数を入力します。

3. ［継続］を押します。

印刷が再開します。

補足

- 入力できるコピー部数の範囲は、［ストップ］キーを押すタイミングにより異なります。

試し印刷

印刷部数が多いときは、選択した文書の順番や印刷条件が適切かどうかを確認するために、1 部だけを先行して印刷できます。

重要

- 印刷条件で、ソート機能を選択しているときに有効です。

1. 印刷する文書を選択します。

種別	ユーザー名	文書名	月日	ページ	印刷順
	ユーザー5	COPY0005	12/31	5	
	ユーザー4	COPY0004	12/31	5	
	ユーザー3	COPY0003	12/31	5	
	ユーザー2	COPY0002	12/31	5	
	ユーザー1	COPY0001	12/31	5	

2. ［印刷画面へ］を押します。
3. テンキーでコピーする枚数を入力します。
4. ［仕上げ］を押し、［ソート］または［回転ソート］を選択します。
5. ［OK］を押します。
6. ［試しコピー］キーを押します。

   1 部だけ印刷されます。

7. ［継続］を押します。

   印刷が再開します。

補足

- 印刷を中止するときは、［中断］を押してください。印刷画面が表示されるので、設定し直してください。

指定ページ印刷

文書選択画面で選択した文書のページを指定して印刷できます。

印刷範囲を指定する方法には次の 3 種類があります。

先頭ページ

1 ページ目だけを印刷します。複数の文書を選択したときは、各文書の 1 ページ目が印刷されます。

指定ページ

指定したページだけを印刷します。［指定ページ］に印刷するページ番号を入力します。

範囲指定

指定した範囲のページだけを印刷します。[開始数字]に印刷を開始するページ番号を、[終了数字]に印刷を終了するページ番号をそれぞれ入力します。

1. 印刷する文書を選択します。

2. [指定ページ印刷]を押します。
3. 印刷するページを指定します。

4. 必要に応じて、印刷するページや範囲を入力します。
5. [スタート]キーを押します。

蓄積した文書を消去する

ドキュメントボックスに蓄積した文書を消去します。

重要

- ドキュメントボックスに蓄積できる文書数は 3000 件です。蓄積されている文書が 3000 件に達すると、新しい文書が蓄積されなくなるので、不要になった文書はできるだけ削除してください。

1. 消去する文書を選択します。

複数の文書を選択できます。

2. ［文書消去］を押します。

3. ［消去する］を押します。

補足

- 蓄積した文書にパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、［実行］を押します。
- 選択を取りやめるときは、反転表示されている文書をもう一度押します。
- 画面左の［文書名検索］または［ユーザー名検索］で目的の文書を検索できます。
- プレビュー画面で蓄積した文書の内容を確認できます。手順 1 で文書を選択したあと、［プレビュー］を押してください。プレビュー画面については、『本機のご利用にあたって』「ドキュメントボックス機能のプレビュー画面の見かた」を参照してください。
- 蓄積されている文書を、［管理者用設定］の［ドキュメントボックス蓄積文書一括消去］で一括して削除できます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「管理者用設定」を参照してください。
- ネットワーク上のパソコンから Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスの文書を削除できます。Web Image Monitor の立ち上げかたについては、P.164「蓄積した文書を Web Image Monitor で表示する」を参照してください。

蓄積した文書を Web Image Monitor で表示する

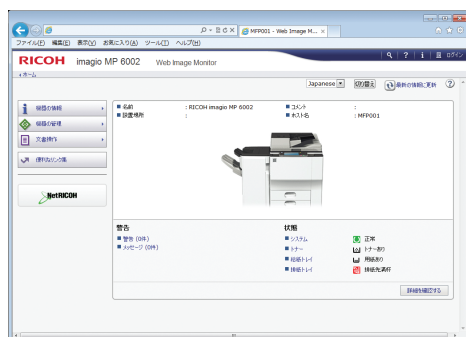
Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスに蓄積した文書の内容をパソコンの画面で確認します。

1. Web ブラウザーを起動します。

2. アドレスに「http://（本機の IPv4 アドレス、IPv6 アドレスまたはホスト名）/」と入力します。

IPv4 アドレスを入力するとき、各セグメントの先頭に付く「0」は入力しないでください。たとえば「192.168.001.010」のときは、「192.168.1.10」と入力します。

「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

3. ［文書操作］をポイントし、［ドキュメントボックス］をクリックします。

4. 確認する文書の（詳細情報）アイコンをクリックします。

5. 文書の内容を確認します。

大きく表示するときは、［拡大表示］をクリックします。

補足

- 文書の一覧は表示形式を変更できます。（サムネール表示）、（アイコン表示）、（詳細表示）から選択してください。

蓄積した文書を Web Image Monitor でダウンロードする

Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスに蓄積した文書のデータをパソコンにダウンロードします。

重要

- **コピー（ドキュメントボックス）、プリンター機能で蓄積した文書のダウンロードは拡張データ変換ボードが必要です。**

1. **Web ブラウザーを起動します。**
2. **アドレスに「http://（本機の IPv4 アドレス、IPv6 アドレスまたはホスト名）/」と入力します。**

   IPv4 アドレスを入力するとき、各セグメントの先頭に付く「0」は入力しないでください。たとえば「192.168.001.010」のときは、「192.168.1.10」と入力します。

   「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。

   Web Image Monitor のトップページが表示されます。
3. **[文書操作] をポイントし、[ドキュメントボックス] をクリックします。**
4. **ダウンロードする文書の（詳細情報）アイコンをクリックします。**
5. **ファイル形式を選択し、[ダウンロード] をクリックします。**
6. **[OK] をクリックします。**

補足

- 文書の一覧は表示形式を変更できます。（サムネール表示）、（アイコン表示）、（詳細表示）から選択してください。
- [JPEG] は、スキャナー機能を使用してフルカラーまたはグレースケールで読み取り、圧縮した文書で選択できます。
- Internet Explorer 8 を使用しているとき、ダウンロードに時間がかかることがあります。本機の URL を [インターネットオプション] から信頼済みサイトとして登録し、サイトの SmartScreen フィルター機能を無効にしてください。Internet Explorer 8 の設定については、Internet Explorer 8 のヘルプを参照してください。

蓄積した文書にアクセス権を設定する

本機に蓄積した文書は、蓄積したユーザーがアクセス権限を持っています。そのユーザーを文書作成者（オーナー）と呼びます。オーナーは、作成した文書に対するほかのユーザーのアクセス権を設定・変更できます。

オーナー以外のユーザーは、アクセス権がある文書だけが表示されます。

アクセス権を変更できるのはオーナーと管理者です。

アクセス権の種類

アクセス権は 4 種類あり、権限によってできることが制限されます。

閲覧	蓄積した文書の内容や情報を確認でき、印刷や送信もできます。
編集	蓄積した文書の印刷条件を変更できます。 閲覧のアクセス権を含みます。
編集／削除	蓄積した文書を消去できます。 閲覧、編集のアクセス権を含みます。
フルコントロール	蓄積した文書にユーザーとアクセス権を設定できます。 閲覧、編集、編集/削除のアクセス権を含みます。

文書パスワード

オーナーは、蓄積した文書にパスワードを設定できます。文書の不正利用に対する安全性をより強化できます。

ユーザー認証が設定されていなくても、文書にパスワードを設定できます。

文書パスワードの設定方法は、P.154「パスワードを変更する」を参照してください。

補足

- プリンタードライバーからの印刷指示で本機に蓄積された保存文書のアクセス権は、Web Image Monitor から設定できます。詳しくは、『プリンター』「保存文書にアクセス権を設定する」を参照してください。
- オーナーのアクセス権の初期値は、［閲覧］です。また、アクセス権も設定できます。

蓄積した文書のユーザーとアクセス権を設定する

オーナーが設定します。

文書を使用できるユーザーと、それぞれのユーザーのアクセス権を文書ごとに設定します。この設定により、アクセス権を設定されたユーザーだけが文書を使用できます。

重要

- 文書へアクセスできなくなったときは、オーナーが該当する文書のアクセス権を再設定してください。アクセス権限のない文書にアクセスするときは、オーナーに確認してください。
- 文書のオーナー、およびフルコントロール権限を持つほかのユーザーは、その文書の［アクセス権変更］でオーナー、およびほかのユーザーのアクセス権を変更できます。

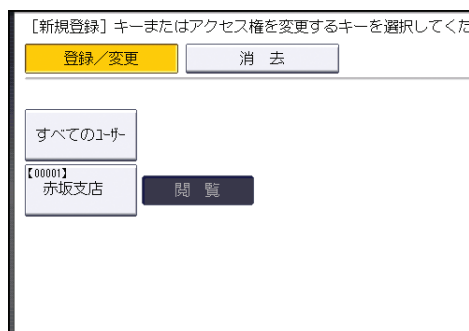
1. アクセス権を設定する文書を選択します。

2. ［文書情報変更］を押します。
3. ［アクセス権変更］を押します。
4. 「アクセス許可ユーザー／グループ」の［登録／変更／消去］を押します。
5. ［新規登録］を押します。
6. 登録するユーザーまたはグループを選択します。

複数のユーザーを選択できます。

［すべてのユーザー］を押すと、全ユーザーを選択できます。

7. ［閉じる］を押します。

8. アクセス権を設定するユーザーを選択し、アクセス権を選択します。

アクセス権は、[閲覧]、[編集]、[編集／削除]、[フルコントロール] のいずれかを選択します。

9. [閉じる] を押します。

10. [OK] を 2 回押します。

補足

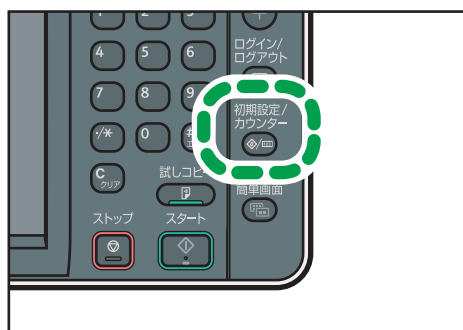
- 本機を安全に使用するためには、認証ユーザーにも [編集]、[編集／削除]、[フルコントロール] の権限を与えない制限を設けて運用することをお勧めします。
- アクセス権については、P.166「蓄積した文書にアクセス権を設定する」を参照してください。

特定ユーザーの蓄積文書へのアクセス権を事前に設定する

オーナーが設定します。

特定のユーザーが蓄積した文書を使用できるユーザーと、それぞれのユーザーのアクセス権を設定します。

この設定により、アクセス権を設定されたユーザーだけが文書を使用できます。蓄積した文書ごとにアクセス権を設定するときと比較し、アクセス権の管理が容易です。

1. [初期設定/カウンター] キーを押します。

CJR003

2. [アドレス帳管理] を押します。
3. ユーザーまたはグループを選択します。
4. [認証保護] を押します。
5. 「文書保護」で、「アクセス許可ユーザー/グループ」の [登録／変更／消去] を押します。
6. [新規登録] を押します。
7. 登録するユーザーまたはグループを選択します。

複数のユーザーを選択できます。

[すべてのユーザー] を押すと、全ユーザーを選択できます。

8. [閉じる] を押します。
9. アクセス権を設定するユーザーを選択し、アクセス権を選択します。

アクセス権は、[閲覧]、[編集]、[編集／削除]、[フルコントロール] のいずれかを選択します。

10. [閉じる] を押します。
11. [設定] を押します。
12. [閉じる] を押します。
13. [終了] を押します。

補足

- アクセス権については、P.166「蓄積した文書にアクセス権を設定する」を参照してください。

6. コピー／ドキュメントボックス初期設定

本機にある［コピー／ドキュメントボックス初期設定］の各種項目について説明します。

基本コピー設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［基本コピー設定］タブの各種項目について説明します。

自動濃度優先

電源を入れた直後、オートクリアされたとき、リセットしたときに、自動濃度が設定されるようにするかしないかを設定します。

- 写真
    - する
    - しない

  工場出荷時の設定：**しない**
- 写真以外
    - する
    - しない

  工場出荷時の設定：**する**

優先写真原稿種類

原稿種類で［文字・写真］または［写真］を選択したときの原稿の種類を設定します。

- 文字・写真
    - 印画紙写真
    - 印刷写真
    - 複写写真

  工場出荷時の設定：**印刷写真**
- 写真
    - 印画紙写真
    - 印刷写真
    - 複写写真

  工場出荷時の設定：**印刷写真**

原稿種類省略表示

コピー初期画面の原稿種類表示を省略するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

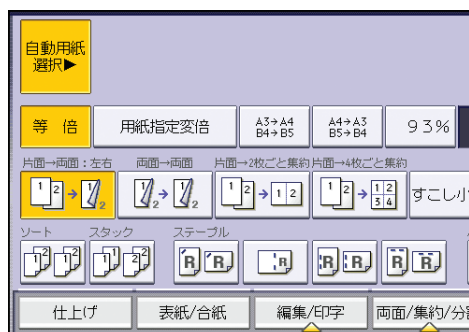
［する］に設定したときは、次のように表示されます。

用紙種類省略表示

コピー初期画面の用紙種類表示を省略するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

［する］に設定したときは、次のように表示されます。

［自動用紙選択］を押して選択を解除すると、用紙種類が表示されます。

両面原稿ひらき方向設定

両面原稿をコピーするときの、原稿のひらき方向を設定します。

- 左右ひらき
- 上下ひらき

工場出荷時の設定：**左右ひらき**

両面コピーひらき方向設定

両面コピーするときの、コピーのひらき方向を設定します。

- 左右ひらき
- 上下ひらき

工場出荷時の設定：**左右ひらき**

コピーセット枚数制限設定

セットできるコピー枚数の上限を設定します。

1〜999 枚（1 枚単位）の範囲で枚数をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**999 枚**

リミットレス給紙

コピー中に用紙がなくなったとき、同じサイズの用紙がほかの給紙トレイにセットされていれば、用紙方向にかかわらず自動的にその給紙トレイから続けて給紙できます（自動用紙選択時）。この動作を「リミットレス給紙」といいます。リミットレス給紙をするかしないかを設定します。

- 回転可能で動作

  リミットレス給紙を使用してコピーします。

  動作している機能によっては、回転しないことがあります。

- 回転不可で動作

  同じサイズで同じ方向の用紙がセットされているときだけ、継続してコピーします。同じサイズで同じ方向の用紙がないときは、用紙を補給するようメッセージが表示されコピーは中断されます。

- しない

  用紙がなくなると、用紙を補給するようメッセージが表示されコピーは中断されます。

工場出荷時の設定：**回転可能で動作**

原稿忘れブザー音

原稿の取り忘れを警告するブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

- ON
- OFF

工場出荷時の設定：**ON**

［システム初期設定］の［ブザー音］を［OFF］に設定すると、この機能を［ON］に設定しても無効になります。

ジョブ終了お知らせ

コピーが終了したときにブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

［システム初期設定］の［ブザー音］でブザーの音量を設定すると、給紙トレイに用紙がなくなった、用紙がつまったなどの理由でコピーが中断したときに「ピーピーピーピーピー」というブザー音が 4 回鳴り、コピーが終了しなかったことをお知らせします。

- ON
- OFF

工場出荷時の設定：ON

連結コピーキー表示

連結コピーのキーを表示するかしないかを設定します。［しない］を設定するとキーは表示されず、親機になることはできません。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

原稿カウント方法

原稿カウンターの計数方法を選択します。

- 原稿枚数ごと
- 原稿ページごと

工場出荷時の設定：**原稿枚数ごと**

登録機能：コピー

頻繁に使用する機能を、6 つまで登録機能キーに登録できます。

- 設定しない
- 片面→両面：左右
- 片面→両面：上下
- 両面→両面
- 両：左右→片面 2 枚
- 片面→2 枚ごと集約
- 片面→4 枚ごと集約
- 片面→8 枚ごと集約
- 片面→両面：左右
- 片面→両面：上下
- 片面原稿→週刊誌
- 両面原稿→週刊誌
- すこし小さめ
- 原稿方向（読めない方向）
- 大量原稿
- 右折り
- 下折り
- 白黒反転

- 3 辺枠なし
- 反転排紙
- 片面→週刊誌 2 枚
- 両面→週刊誌 2 枚

工場出荷時の設定：

- 登録機能 1：**片面→両面：左右**
- 登録機能 2：**両面→両面**
- 登録機能 3：**片面→2 枚ごと集約**
- 登録機能 4：**片面→4 枚ごと集約**
- 登録機能 5：**すこし小さめ**
- 登録機能 6：**設定しない**

登録機能：ドキュメントボックス読み取り

ドキュメントボックス機能で原稿を読み取るときに頻繁に使用する機能を、6 つまで登録機能キーに登録できます。

- 設定しない
- 両面原稿左右ひらき
- 両面原稿上下ひらき
- 片面→2 枚ごと集約
- 片面→4 枚ごと集約
- 片面→8 枚ごと集約
- 両面左右ひらき→2 ページごと集約
- 両面上下ひらき→2 ページごと集約
- 両面左右ひらき→4 ページごと集約
- 両面上下ひらき→4 ページごと集約
- 両面左右ひらき→8 ページごと集約
- 両面上下ひらき→8 ページごと集約
- すこし小さめ
- 原稿方向（読めない方向）
- 大量原稿
- 白黒反転

工場出荷時の設定：

- 登録機能 1：**両面原稿左右ひらき**
- 登録機能 2：**片面→2 枚ごと集約**
- 登録機能 3：**片面→4 枚ごと集約**

- 登録機能 4：**片面→8 枚ごと集約**
- 登録機能 5：**すこし小さめ**
- 登録機能 6：**設定しない**

登録機能：ドキュメントボックス印刷

ドキュメントボックス機能で蓄積した文書を印刷するときに頻繁に使用する機能を、6 つまで登録機能キーに登録しておくことができます。

- 設定しない
- 両面印刷左右ひらき
- 両面印刷上下ひらき
- ミニ本
- 週刊誌
- 3 辺枠なし
- 反転排紙
- 右折り
- 下折り

6

工場出荷時の設定：

- 登録機能 1：**両面印刷左右ひらき**
- 登録機能 2：**両面印刷上下ひらき**
- 登録機能 3：**ミニ本**
- 登録機能 4：**週刊誌**
- 登録機能 5：**設定しない**
- 登録機能 6：**設定しない**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

変倍率設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［変倍率設定］タブの各種項目について説明します。

基本画面倍率キー設定

固定倍率以外で頻繁に使用する倍率を 3 つまで登録し、コピー初期画面に表示できます。

- 25%
- 50%
- 61%
- 71%
- 82%
- 87%
- 93%
- 115%
- 122%
- 141%
- 200%
- 400%
- 任意倍率
- 設定しない

任意倍率は 25〜400%の範囲で数値をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：

- F1：**71%**
- F2：**141%**
- F3：**93%**

変倍率設定

コピー初期画面で［変倍］を押したときに表示される変倍率を設定します。

- 25%
- 50%（A3→A5, B4→B6）
- 61%（A3→B5, A4→B6）
- 71%（A3→A4, B4→B5）
- 82%（B4→A4, B5→A5）
- 87%（A3→B4, A4→B5）

- 93%
- 115%（B4→A3, B5→A4）
- 122%（A4→B4, A5→B5）
- 141%（A4→A3, B5→B4）
- 200%（A5→A3, B6→B4）
- 400%
- 任意倍率

任意倍率は25〜400%の範囲で数値をテンキーで入力します。

優先変倍率設定

コピー初期画面で［変倍］を押したときに優先される変倍率を設定します。

- 25%
- 50%（A3→A5, B4→B6）
- 61%（A3→B5, A4→B6）
- 71%（A3→A4, B4→B5）
- 82%（B4→A4, B5→A5）
- 87%（A3→B4, A4→B5）
- 93%
- 115%（B4→A3, B5→A4）
- 122%（A4→B4, A5→B5）
- 141%（A4→A3, B5→B4）
- 200%（A5→A3, B6→B4）
- 400%

工場出荷時の設定：**71%（A3→A4, B4→B5）**

変倍率：［変倍率設定］で各変倍率を設定しているときはその数値になります。

すこし小さめ変倍率設定

登録機能キーにすこし小さめを登録するときの変倍率を設定します。

90〜99%（1%単位）の範囲で変倍率をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**93%**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

基本編集設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［基本編集設定］タブの各種項目について説明します。

とじしろ幅は 0～30mm（1mm 単位）の範囲で数値をテンキーで入力します。

消去幅は 2～99mm（1mm 単位）の範囲で数値をテンキーで入力します。

左右とじしろ幅設定（おもて面）

おもて面の左右とじしろ幅を設定します。

- 左
- 右

工場出荷時の設定：**左**：5mm

左右とじしろ幅設定（うら面）

うら面の左右とじしろ幅を設定します。

- 左
- 右

工場出荷時の設定：**右**：5mm

上下とじしろ幅設定（おもて面）

おもて面の上下とじしろ幅を設定します。

- 上
- 下

工場出荷時の設定：**上**：0mm

上下とじしろ幅設定（うら面）

うら面の上下とじしろ幅を設定します。

- 上
- 下

工場出荷時の設定：**上**：0mm

片面→両面時裏面左右とじしろ

片面→両面コピーするときの裏面とじしろ幅を設定します。

- 左
- 右

工場出荷時の設定：**右**：5mm

片面→両面時裏面上下とじしろ

片面→両面コピーするときの裏面とじしろ幅を設定します。

- 上

- 下

工場出荷時の設定：**上：0mm**

枠消去幅設定

コピー初期画面で優先的に表示される枠消去の幅を設定します。

工場出荷時の設定：10mm

集約コピー時枠消去

集約コピーをするとき、原稿の周辺 3mm を消去するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

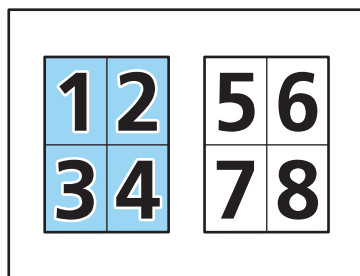
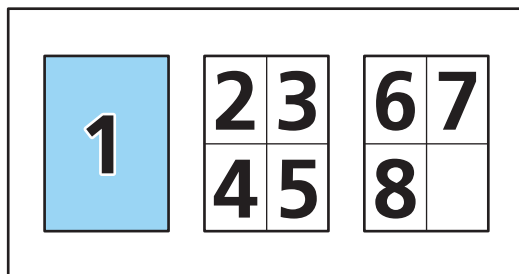
センター消去幅

センター消去の幅を設定します。

工場出荷時の設定：10mm

おもて表紙ページ集約設定

おもて表紙のページを集約するかしないかを設定します。

- ［集約する］を選択したとき

- ［集約しない］を選択したとき

- 集約する
- 集約しない

工場出荷時の設定：**集約する**

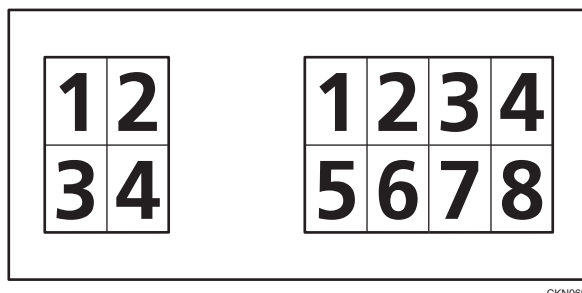
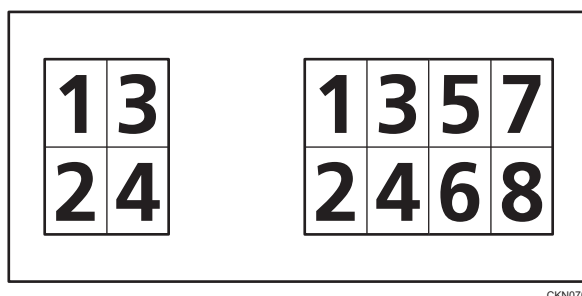
集約時並び順

集約コピーのコピーするときの画像の並び順を設定します。

- ［左右方向］を選択したとき

CKN069

- ［上下方向］を選択したとき

1 3 5 7
2 4 6 8

CKN070

  - 左右方向
  - 上下方向

  工場出荷時の設定：**左右方向**

ひらき方向：ミニ本・週刊誌

ミニ本と週刊誌のひらき方向を設定します。

- 左へひらく
- 右へひらく

工場出荷時の設定：**左へひらく**

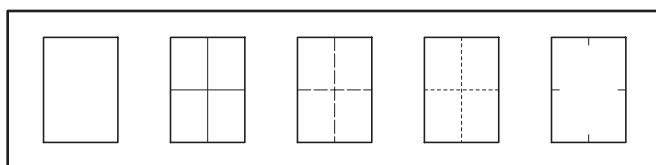
章区切りページ集約設定

章の区切りのページを集約するかしないかを設定します。

- 集約する
- 集約しない

工場出荷時の設定：**集約する**

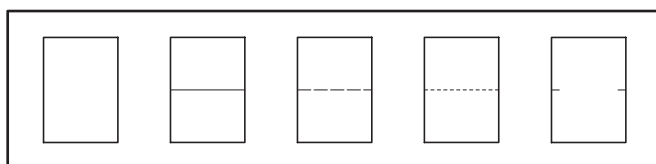
リピート仕切り線

リピートの仕切り線の種類を設定します。

- 仕切線なし
- 実線
- 破線 A
- 破線 B
- 補助線

工場出荷時の設定：**仕切線なし**

実線または破線の仕切り線を指定したときは、仕切り線の幅として約 1.5mm 画像が欠けることがあります。

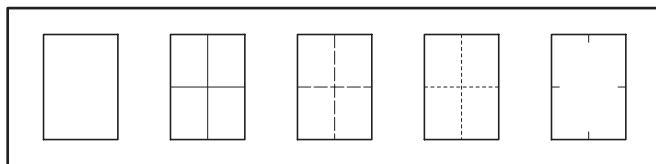
ダブルコピー仕切り線

ダブルコピーの仕切り線の種類を設定します。

- 仕切線なし
- 実線
- 破線 A
- 破線 B
- 補助線

工場出荷時の設定：仕切線なし

実線または破線の仕切り線を指定したときは、仕切り線の幅として約 1.5mm 画像が欠けることがあります。

集約コピー仕切り線

集約コピーの仕切り線の種類を設定します。

- 仕切線なし

- 実線
- 破線 A
- 破線 B
- 補助線

工場出荷時の設定：**仕切線なし**

実線または破線の仕切り線を指定したときは、仕切り線の幅として約 1.5mm 画像が欠けることがあります。

片面うら表紙ページ面設定

片面コピーのときのうら表紙の画像を表（外側）にして排出するか、裏面（内側）にして排出するかを設定します。

- 外側ページ
- 内側ページ

工場出荷時の設定：**外側ページ**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

印字編集設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［印字編集設定］タブの各種項目について説明します。

機密管理印字

［印字編集設定］にある［機密管理印字］の各種項目について説明します。

管理番号印字サイズ設定

印刷する機密管理番号の大きさを設定します。

- 小
- 普通
- 大

工場出荷時の設定：**普通**

管理番号印字濃度設定

印刷する機密管理番号の濃度を設定します。

- うすい
- 普通
- ややこい
- こい

工場出荷時の設定：**普通**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

スタンプ印字

［印字編集設定］にある［スタンプ印字］の各種項目について説明します。

スタンプ言語切り替え

スタンプ印字をする言語を設定します。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語

- スペイン語
- オランダ語
- ポルトガル語
- ポーランド語
- チェコ語
- スウェーデン語
- フィンランド語
- ハンガリー語
- ノルウェー語
- デンマーク語
- ロシア語
- 日本語
- 簡体字
- 繁体字
- ハングル
- カタロニア語
- トルコ語
- ギリシャ語
- ブラジル・ポルトガル語

工場出荷時の設定：**日本語**

スタンプ種類優先設定

［スタンプ印字］を押したとき、どのスタンプを優先して表示するかを設定します。

- マル秘
- 回収
- 複製厳禁
- 至急
- マル仮
- 回覧
- CONFIDENTIAL
- DRAFT

工場出荷時の設定：**マル秘**

スタンプ条件設定

スタンプ（[マル秘]、[回収]、[複製厳禁]、[至急]、[マル仮]、[回覧]、[CONFIDENTIAL]、[DRAFT]）の印字の仕上がりを調整します。

- 印字位置

  スタンプ印字の位置を設定します。印字位置については、P.84「コピーに印字する」を参照してください。

  - 左上
  - 中央上
  - 右上
  - 中央左
  - 中央
  - 中央右
  - 左下
  - 中央下
  - 右下

  工場出荷時の設定：**右上**

- 印字位置調整

  スタンプ印字の位置を調整します。

  印字位置ごとのスタンプ位置と調整範囲は次のとおりです。表内の初期値と印字調整範囲の値は、用紙の各辺からの距離を表しています。

印字位置	初期値	印字調整範囲
左上	左端から 24mm 上端から 24mm	左端から 4～144mm 上端から 4～144mm
中央上	中央 上端から 24mm	中央から左右 72mm 上端から 4～144mm
右上	右端から 24mm 上端から 24mm	右端から 4～144mm 上端から 4～144mm
中央左	左端から 24mm 中央	左端から 4～144mm 中央から上下 72mm
中央	中央	中央から上下 72mm 中央から左右 72mm
中央右	右端から 24mm 中央	右端から 4～144mm 中央から上下 72mm
左下	左端から 24mm 下端から 24mm	左端から 4～144mm 下端から 4～144mm
中央下	中央 下端から 24mm	中央から左右 72mm 下端から 4～144mm
右下	右端から 24mm 下端から 24mm	右端から 4～144mm 下端から 4～144mm

- 印字サイズ

  スタンプ印字の大きさを設定します。

  - 1 倍
  - 2 倍
  - 4 倍

  工場出荷時の設定：**1 倍**

- 透かし

  スタンプ印字透かしのパターンを設定します。

  - ベタ

    原稿の画像の上にスタンプが印字され、重なった部分の画像は見えません。

  - 細かい

    下の原稿の画像が透けて見えます。

  - 粗い

    [細かい] よりも画像がさらに透けて見えます。

  工場出荷時の設定：**ベタ**

- 印字ページ

  スタンプを全ページに印字するか、先頭ページだけに印刷するかを設定します。

  - 全ページ
  - 先頭ページのみ

  工場出荷時の設定：**全ページ**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

ユーザースタンプ

[印字編集設定] にある [ユーザースタンプ] の各種項目について説明します。

スタンプ登録/削除

お好みのデザインをユーザースタンプとして登録・変更・削除できます。

4 種類まで登録できます。

ユーザースタンプの登録・変更・削除方法は、P.89「ユーザースタンプを登録する」、P.91「ユーザースタンプを削除する」を参照してください。

スタンプ条件設定：1～4

1 から 4 に登録したユーザースタンプの仕上がりを調整します。

6

- 印字位置

  ユーザースタンプを印字する位置を設定します。印字位置については、P.84「コピーに印字する」を参照してください。

  - 左上
  - 中央上
  - 右上
  - 中央左
  - 中央
  - 中央右
  - 左下
  - 中央下
  - 右下

  工場出荷時の設定：**右上**

- 印字位置調整

  ユーザースタンプの印字の位置を調整します。

  印字位置ごとのスタンプ位置と調整範囲は次のとおりです。表内の初期値と印字調整範囲の値は、用紙の各辺からの距離を表しています。

印字位置	初期値	印字調整範囲
左上	左端から 24mm 上端から 24mm	左端から 4～144mm 上端から 4～144mm
中央上	中央 上端から 24mm	中央から左右 72mm 上端から 4～144mm
右上	右端から 24mm 上端から 24mm	右端から 4～144mm 上端から 4～144mm
中央左	左端から 24mm 中央	左端から 4～144mm 中央から上下 72mm
中央	中央	中央から上下 72mm 中央から左右 72mm
中央右	右端から 24mm 中央	右端から 4～144mm 中央から上下 72mm
左下	左端から 24mm 下端から 24mm	左端から 4～144mm 下端から 4～144mm
中央下	中央 下端から 24mm	中央から左右 72mm 下端から 4～144mm
右下	右端から 24mm 下端から 24mm	右端から 4～144mm 下端から 4～144mm

6

- 印字ページ

  ユーザースタンプの印字を全ページに印字するか、先頭ページだけに印字するかを設定します。

  - 全ページ
  - 先頭ページのみ

  工場出荷時の設定：**全ページ**

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

日付印字

［印字編集設定］にある［日付印字］の各種項目について説明します。

印字種類設定

日付印字の種類を変更します。

- MM/DD/YYYY
- MM.DD.YYYY
- DD/MM/YYYY
- DD.MM.YYYY
- YYYY.MM.DD
- DD.JUN.YYYY
- YYYY 年 MM 月 DD 日

工場出荷時の設定：**YYYY.MM.DD**

印字フォント設定

日付を印字するフォントを設定します。

- ゴシック
- 明朝
- 丸ゴシック

工場出荷時の設定：**ゴシック**

印字サイズ設定

日付を印字するサイズを設定します。

- 自動
- 大
- 中

- 小

工場出荷時の設定：**自動**

自動白黒反転印字

日付が黒い画像に重なったとき、白黒反転して印字するように設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印字条件設定

日付の印字の仕上がりを調整します。

- 印字位置

  日付を印字する位置を設定します。印字位置については、P.84「コピーに印字する」を参照してください。

  - 左上
  - 中央上
  - 右上
  - 左下
  - 中央下
  - 右下

  工場出荷時の設定：**左上**

- 印字位置調整

  日付の印字の位置を調整します。

  印字位置ごとのスタンプ位置と調整範囲は次のとおりです。表内の初期値と印字調整範囲の値は、用紙の各辺からの距離を表しています。

印字位置	初期値	印字調整範囲
左上	左端から 32mm 上端から 8mm	左端から 4〜144mm 上端から 4〜144mm
中央上	中央 上端から 8mm	中央から左右 72mm 上端から 4〜144mm
右上	右端から 12mm 上端から 8mm	右端から 4〜144mm 上端から 4〜144mm
左下	左端から 32mm 下端から 8mm	左端から 4〜144mm 下端から 4〜144mm
中央下	中央 下端から 8mm	中央から左右 72mm 下端から 4〜144mm

印字位置	初期値	印字調整範囲
右下	右端から 12mm 下端から 8mm	右端から 4～144mm 下端から 4～144mm

- 印字ページ

  日付の印字を全ページに印字するか、先頭ページだけに印字するかを設定します。

  - 全ページ
  - 先頭ページのみ

  工場出荷時の設定：**全ページ**

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

ページ印字

［印字編集設定］にある［ページ印字］の各種項目について説明します。

印字種類優先設定

［ページ印字］を押したとき、優先して選択されるページ印字の種類を設定します。

- P1,P2…
- 1/5,2/5…
- -1-,-2-…
- P.1,P.2…
- 1,2…
- 1-1,1-2…
- 1 ページ,2 ページ…

工場出荷時の設定：**P1,P2…**

印字フォント設定

ページを印字するフォントを設定します。

- ゴシック
- 明朝
- 丸ゴシック

工場出荷時の設定：**ゴシック**

印字サイズ設定

ページを印字するサイズを設定します。

- 自動
- 大
- 中
- 小

工場出荷時の設定：**自動**

うら面印字位置

両面コピー（左右ひらき）のとき、うら面のページ印字位置を設定します。

- おもて面と反対
- おもて面と同じ

工場出荷時の設定：**おもて面と反対**

集約時ページ印字設定

集約とページ印字を組み合わせたとき、ページの割り振りかたを設定します。

- 原稿ごと
- 印刷ページごと

工場出荷時の設定：**原稿ごと**

章区切りページ（合紙）への印字

章区切りとページ印字を組み合わせたとき、章の区切りのページ（合紙）に印字するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印字位置設定

ページ印字の位置を設定します。

- 印字位置

  ページ印字の位置を設定します。印字位置については、P.84「コピーに印字する」を参照してください。

  - 左上
  - 中央上
  - 右上
  - 左下
  - 中央下
  - 右下

  工場出荷時の設定：

- [P1, P2…]、[1/5, 2/5…]、[P.1, P.2…]、[1, 2…]、[1 ページ, 2 ページ…] のパターン：**右上**
- [-1-, -2-…]、[1-1, 1-2…] のパターン：**中央下**

指定範囲は次のとおりです。

- 印字位置調整

  ページ印字の位置を調整します。

  印字位置ごとのスタンプ位置と調整範囲は次のとおりです。表内の初期値と印字調整範囲の値は、用紙の各辺からの距離を表しています。

印字位置	初期値	印字調整範囲
左上	左端から 12mm 上端から 12mm	左端から 4〜144mm 上端から 4〜144mm
中央上	中央 上端から 12mm	中央から左右 72mm 上端から 4〜144mm
右上	右端から 12mm 上端から 12mm	右端から 4〜144mm 上端から 4〜144mm
左下	左端から 12mm 下端から 8mm	左端から 4〜144mm 下端から 4〜144mm
中央下	中央 下端から 8mm	中央から左右 72mm 下端から 4〜144mm
右下	右端から 12mm 下端から 8mm	右端から 4〜144mm 下端から 4〜144mm

自動白黒反転印字

ページが黒い画像に重なったとき、白黒反転して印字するように設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

文字印字

[印字編集設定] にある [文字印字] の各種項目について説明します。

印字フォント設定

文字を印字するフォントを設定します。

- ゴシック
- 明朝
- 丸ゴシック

工場出荷時の設定：**ゴシック**

印字サイズ設定

文字を印字するサイズを設定します。

- 自動
- 大
- 中
- 小

工場出荷時の設定：**自動**

自動白黒反転印字

文字が黒い画像に重なったとき、白黒反転して印字するように設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印字条件設定

文字印字の仕上がりを調整します。

- 印字位置

  文字を印字する位置を設定します。印字位置については、P.84「コピーに印字する」を参照してください。

  - 左上
  - 中央上
  - 右上
  - 左下
  - 中央下
  - 右下

  工場出荷時の設定：**右上**

- 印字位置調整

  文字印字の位置を調整します。

  印字位置ごとのスタンプ位置と調整範囲は次のとおりです。表内の初期値と印字調整範囲の値は、用紙の各辺からの距離を表しています。

印字位置	初期値	印字調整範囲
左上	左端から 32mm 上端から 8mm	左端から 4～144mm 上端から 4～144mm
中央上	中央 上端から 8mm	中央から左右 72mm 上端から 4～144mm
右上	右端から 12mm 上端から 8mm	右端から 4～144mm 上端から 4～144mm
左下	左端から 32mm 下端から 8mm	左端から 4～144mm 下端から 4～144mm
中央下	中央 下端から 8mm	中央から左右 72mm 下端から 4～144mm
右下	右端から 12mm 下端から 8mm	右端から 4～144mm 下端から 4～144mm

- 印字ページ

  文字印字を全ページに印字するか、先頭ページだけに印字するかを設定します。

  - 全ページ
  - 先頭ページのみ

  工場出荷時の設定：**全ページ**

ジョブ通番印字の印字開始番号変更

印字する文字の後ろに数字を通し番号で印刷するかしないかを設定します。設定方法は、P.101「文字と連続した番号を印字する」を参照してください。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

6

周辺設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［周辺設定］タブの各種項目について説明します。

大量原稿モード切り替え

［特殊原稿設定］を押したときに、［大量原稿］を表示させるか、［SADF］を表示させるかを設定できます。

- 大量原稿
- SADF

工場出荷時の設定：**大量原稿**

SADF オートリセット時間設定

SADF のとき、設定した時間が過ぎると、次の原稿をセットしても自動的に送られません。この時間を設定します。

3～99 秒（1 秒単位）の範囲で時間をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**5 秒**

回転ソート：回転給紙継続設定

回転ソート中に給紙トレイの用紙がなくなったときに、コピーを継続するかしないかを設定します。

- する

  他方向の用紙サイズに回転して出力を継続し、機械から離れていてもコピーは仕上がります。

- しない

  コピーは中断し、用紙補給のメッセージが表示されます。用紙を補給することでコピーを継続します。

工場出荷時の設定：**しない**

原稿ガラス使用時印刷排紙面設定

原稿ガラスに原稿をセットしたときの排紙面を設定します。

- おもて面排紙
- うら面排紙

工場出荷時の設定：**おもて面排紙**

手差し使用時印刷排紙面設定

手差しコピーしたときの排紙面を設定します。

- おもて面排紙
- うら面排紙

工場出荷時の設定：**おもて面排紙**

ソート全数読み取り設定

原稿の読み取りの途中でメモリーがいっぱいになったとき、読み取った原稿だけをコピーしたあと、残りの原稿の読み取りを自動的に継続するかしないかを設定します。

- する

  機械から離れていてもコピーは仕上がりますが、ページが分かれてソートされてしまいます。

- しない

  メモリーがいっぱいになると、機械がいったん停止するので、分割されるたびに排紙トレイのコピーを取り除けます。

工場出荷時の設定：**しない**

レターヘッド紙使用設定

レターヘッド紙を使用するかしないかを設定します。

- 使用する
- 使用しない

工場出荷時の設定：**使用しない**

［使用する］に設定すると回転コピーしなくなります。

レターヘッド紙については、『用紙の仕様とセット方法』「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）」を参照してください。

ステープル種類選択

コピー初期画面で優先的に表示されるステープルのキーを選択します。

- フィニッシャー SR4060 装着時
  - ステープル上 1 ヵ所
  - ステープル斜め
  - ステープル左 2 ヵ所
  - ステープル上 2 ヵ所
  - ステープル下 1 ヵ所
  - 設定しない

  工場出荷時の設定：

  - ステープル種類 1：ステープル上 1 ヵ所
  - ステープル種類 2：ステープル下 1 ヵ所
  - ステープル種類 3：ステープル左 2 ヵ所
  - ステープル種類 4：ステープル上 2 ヵ所
- フィニッシャー SR4070 装着時
  - ステープル上 1 ヵ所

- ステープル中とじ
    - ステープル左 2 ヵ所
    - ステープル上 2 ヵ所
    - ステープル下 1 ヵ所
    - ステープル斜め
    - 設定しない

  工場出荷時の設定：

    - ステープル種類 1：ステープル斜め
    - ステープル種類 2：ステープル中とじ
    - ステープル種類 3：ステープル左 2 ヵ所
    - ステープル種類 4：ステープル上 2 ヵ所

- フィニッシャー SR4080 装着時
    - ステープル上 1 ヵ所
    - ステープル斜め
    - ステープル下 1 ヵ所
    - ステープル左 2 ヵ所
    - ステープル上 2 ヵ所
    - 設定しない

  工場出荷時の設定：

    - ステープル種類 1：ステープル上 1 ヵ所
    - ステープル種類 2：ステープル下 1 ヵ所
    - ステープル種類 3：ステープル左 2 ヵ所
    - ステープル種類 4：ステープル上 2 ヵ所

パンチ種類選択

コピー初期画面で優先的に表示されるパンチのキーを選択します。

- パンチ左 2 ヵ所
- パンチ上 2 ヵ所
- 設定しない

工場出荷時の設定：

- パンチ種類 1：**パンチ左 2 ヵ所**
- パンチ種類 2：**パンチ上 2 ヵ所**

簡単画面：後処理種類選択

簡単画面で優先的に表示される仕上げのキーを選択します。

- スタック

- ステープル斜め
- ステープル上 1 ヵ所
- ステープル下 1 ヵ所
- ステープル左 2 ヵ所
- パンチ左 2 ヵ所
- 何も表示しない

工場出荷時の設定：

- 簡単画面：後処理優先種類 1：**何も表示しない**
- 簡単画面：後処理優先種類 2：**何も表示しない**
- 簡単画面：後処理優先種類 3：**何も表示しない**

Z 折り排紙先

Z 折りの排紙先を設定します。

- 折り機トレイ
- フィニッシャー・シフトトレイ
- フィニッシャー・上トレイ

工場出荷時の設定：**折り機トレイ**

二つ折り設定

二つ折りの各項目を設定します。

- 折り方向

  コピーの折り方向を設定します。

  - 左右折り
  - 上下折り

  工場出荷時の設定：**左右折り**

- 印刷面

  コピーのどちら側に印刷するかを設定します。

  - 内側
  - 外側

  工場出荷時の設定：**内側**

- 重ね折り

  コピーを複数枚まとめて折るかどうかを設定します。

  - しない
  - する

  工場出荷時の設定：**しない**

外三つ折り設定

外三つ折りの各項目を設定します。

- 折り方向

  コピーの折り方向を設定します。

  - 左右折り
  - 上下折り

  工場出荷時の設定：**左右折り**

- ひらき方向

  コピーのひらき方向を設定します。

  - 右ひらき（上ひらき）
  - 左ひらき（下ひらき）

  工場出荷時の設定：**右ひらき**

- 重ね折り

  コピーを複数枚まとめて折るかどうかを設定します。

  - しない
  - する

  工場出荷時の設定：**しない**

内三つ折り設定

内三つ折りの各項目を設定します。

- 折り方向

  コピーの折り方向を設定します。

  - 左右折り
  - 上下折り

  工場出荷時の設定：**左右折り**

- ひらき方向

  コピーのひらき方向を設定します。

  - 右ひらき（上ひらき）
  - 左ひらき（下ひらき）

  工場出荷時の設定：**右ひらき**

- 印刷面

  コピーのどちら側に印刷するかを設定します。

  - 内側
  - 外側

  工場出荷時の設定：**内側**

- 重ね折り

  コピーを複数枚まとめて折るかどうかを設定します。

  - しない
  - する

  工場出荷時の設定：**しない**

四つ折り設定

四つ折りの各項目を設定します。

- 折り方向

  コピーの折り方向を設定します。

  - 左右折り
  - 上下折り

  工場出荷時の設定：**左右折り**

- ひらき方向

  コピーのひらき方向を設定します。

  - 右ひらき（上ひらき）
  - 左ひらき（下ひらき）

  工場出荷時の設定：**右ひらき**

- 印刷面

  コピーのどちら側に印刷するかを設定します。

  - 内側
  - 外側

  工場出荷時の設定：**内側**

観音折り設定

観音折りの各項目を設定します。

- 折り方向

  コピーの折り方向を設定します。

  - 左右折り
  - 上下折り

  工場出荷時の設定：**左右折り**

- 印刷面

  コピーのどちら側に印刷するかを設定します。

  - 内側
  - 外側

  工場出荷時の設定：**内側**

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

管理者用設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［管理者用設定］タブの項目について説明します。

管理者用設定は、管理者が設定する項目です。設定内容や設定を変更するときは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

管理者認証を設定して使用することをお勧めします。

メニュープロテクト設定

管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。

メニュープロテクトについての詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。